# 2025年度 授業概要

学 科 ： 薬業科

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | 体の症状とヘルスケア | 必修選択 | 必修 | 年次 | 1 | 担当教員 | 鬼塚 龍 |
| | | | | | | 実務経験 | ○ |
| （英） | BodySymptoms and Health Care | 授業形態 | 講義 | 総時間 | 30 | 開講区分 | 前期 |
| コース | 共通 | | | （単位） | 2 | 曜日・時限 | 火曜 1時限目 |

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

ヘルスケアアドバイザーは、生活者に運動や栄養・生活などの正しい情報を提供することによって、生活者自らの健康を維持・増進するための手助けを行うことが主な業務となる。体の症状は人によってさまざまであり、ヘルスケアアドバイザーは、相談者の話をよく聞き出し、聞き出した情報をよく確認した上で、適切なOTCで症状を緩和させたり、食事や日常生活上のさまざまな注意点をアドバイスし、病気の予防や症状の改善を図り、医師への受診勧告を含めたヘルスケアのアドバイスを行うことが大切である。
体の症状とヘルスケアでは、それぞれの症状の概要、セルフケアの領域、セルフケアについて説明できるようになることを目標とする。

＊実務者経験：平成19年4月～平成24年5月急性期医療病院、平成24年6月～調剤薬局に勤務

【到達目標】

・ヘルスケアアドバイザー検定・体の症状とヘルスケアの合格点への到達
・体の症状の概要、セルフケアの領域、セルフケアについて説明できるようになる

| 授業計画・内容 | |
|---|---|
| 1回目 | 頭髪・頭皮の症状について説明できる |
| 2回目 | 頭・耳の症状について説明できる |
| 3回目 | 眼・鼻の症状について説明できる |
| 4回目 | 口・歯の症状について説明できる |
| 5回目 | 歯肉・のどの症状について説明できる |
| 6回目 | 首・肩・胸部の症状について説明できる |
| 7回目 | 背中・腰・腹部の症状について説明できる |
| 8回目 | 手・足・骨・筋肉の症状について説明できる |
| 9回目 | 皮膚・爪の症状について説明できる |
| 10回目 | 脈・肛門・便・尿の症状について説明できる |
| 11回目 | 女性・子供の症状について説明できる |
| 12回目 | 全身の症状について説明できる |
| 13回目 | 試験対策 |
| 14回目 | 定期試験 |
| 15回目 | 試験解説 |
| 準備学習時間外学習 | この授業を受けるには、ヘルスケアアドバイザー検定に出題される、体の症状の概要、セルフケアの領域、セルフケアについてどのようなことがあるか予習が必要です |
| 評価方法 | 定期試験にて知識の到達評価を行う |
| 受講生へのメッセージ | 授業では前半に講義を行い、後半に確認の小テストと解説を行います |

【使用教科書・教材・参考書】

HCA4巻 Ⅲ体の症状とヘルスケア

# 2025 年度 授業概要

学 科 ：薬業科

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 科目名（英） | こころとヘルスケア<br>Mind and Health Care | 必修選択 | 必修 | 年次 | 1年 | 担当教員 | 矢野隆子 |
| | | | | | | 実務経験 | ○ |
| | | 授業形態 | 講義 | 総時間（単位） | 30<br>2 | 開講区分 | 前期 |
| コース | 共通 | | | | | 曜日・時限 | 火曜、3限目 |

現代社会はストレス社会と言われ、多くの心の病気の温床になっている。こころと体の病気を分けて考えがちになるが両者は密接に関連している。体の不調が改善しないのはこころの病気に起因していたというケースも見られ、体の病気の原因としての心の意義、疾患を持つ人を全人的に捉えることが不可欠である。この授業ではこころとヘルスケアの資格試験のための基礎知識を学ぶとともに、現場において健康の維持増進、病気の予防や改善のためのセルフケアや助言ができるようになることを目標に授業を進める。

実務経験…平成5年より産業カウンセラー、教育カウンセラーとして教育現場、行政機関、企業等のカウンセリング、傾聴研修に実務40年携わる。

【到達目標】

・ストレス社会と心の病気の関係が説明できる
・心身症の予防法について説明できる。
・心の病気の原因とセルフケアの説明ができる。
・「こころとヘルスケア」の検定試験の合格への到達

| 授業計画・内容 | |
|---|---|
| 1回目 | ガイダンス教科の目的と授業法　構成的グループ　エンカウンターを実践できる |
| 2回目 | ストレス社会と心身の関係、ストレスマネジメント、良いストレスとよくないストレスを説明できる |
| 3回目 | 心身症の原因、診断、治療、セルフケア、日常生活の注意点を説明できる。 |
| 4回目 | うつ病の原因、診断、症状、家族の接し方について説明できる。 |
| 5回目 | 摂食障害の原因、診断、症状、予防法、家族の接し方について説明できる。 |
| 6回目 | アルコール依存症の原因、症状が説明できる。 |
| 7回目 | ニコチン依存症の原因、治療、セルフケア、日常生活の注意を説明できる。 |
| 8回目 | 薬物依存症の病気の症状と原因、予防法を説明できる。 |
| 9回目 | 不眠症の原因と不眠の症状分類、治療、セルフケアを説明できる。 |
| 10回目 | 外傷後ストレス障害の原因、症状、経過、診断治療の説明ができる。 |
| 11回目 | 子どものストレスの要因とその対応、子どもの行動異常、抑うつについて説明ができる。 |
| 12回目 | 医薬品による精神安定、抗不安薬・抗うつ薬について副作用の説明ができる。 |
| 13回目 | 代替補完医療のアニマルアステッドセラピー、アロマセラピー、アーユルベーダーについて説明ができる。 |
| 14回目 | エステティック、赤外線療法～伝承療法について説明ができる。 |
| 15回目 | まとめ |
| 準備学習時間外学習 | 教科書の音読で授業内容の予習が必要です。その際に意味の不確かな語句などのチェックと準備が重要です。 |
| 評価方法 | 期末テスト100% |
| 受講生へのメッセージ | 現代社会はストレス社会と言われ、多くの心の病気の温床となっている。ヘルスケアアドバイザーとしてストレスと心身の関係の重要性に気づくとともにこの学習を自分自身のこころと身体のコントロールの実践に役立たせてほしい、また、心身症の原因や治療法を理解し、現場でセルフケアの方法や日常生活の注意などを積極的に伝えていってほしい。 |

【使用教科書・教材・参考書】

ヘルスケアに関する実践基礎知識　第5巻「こころとヘルスケア」

# 2025年度　授業概要

学　科　：　薬業科

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | 薬とヘルスケア | 必修選択 | 必須 | 年次 | 1 | 担当教員 | 姪原　裕子 |
| | | | | | | 実務経験 | ○ |
| (英) | Medicine and Health care | 授業形態 | 講義 | 総時間 | 30 | 開講区分 | 前期 |
| コース | 共通 | | | (単位) | 2 | 曜日・時限 | 木曜日　2時限目 |

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

ヘルスケアアドバイザーは、健康の維持・増進に対して、生活者自らの判断・決定、行為などに役立つ、正しい情報を提供しなければならない。一般用医薬品は厚生労働省の一般用医薬品承認審査合理化検討会の中間報告「セルフメディケーションにおける一般用医薬品のあり方について」の定義（第1巻61頁）にみるように、薬剤師等から提供された適切な情報に基づき、自らの判断で購入し、自らの責任で使用する医薬品である。それだけに適切な情報提供が求められる。そのため、自分の症状や体質などに合った適切な商品を選び、それを正しく使うことは重要な意味をもっている。ヘルスケアアドバイザーはセルフメディケーションの限界を知り、必要と思われる場合は、受診を勧めるといった視点を忘れてはならない。この授業では一般用医薬品の性質を学ぶとともに、一般用医薬品で対応できる症状か否かを学習していく。
※実務経験…2017年 4月 に、はり師・きゅう師を取得。2018年 11月 に登録販売者を取得し、スギ薬局で1年 、ドラッグイレブンで4年の業務を行う。2022年 8月 に鍼灸院を開設し現在まで実務を行っている。

【到達目標】

・ヘルスケアアドバイザー検定試験の合格、また授業内容を応用して、実際の店舗での業務でお客様に説明することができる。

| 授業計画・内容 | |
|---|---|
| 1回目 | 一般用医薬品の基本的な考え方・ヘルスケアアドバイザーの役目を説明できる。 |
| 2回目 | かぜ薬・解熱鎮痛薬・小児鎮静薬に配合された成分がそれぞれどう働くか、そして医療用医薬品との相互作用を説明することができる。 |
| 3回目 | 消化器官用薬に配合された成分について説明することができる。 |
| 4回目 | 循環器・血液・呼吸器官用薬に配合された成分について説明することができる。 |
| 5回目 | 泌尿器生殖器及び肛門用薬に配合された成分について説明することができる。 |
| 6回目 | 滋養強壮保健薬に配合されたビタミンの種類とその働き、また医療用医薬品その相互作用を説明することができる。 |
| 7回目 | アレルギー用薬に配合されている抗ヒスタミン薬について説明することができる。 |
| 8回目 | 外皮用薬に用いられる成分とその働きについて説明することができる。 |
| 9回目 | 点眼薬の違いや作用について説明することができる。 |
| 10回目 | 耳鼻科用薬について説明することができる。 |
| 11回目 | 生薬名からその特徴と薬効を説明できる。 |
| 12回目 | 前期の授業のおさらい |
| 13回目 | 試験対策 |
| 14回目 | 前期期末試験 |
| 15回目 | 前期期末試験の解説 |
| 準備学習　時間外学習 | 登録販売者の業務において基本的な知識となるところです。忘れやすい専門用語は教科書を用いて復習を行ってください。 |
| 評価方法 | ・定期テスト(80%)<br>・小テスト(20%)<br>※授業の前に前回の授業の内容の小テストを行います。<br>※出席率や授業態度を考慮し成績評価を行います。 |
| 受講生へのメッセージ | ヘルスケアアドバイザー検定試験に向けて、今のうちからわからない用語の復習や、効率的な学習を行うために体調管理を心がけてください。 |

【使用教科書・教材・参考書】

ヘルスケアアドバイザー養成講座テキスト　ヘルスケアに関する基礎知識編　第3巻

# 2025年度　授業概要

学　科　：　薬業科

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | 栄養・食生活・育児 | 必修選択 | 必修 | 年次 | 1 | 担当教員 | 倉本　寿子 |
| | | | | | | 実務経験 | ○ |
| （英） | Nutrition and Dietary Habits and Chilled care | 授業形態 | 講義 | 総時間 | 30 | 開講区分 | 前期 |
| コース | 共通 | | | （単位） | 2 | 曜日・時限 | 月曜日・1時限目 |

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

近年、日本の食生活は豊かになり、「栄養学」は健康や美容の維持・増進の要である。多様化する情報社会において、日常生活や仕事など様々な局面で栄養についての正しい判断が必要となる。毎日の食事は自身の健康だけでなく、次世代への健康にも影響を与えることが分かっている。「妊娠・出産・育児」はパートナーと支え合いながら行っていくものである。女性の構造や仕組みを学び、安心してサポートできる知識が必要である。「栄養・食生活・妊娠・出産・育児」の基本を理解し、相談者への適切な情報提供ができるようになる。

※実務経験…2008年にAEAJ認定アロマテラピーインストラクターを取得。2009年から2年間ホームヘルパーとして訪問介護の事業所に勤務。九州各校にてアロマテラピー、リフレクソロジー、ハーブ、健康関連の講師業務、エステサロンでのセミナー等を行う。

【到達目標】

ヘルスケアアドバイザー検定試験に合格するため、「栄養・食生活・妊娠・出産・育児」の基本的な知識を習得できる。
〈具体的な目標〉
目標①栄養素の種類や食事への取り入れ方などを学び、食から健康への関心を高めることができる。
目標②女性の健康、妊娠から出産、子育てについて学び、子供用品を取り入れながら知識を習得することができる。

| 授業計画・内容 | |
|---|---|
| 1回目 | （目標①）三大栄養素、五大栄養素について説明することができる。 |
| 2回目 | （目標①）糖質、たんぱく質、脂質について説明することができる。 |
| 3回目 | （目標①）ミネラル、微量元素、電解質について説明することができる。 |
| 4回目 | （目標①）ビタミンについて説明することができる。 |
| 5回目 | （目標①）食物繊維、その他の栄養素、水分について説明することができる。 |
| 6回目 | （目標①）エネルギー代謝、成長期、成人、妊婦・授乳婦、老年期に必要な栄養素について説明することができる。 |
| 7回目 | （目標①）食品群の種類、食品の表示、各食品の特徴について説明することができる。 |
| 8回目 | （目標②）女性の生理、妊娠の仕組み、妊娠中の生活の注意点について説明することができる。 |
| 9回目 | （目標②）妊娠中のトラブル、病気、出産、成長について説明することができる。 |
| 10回目 | （目標②）育児、授乳、食事について説明することができる。 |
| 11回目 | （目標②）睡眠、予防接種について説明することができる。 |
| 12回目 | （目標②）育児の総復習 |
| 13回目 | （目標①②）添削問題、総復習 |
| 14回目 | 前期定期試験 |
| 15回目 | 前期定期試験　解説 |
| 準備学習時間外学習 | （目標①）「栄養・食生活」の学習範囲は約141ページあります。（目標②）「妊娠・出産・育児」の学習範囲は約51ページあります。試験範囲が広く、学習内容が多いので、毎回復習をしましょう。 |
| 評価方法 | 前期定期試験（100%）で成績評価を行う。 |
| 受講生へのメッセージ | 食を通して、心身の健康を得ることに興味を持っていただきたいと思います。女性の健康や育児に関心を持つことで、自分自身を大切にするきっかけになればと思います。ヘルスケアアドバイザー検定試験合格の目標があります。体調管理に気を付け、テキストは毎回必ず持ってきて下さい。 |

【使用教科書・教材・参考書】

・ヘルスケアアドバイザー養成講座テキスト　ヘルスケアに関する基礎知識編　第2巻　（日本チェーンドラックストア協会）
・ヘルスケアアドバイザー養成講座テキスト　ヘルスケアに関する基礎知識編　第5巻　（日本チェーンドラックストア協会）
・配布プリント

# 2025年度　授業概要

学　科　：薬業科

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 科目名（英） | 一般用医薬品論Ⅰ<br>Over the Counter Drugs Theory Ⅰ | 必修選択 | 必修 | 年次 | 1 | 担当教員 | 三浦公義 |
| | | | | | | 実務経験 | ○ |
| | | 授業形態 | 講義 | 総時間（単位） | 30<br>2 | 開講区分 | 前期 |
| コース | 共通 | | | | | 曜日・時限 | 金曜日、2時限目 |

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

患者に対して登録販売者が、個々の患者の状態に合わせて、より適切な一般用医薬品を選択できるようアドバイスが出来るためには、個々の一般用医薬品の知識を得る前に、まず「薬」というものについて理解していることが必要です。本講座は、全く「薬」に関しての知識が無い状態の方が登録販売者として業務が出来るための第一歩である「薬」に関する基礎的知識を理解することを目的として、講座終了時には一般用医薬品を学ぶための基礎的事項が説明できるようになる。

※実務経験…1999年に調剤薬局を開業。（現在に至る）また、2004年3月にはり師・きゅう師を取得し、2004年4月に鍼灸院を開業。（現在に至る）

【到達目標】

医薬品に関する基本的事項（個々の薬品ではなく、医薬品全体としての概論）を理解する。

| 授業計画・内容 | |
|---|---|
| 1回目 | 医薬品の定義について説明が出来る |
| 2回目 | 医薬品の名称について説明が出来る |
| 3回目 | 医薬品の販売規制について説明が出来る |
| 4回目 | 一般用医薬品の定義について説明が出来る |
| 5回目 | 劇薬・毒薬について説明が出来る |
| 6回目 | 麻薬・覚せい剤について説明が出来る |
| 7回目 | 医薬品以外の薬機法規制対象薬について説明が出来る |
| 8回目 | 医薬品の分類について説明が出来る |
| 9回目 | 医薬品の保管について説明が出来る |
| 10回目 | 添付文書の意味について説明が出来る |
| 11回目 | 添付文書の用語について説明が出来る |
| 12回目 | 薬の代表的な薬理作用について説明が出来る |
| 13回目 | 薬物動態について説明が出来る |
| 14回目 | 試験 |
| 15回目 | 試験の解答及び解説 |
| 準備学習　時間外学習 | この授業を受けるには、今までに聞いたことが無い言葉が沢山出てきます。授業を理解するうえで、授業内容の予習も必要ですが、意味の不確かな語句等のチェックと確認の準備が重要ですので、そのためにも1回以上の授業範囲の音読をして授業に臨んでもらう事が必要です。そして、授業後は、正確に理解が出来ているかの確認の為の復習が必要です |
| 評価方法 | 定期テストにて成績評価を行う。（100%） |
| 受講生へのメッセージ | 本講座で身につける知識は、薬に関係する仕事に従事する人において、必要最低限の事項です。他の講座のベースともなる内容ですので、難しくはありませんがしっかり理解することが重要です。そのためにも体調等の自己管理に気をつけて、欠席をしないようにしてください。 |

【使用教科書・教材・参考書】

# 2025年度　授業概要

学　科　：　薬業科

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 科目名（英） | 登録販売者特別講座Ⅲ<br>Registered Drug DistributorLicenseSpecialLecture Ⅲ | 必修選択 | 必須 | 年次 | 2 | 担当教員 | 松本　澄久 |
| | | | | | | 実務経験 | ○ |
| | | 授業形態 | 講義 | 総時間（単位） | 30<br>2 | 開講区分 | 前期 |
| コース | 共通 | | | | | 曜日・時限 | 木曜1時限目 |

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）
登録販売者試験4章薬事関係法規・制度の過去問を中心に授業を行う。

※実務経験…歯科医師。自衛隊病院等で30年の臨床経験。准看護学院で講義の実績。

【到達目標】

登録販売者試験に合格できる。

| 授業計画・内容 | |
|---|---|
| 1回目 | 第4章　医薬品、医療機器等の品質の確保について説明できる。 |
| 2回目 | 第4章　医薬品、医療機器等の有効性及び安全性の確保について説明できる。 |
| 3回目 | 第4章　医薬品の定義と範囲について説明できる。 |
| 4回目 | 第4章　医薬品の容器・外箱等への記載事項、添付文書等への記載事項について説明できる。 |
| 5回目 | 第4章　医薬部外品、化粧品、保健機能食品等について説明できる。 |
| 6回目 | 第4章　医薬品販売業の許可の種類と許可行為の範囲について説明できる。 |
| 7回目 | 第4章　医薬品のリスク区分に応じた販売従事者、情報提供及び陳列等について説明できる。 |
| 8回目 | 第4章　医薬品の適正な販売広告について説明できる。 |
| 9回目 | 第4章　医薬品の適正な販売方法について説明できる。 |
| 10回目 | 第4章　行政庁の監視指導、について説明できる。 |
| 11回目 | 第4章　医薬品に対する苦情相談窓口について説明できる。 |
| 12回目 | 第4章　毒薬・劇薬の管理・取り扱い・販売について説明できる。 |
| 13回目 | 第4章　医薬品のリスク区分ごとの情報提供・販売について説明できる。 |
| 14回目 | 終講試験 |
| 15回目 | 試験結果発表，解説 |
| 準備学習時間外学習 | 日ごろから、薬に関心をもって接する。 |
| 評価方法 | ペーパーテスト |
| 受講生へのメッセージ | 全員合格できるように頑張ろう。 |

【使用教科書・教材・参考書】

登録販売者試験　受験対策　共通テキスト

# 2025年度 授業概要

学 科 ： 薬業科

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | 介護・応急処置・運動 | 必修選択 | 必修 | 年次 | 1 | 担当教員 | 倉本 寿子 |
| | | | | | | 実務経験 | ○ |
| (英) | Nursing Care ・ First Aid・Exercise・Responding to Patients | 授業形態 | 講義 | 総時間 | 30 | 開講区分 | 前期 |
| コース | 共通 | | | (単位) | 2 | 曜日・時限 | 月曜日 ・ 2時限目 |

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

【介護】高齢化社会となった今、介護は誰でも直面しうる問題である。ここでは介護の基礎知識について説明ができるようになる。
【応急処置】突発的な病気や事故、怪我などの応急処置の基礎知識について説明ができるようになる。
【運動】身体活動と生活習慣病の説明ができるようになる。

※実務経験…2008年にAEAJ認定アロマテラピーインストラクターを取得。2009年から2年間ホームヘルパーとして訪問介護の事業所に勤務。九州各校にてアロマテラピー、リフレクソロジー、ハーブ、健康関連の講師業務、エステサロンでのセミナー等を行う。

【到達目標】

ヘルスケアアドバイザー検定試験に合格するため、「介護・応急処置・運動」の基本的な知識を習得できる。ドラックストアなどの接客の場面で、介護・応急処置・運動について正しく情報を伝えることができる。

| 授業計画・内容 | |
|---|---|
| 1回目 | 【介護】介護の基礎知識、食事と栄養について説明できる。 |
| 2回目 | 【介護】認知症、介護者の健康管理とリハビリテーションについて説明できる。① |
| 3回目 | 【介護】認知症、介護者の健康管理とリハビリテーションについて説明できる。② |
| 4回目 | 【応急処置】応急処置の必要性が説明できる。 |
| 5回目 | 【応急処置】心肺蘇生法の必要性が説明できる。① |
| 6回目 | 【応急処置】心肺蘇生法の必要性が説明できる。② |
| 7回目 | 【応急処置】止血法、外傷の種類と応急処置の基本、急病・発作の応急処置の説明ができる。 |
| 8回目 | 【応急処置】打撲傷の応急処置が説明できる。 |
| 9回目 | 【運動】生活習慣病と身体活動について説明できる。① |
| 10回目 | 【運動】生活習慣病と身体活動について説明できる。② |
| 11回目 | 応対と接客について説明できる。① |
| 12回目 | 応対と接客について説明できる。② |
| 13回目 | 総復習 |
| 14回目 | 前期定期試験 |
| 15回目 | 前期定期試験 解説 |
| 準備学習時間外学習 | 身近で起こりうる内容が多く含まれています。教科書で分からない語句など予習と復習が必要です。 |
| 評価方法 | 前期定期試験にて成績評価を行う。（定期試験100%） |
| 受講生へのメッセージ | この講義はヘルスケアアドバイザー検定試験の合格を目指すものです。様々な状況下にあるお客様がいらっしゃることを理解し、個々に合わせた応対の方法を学びましょう。 |

【使用教科書・教材・参考書】

・ヘルスケアアドバイザー養成講座テキスト 第2巻 （日本チェーンドラックストア協会）
・ヘルスケアアドバイザー養成講座テキスト 第5巻 （日本チェーンドラックストア協会）
・ヘルスケアアドバイザー養成講座テキスト 第6巻 （日本チェーンドラックストア協会）

# 2025年度　授業概要

学　科　：薬業科

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 科目名（英） | コミュニケーションスキルアップ検定<br>Communication Skill | 必修選択 | 必修 | 年次 | 1年 | 担当教員 | 金 江里子 |
| | | | | | | 実務経験 | ○ |
| | | 授業形態 | 講義 | 総時間（単位） | 30<br>2 | 開講区分 | 前期 |
| コース | 薬業科 | | | | | 曜日・時限 | 月曜日3限 |

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

社会人の基礎となるビジネスマナーを学びながら、円滑に人間関係形成を行うためのコミュニケーションを学ぶ。授業全体を通して、グループワークやディスカッションを交えながら、自ら考え、価値観を築いていっていただきます。（検定対策も有り）

◆実務経験
国家資格2級キャリアコンサルティング技能士の資格を有し、専門学校に13年従事。その後は、専門学校や企業の新人研修講師として、ビジネスマナー・メイク等について指導する。

【到達目標】

【目標①】基礎的な対人方法を理解し、社会ルールとして必要な知識を身につけ、行動に移すことが出来るようになる
【目標②】コミュニケーションについて理解を深めることにより、ご自身の価値観を築き、"心遣い"としてのマナーのある行動が出来るようになる
【目標③】コミュニケーションスキルアップ検定合格を目指す

| 授業計画・内容 | |
|---|---|
| 1回目 | 【オリエンテーション・サービス業における基礎知識】 受講の目的を明確に持ち、スタッフとして求められる資質・基礎知識について理解できる |
| 2回目 | 【サービス業における対人技能】 社会常識の必要性と接遇知識について理解できる |
| 3回目 | 【サービス業における実務技能】 問題処理や環境整備等について理解できる |
| 4回目 | 【コミュニケーションとサービス】 コミュニケーションとサービスのそれぞれの特徴と社会的スキルを学び、習得することが出来る |
| 5回目 | 【基本の対話スキル】 会話の種類や様々なパターンにおける相手の心情を読み解き、会話のスキルを身につける |
| 6回目 | 【表現技術1】 一般的な対話でパターン別にポイントを押さえ、スキルを身につける |
| 7回目 | 【表現技術2】 仕事上でよく使われる対話のポイントを押さえ、スキルを身につける |
| 8回目 | 【トラブル対応】 人間関係におけるトラブルについて理解を深め、対処法を知ることができる |
| 9回目 | 【ビジネススキル1】 ビジネスシーンにおける基本マナーについて学び、実践できるようになる |
| 10回目 | 【ビジネススキル2】 ビジネスシーンにおける文書作成について基本マナーについて学び、実践できるようになる |
| 11回目 | 【コミュニケーションスキルアップ検定対策】 これまで学んだことをもとに、試験対策として復習をする |
| 12回目 | 【コミュニケーションスキルアップ検定】検定実施 |
| 13回目 | 【総合復習】 これまでの学習を復習し、形だけでなく個々に工夫して実践出来る |
| 14回目 | 【後期試験】 試験を受けることで個々の理解度を確認することが出来る |
| 15回目 | 【後期試験フィードバック・総合復習】 |
| 準備学習時間外学習 | 必要に応じて課題のご提出をお願いいたします。検定もありますので、常に予習・復習を心がけてください。 |
| 評価方法 | 期末テスト と致します。<br>(100%) |
| 受講生へのメッセージ | 社会人になる楽しみと共に、インターンシップや就職活動へは緊張や不安があることかと思います。そんな気持ちを自信に変えていけるように、基本的なマナーとコミュニケーション方法を身につけていきましょう！授業の終盤では検定にチャレンジする機会があります。検定もご自身のアピールできる材料として、合格を目指しましょう！ |

コミュニケーションスキルアップ検定（社会教育化学研究所）サービス接遇検定（実務技能検定協会）、ビジネス実務マナー検定（実務技能検定協会）、他

# 2025年度　授業概要

学　科　：薬業科

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 科目名（英） | 薬事法規・制度/自己責任とセルフメディケーション(薬事関係法規)<br>Pharmaceutical applicable laws and regulations | 必修選択 | 必修 | 年次 | 1 | 担当教員 | 畑原　裕子 |
| | | | | | | 実務経験 | ○ |
| | | 授業形態 | 講義 | 総時間（単位） | 30<br>2 | 開講区分 | 前期 |
| コース | 共通 | | | | | 曜日・時限 | 火曜日　2時限目 |

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

薬局やドラックストアは様々な形で社会に存在・貢献し、地域に根付いています。しかし、ドラッグストアの増加で、本来あるべき姿である薬局・ドラッグストアでの「医薬品を販売する」ことがスーパーやコンビニエンスストアのようにごく当たり前な風景になり、登録販売者・薬剤師が一般人にセルフケア（セルフメディケーション）に関して指導する場面が減っているように感じます。これから登録販売者・薬剤師に関する関係法規・制度を学び、薬局・ドラッグストアでどのように医薬品を扱い販売しているか、またそこで登録販売者は一般人に対しどのようにセルフケアに対し指導し、接するべきか考えられる人間になってほしいです。登録販売者試験における薬事関係法規の問題は年々難化していく一方です。教科書には難しい言葉や制定に関する事がたくさん記載されており、みなさんが苦手とする教科であり、避ける学問ではありますが、社会に出て薬局やドラッグストアのみならず役に立つ知識も多いので地道に学んでいきましょう。今期の授業では登録販売者制度、医薬品等の販売に関する規則、医療関係者・医療機関の種類、医療保険制度や高齢者・介護保険制度が理解でき、説明できるようになるようになりましょう。
※実務経験…2017年 4月 に、はり師・きゅう師を取得、2018年 11月 に登録販売者を取得し、スギ薬局で1年 、ドラッグイレブンで4年の業務を行う、2022年 8月 に鍼灸院を開設し現在まで実務を行っている。

【到達目標】

登録販売者制度を通して、薬事関係法規に関する事（医薬品等の販売に関わる規則・医薬品の販売方法）、医療関係者・医療機関の種類、医療保険制度を理解し、説明することが出来る。
≪具体的な目標≫
目標①医薬品等の販売に関わる規則を理解し記することが出来る。
目標②医療関係者・医療機関の種類が説明できる。
目標③医療保険制度について説明することが出来る。
目標④自己責任とセルフメディケーションについて理解し登録販売者はどうあるべきか述べることが出来る。

| 授業計画・内容 | |
|---|---|
| 1回目 | （目標①）登録販売者制度を理解し、登録販売者、薬剤師、ヘルスケアアドバイザーについて説明することが出来る。 |
| 2回目 | （目標①）医薬品等の販売に関わる規則（医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律）について理解し、医薬品の販売について説明する事が出来る。 |
| 3回目 | （目標①）医薬品等の販売に関わる規則（医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律）について理解し、医薬品の取り扱いについて説明する事が出来る。 |
| 4回目 | （目標①）医薬品を扱う者への規制（薬剤師法）について理解し、医薬分業法について説明することが出来る。 |
| 5回目 | （目標②）医療関係者の種類について説明することが出来る。 |
| 6回目 | （目標②）医療機関の種類について説明する事が出来る。 |
| 7回目 | （目標③）医療保険制度と給付制度について理解し説明することが出来る。 |
| 8回目 | （目標③）国民医療費の動向について理解し、高齢者医療制度について説明することが出来る。 |
| 9回目 | （目標③）介護保険制度について理解し、その種類やサービスについて説明することが出来る。 |
| 10回目 | （目標③）診療報酬制度の仕組み、公的年金制度について理解し説明することが出来る。 |
| 11回目 | （目標④）セルフメディケーションの求められる背景を理解し、自らの考えを述べる事が出来る。 |
| 12回目 | （目標④）ヘルスケアと自己責任の現状を理解し、登録販売者のセルフメディケーションの在り方について述べることが出来る。 |
| 13回目 | 前期のまとめ |
| 14回目 | 前期試験 |
| 15回目 | 前期試験解説 |
| 準備学習　時間外学習 | 他の教科もそうですが試験前の一夜漬けはよくありません。授業後に一個一個の情報を覚えていくことが重要です。<br>（目標①）登録販売者制度、医薬品等の販売に関わる規則や販売方法などとても難しいので、授業後は復習を心掛けてください。<br>（目標②）登録販売者以外の医療関係者や医療機関など、薬局やドラッグストアで働く様になると耳になるようになりますので授業後は復習を心掛けましょう。<br>（目標③）様々な医療保険制度がありますが授業後に地道に復習していきましょう。 |
| 評価方法 | ・定期テスト（80%）<br>・小テスト（20%）<br>※授業の前に前回の授業の内容の小テストを行います。<br>※出席率や授業態度を考慮し成績評価を行います。 |
| 受講生へのメッセージ | 登録販売者試験での薬事関係法規の分野は年々難化しており、長文での出題や数字のみを変えた問題などの出題傾向にあります。知識や技術も大事ですが、文章の読解力をつけることも大事で、試験でも問題を早く読み解くことに繋がり、医薬品を購入しに来たお客さんへの商品の説明にも生かすことが出来ます。難しい分野ではありますが、社会での登録販売者の在り方をこの講義を通して理解してほしいと思います。 |

【使用教科書・教材・参考書】

ヘルスケアアドバイザー養成講座テキスト　ヘルスケアに関する基礎知識編　第2巻

# 2025年度　授業概要

学　科　：　薬業科

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | 実習指導Ⅱ | 必修選択 | 必須 | 年次 | 1 | 担当教員 | 蓬原　裕子 |
| | | | | | | 実務経験 | ○ |
| (英) | Practical instruction Ⅱ | 授業形態 | 講義 | 総時間 | 30 | 開講区分 | 前期 |
| コース | 共通 | | | (単位) | 2 | 曜日・時限 | 水曜日　1時限目 |

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

登録販売者に関する知識、登録販売者試験の勉強内容や登録販売者の実務経験など、登録販売者に関係する幅広い内容を学習する。

※実務経験…2017年 4月 に、はり師・きゅう師を取得。2018年 11月 に登録販売者を取得し、スギ薬局で1年 、ドラッグイレブンで4年の業務を行う。2022年 8月 に鍼灸院を開設し現在まで実務を行っている。

【到達目標】

授業を通して、面接や実際に業務に対応し、授業内容を応用して接客や店舗における店内業務を行うことができる。

| 授業計画・内容 | |
|---|---|
| 1回目 | 登録販売者試験ついて説明することができる。 |
| 2回目 | 就職活動のための身だしなみや、面接でよく聞かれる質問に対応することができる。 |
| 3回目 | 登録販売者の概要ついて説明することができる。 |
| 4回目 | 医療用医薬品と一般用医薬品の違いを説明できる。 |
| 5回目 | 登録販売者のドラッグストア店舗業務内容について説明できる。 |
| 6回目 | 登録販売者のドラッグストア店舗業務内容であるPOPを作成することができる。 |
| 7回目 | 登録販売者のドラッグストア店舗業務内容である薬品棚の作成することができる。 |
| 8回目 | 医薬品を安全に使用してもらうための販売時の質問事項について説明できる。 |
| 9回目 | 特定保健用食品を含む保健機能食品の分類について説明できる。 |
| 10回目 | 栄養機能食品の表示対象となる栄養成分について説明できる。 |
| 11回目 | 市販薬としての漢方薬の役割について説明できる。 |
| 12回目 | 芳香療法(アロマテラピー)が持つ作用と活用方法について説明できる。 |
| 13回目 | 前期のおさらいと試験対策 |
| 14回目 | 前期期末試験 |
| 15回目 | 前期期末試験の解説 |
| 準備学習　時間外学習 | 実務実習 |
| 評価方法 | 期末試験:100% |
| 受講生へのメッセージ | 実習着に着替えて参加してください。 |

【使用教科書・教材・参考書】

薬局・薬店のワークの基礎知識

# 2025年度　授業概要

学　科　：　薬業科

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | 体の構造と働き（解剖生理学Ⅰ） | 必修選択 | 必修 | 年次 | 1 | 担当教員 | 江上　充穂子 |
| | | | | | | 実務経験 | ○ |
| （英） | Anatomy and Physiology Ⅰ | 授業形態 | 講義 | 総時間 | 30 | 開講区分 | 前期 |
| コース | 共通 | | | （単位） | 2 | 曜日・時限 | 水曜日、1限目 |

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

体の構造と働き（解剖生理学）は解剖学と生理学からなる。ドラッグストアなどの仕事においては医薬品の高度な知識が必要であるが、その医薬品の使用は患者の病理状態の把握が必要である。病理状態を把握するためにはその基礎となる解剖学・生理学を学ばなければならない。最終目標は登録販売者の合格レベルの知識をつける事であるが、そのための前段階として大まかなヘルスケアに関する知識をつける。

※実務経験
2017年3月に登録販売者を取得。
株式会社ハーバルアイ（2017年3月～2022年3月）

【到達目標】

ヘルスケアアドバイザー試験の「ヘルスケアに関する基礎知識」の問題に臨めるようにする為の知識（身体の全体像）が解るようになる。また、実際の医薬品の販売現場において薬剤師や医薬品登録販売者がどのように働いているか解剖生理学の面から理解するようになる。

| 授業計画・内容 | |
|---|---|
| 1回目 | 人体の区分や部位が説明できる。特に（上肢・下肢）の部位について説明できる。 |
| 2回目 | 細胞、組織、器官、器官系に関する用語及び、細胞から器官系までの関係が説明できる。 |
| 3回目 | 人体を構成する骨の名称とその形状が説明できる。 |
| 4回目 | 人体を構成する関節の名称とその仕組みが説明できる。 |
| 5回目 | 体性感覚（下降性伝導路）について説明できる。 |
| 6回目 | 特殊感覚（視覚）および眼球の構造について説明できる。 |
| 7回目 | 特殊感覚（聴覚）および外耳・中耳・内耳（蝸牛）について説明できる。 |
| 8回目 | 特殊感覚（平衡感覚）について説明できる。特に半規管と前庭について説明できる。 |
| 9回目 | 特殊感覚（味覚）について説明できる。舌乳頭と味蕾について説明できる。 |
| 10回目 | 特殊感覚（嗅覚）鼻の構造について説明できる。 |
| 11回目 | 人体を構成する筋の存在部位と名称が説明できる。 |
| 12回目 | 神経系の働きを系統別に説明できる。 |
| 13回目 | 中枢神経（脳と脊髄）について説明できる。 |
| 14回目 | 末梢神経（脳神経と脊髄神経）について説明できる。 |
| 15回目 | 体性感覚（運動神経と感覚神経）について説明できる。 |

| | |
|---|---|
| 準備学習　時間外学習 | 目標）①この授業内容を理解し知識とする為には、必ず、授業後早めの復習が必要です。<br>目標）②解剖生理学に基づいた専門的な用語を使用する為、呼び方などについて復習が必要です。 |
| 評価方法 | 定期テスト（100%）で評価する。 |
| 受講生へのメッセージ | 解剖生理学の必要性）多くのドラッグストアや相談薬局などにおいて、医薬品に限らず、お客様（患者様）から多くの質問や相談を受ける事がある。<br>その相談内容として、今現在の疾病に対する不安だけでなく、これから健康を維持していく為には、どうすればいいのかなど様々である。<br>セルフメディケーションが叫ばれる現在、このような相談を受けた際に、基本的な解剖生理学の知識があるという事がお客様（患者様）の信頼に繋がり、安心感を与える事ができる。そうしてはじめて相互のコミュニケーションが維持できる。笑顔や声掛けは、資格保持者でなくても当然の事であるが、医薬品に関わる資格や技術を学ぶ事で、知識による信頼というものを得る事ができる。 |

【使用教科書・教材・参考書】

教科書　ヘルスケアアドバイザー養成講座テキスト（第1巻）（日本チェーンドラッグストア協会）
教科書　ぜんぶわかる人体解剖図（成美堂出版）

# 2025年度　授業概要

学　科　：　薬業科

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | 体の構造と働き（解剖生理学Ⅱ） | 必修選択 | 必修 | 年次 | 1 | 担当教員 | 江上　克樣子 |
| | | | | | | 実務経験 | ○ |
| （英） | Anatomy and Physiology Ⅱ | 授業形態 | 講義 | 総時間（単位） | 30<br>2 | 開講区分 | 前期 |
| コース | 共通 | | | | | 曜日・時限 | 水曜日、3限目 |

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

体の構造と働き（解剖生理学）は解剖学と生理学からなる。ドラッグストアなどの仕事においては医薬品の高度な知識が必要であるが、その医薬品の使用は患者の病理状態の把握が必要である。病理状態を把握するためにはその基礎となる解剖学・生理学を学ばなければならない。最終目標は登録販売者の合格レベルの知識をつける事であるが、そのための前段階として大まかなヘルスケアに関する知識をつける。

※実務経験
2017年3月に登録販売者を取得。
株式会社ハーバルアイ（2017年3月～2022年3月）

【到達目標】

ヘルスケアアドバイザー試験の「ヘルスケアに関する基礎知識」の問題に臨めるようにする為の知識（身体の全体像）が解るようになる。また、実際の医薬品の販売現場において薬剤師や医薬品登録販売者がどのように働いているか解剖生理学の面から理解するようになる。

| 授業計画・内容 | |
|---|---|
| 1回目 | 循環器系の概要（役割・仕組み）について説明できる。 |
| 2回目 | 心臓の主な働き（リズムと酸素供給）と構造について説明できる。 |
| 3回目 | 血管・リンパの働きについて説明できる。 |
| 4回目 | 呼吸器系の概要（役割と構造）について説明できる。 |
| 5回目 | 鼻腔・咽頭の働きと構造について説明できる。 |
| 6回目 | 気管・気管支・肺胞の働きと構造について説明できる。 |
| 7回目 | 消化器系の概要（役割・仕組み）について説明できる。 |
| 8回目 | 口腔・食道の働きと構造について説明できる。 |
| 9回目 | 胃の働き（機械的消化と科学的消化）とその構造について説明できる。 |
| 10回目 | 小腸・膵臓・肝臓の消化に関わる働きと構造について説明できる。 |
| 11回目 | 大腸の働き（蠕動運動や水の吸収、排便）とその構造について説明できる。 |
| 12回目 | 生殖器系の概要（役割・仕組み）について説明できる。 |
| 13回目 | 泌尿器排系概要（役割・仕組み）について説明できる。 |
| 14回目 | 内分泌系の概要（役割・仕組み）について説明できる。 |
| 15回目 | 循環器・呼吸器・消化器のつながりについて説明できる。酵素や栄養素の吸収と分布について説明できる。 |
| 準備学習　時間外学習 | 目標）①この授業内容を理解し知識とする為には、必ず、授業後早めの復習が必要です。<br>目標）②解剖生理学に基づいた専門的な用語を使用する為、呼び方などについて復習が必要です。 |
| 評価方法 | 定期テスト（100%）で評価する。 |
| 受講生へのメッセージ | 解剖生理学の必要性）多くのドラッグストアや相談薬局などにおいて、医薬品に限らず、お客様（患者様）から多くの質問や相談を受ける事がある。<br>その相談内容として、今現在の疾病に対する不安だけでなく、これから健康を維持していく為には、どうすればいいのかなど様々である。<br>セルフメディケーションが叫ばれる現在、このような相談を受けた際に、基本的な解剖生理学の知識があるという事がお客様（患者様）の信頼に繋がり、安心感を与える事ができる。そうしてはじめて相互のコミュニケーションが維持できる。笑顔や声掛けは、資格保持者でなくても当然の事であるが、医薬品に関わる資格や技術を学ぶ事で、知識による信頼というものを得る事ができる。 |

【使用教科書・教材・参考書】

教材書　ヘルスケアアドバイザー養成講座テキスト（第1巻）（日本チェーンドラッグストア協会）
教材書　ぜんぶわかる人体解剖図（成美堂出版）

# 2025年度　授業概要

学　科　：　薬業科

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | 病気とヘルスケア | 必修選択 | 必須 | 年次 | 1 | 担当教員 | 篠原　裕子 |
| | | | | | | 実務経験 | ○ |
| (英) | Sickness and Herlth care | 授業形態 | 講義 | 総時間 | 30 | 開講区分 | 前期 |
| コース | 共通 | | | (単位) | 2 | 曜日・時限 | 木曜日　1時限目 |

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

近年、高齢化に伴い、病気と上手につきあいながら、日常生活を送っている人が増加している。また「未病」といって、「未だ、病にあらず」という状態ながら、将来大きな病気を発病する可能性を持ちながら生活する人も増加している。これらの発病前段階の状態を早期に発見し、より多くの人が「未病」のままで生涯を終わらせることができるヘルスケアのアドバイスが極めて重要である。この授業ではこれらの重要な役割を担うために、病気の予防・改善、健康の維持・増進を図るためにアドバイスを行なえるよう学習していく。

※実務経験―2017年 4月 に、はり師・きゅう師を取得。2018年 11月 に登録販売者を取得し、スギ薬局で1年 、ドラッグイレブンで4年の業務を行う。2022年 8月 に鍼灸院を開設し現在まで実務を行っている。

【到達目標】

・ヘルスケアアドバイザー検定試験の合格、また授業内容を応用して、実際の店舗での業務でお客様に説明することができる。

| 授業計画・内容 | |
|---|---|
| 1回目 | 循環器疾患の症状について説明することができる。 |
| 2回目 | 呼吸器・消化器疾患の症状について説明することができる。 |
| 3回目 | 内分泌疾患について説明することができる。 |
| 4回目 | 泌尿器系疾患の症状との症状と食生活のポイントを説明できる。生殖器系疾患の発生原因を説明できる。 |
| 5回目 | 脳・神経・骨の疾患における症状と原因を説明できる。 |
| 6回目 | 皮膚の疾患の各症状の発生場所や特徴を説明できる。 |
| 7回目 | 貧血の原因別タイプやOTCで 用いる治療法を説明できる。感染症疾患の症状や多発年齢(月 齢)を説明できる。 |
| 8回目 | 花粉症における時期別の原因となる植物を説明できる。膠原病の原因や治療の目的を説明できる。 |
| 9回目 | 耳の病気の発生秩序を説明できる。鼻・喉・眼の疾患の症状や原因について説明できる。 |
| 10回目 | 口内の疾患の症状や原因について説明できる。 |
| 11回目 | 小児特有の疾患の症状とOTCで用いてはいけない医薬品成分の種類を説明できる。女性特有の疾患の症状や原因について説明できる。 |
| 12回目 | 精神疾患の症状を説明できる。環境による病気の対策法を説明できる。 |
| 13回目 | 寄生体による感染症の種類とその感染経路を説明できる。 |
| 14回目 | 前期期末試験 |
| 15回目 | 前期期末試験の解説 |
| 準備学習　時間外学習 | 登録販売者の業務において基本的な知識となるところです。忘れやすい専門用語は教科書を用いて復習を行ってください。 |
| 評価方法 | ・定期テスト(80%)<br>・小テスト(20%)<br>※授業の前に前回の授業の内容の小テストを行います。<br>※出席率や授業態度を考慮し成績評価を行います。 |
| 受講生へのメッセージ | ヘルスケアアドバイザー検定試験に向けて、今のうちからわからない用語の復習や、効率的な学習を行うために体調管理を心がけてください。 |

【使用教材書・教材・参考書】

ヘルスケアアドバイザー養成講座テキスト ヘルスケアに関する基礎知識編 第3巻

# 2025年度 授業概要

学 科 ：薬業科

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 科目名（英） | 病態生理<br>Pathophysiology | 必修選択 | 必修 | 年次 | 1 | 担当教員 | 松本 澄久 |
| | | | | | | 実務経験 | ○ |
| | | 授業形態 | 講義 | 総時間（単位） | 30<br>2 | 開講区分 | 前期 |
| コース | 共通 | | | | | 曜日・時限 | 木曜3時限 |

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

登録販売者として必要な医学的知識を習得し、お客さんに適切な情報提供ができる

実務経験…病院・医務室等で30年の臨床経験。准看護学院で講義の実績

【到達目標】

ヘルスケアアドバイザー検定試験に合格できる

| | 授業計画・内容 |
|---|---|
| 1回目 | 病態生理、病気の内因（年齢、性別、遺伝、先天異常、体質）が理解できる。 |
| 2回目 | 病気の内因（免疫、身体の抵抗、アレルギー、心因）が理解できる。 |
| 3回目 | 病気の外因（栄養素の不足、栄養素の過剰、物理的要因）が理解できる。 |
| 4回目 | 病気の外因（化学的要因、喫煙、飲酒、寄生体）が理解できる。 |
| 5回目 | 原因が不明な病気（腫瘍、膠原病）が理解できる。 |
| 6回目 | 主な疾病の特徴、炎症（炎症の原因、生体防御反応）が理解できる。 |
| 7回目 | 炎症（炎症の兆候と病変、治療）が理解できる。 |
| 8回目 | 循環器系障害（虚血、充血、うっ血）が理解できる。 |
| 9回目 | 循環器系障害（出血、血栓、塞栓）が理解できる。 |
| 10回目 | 代謝異常（代謝）が理解できる。 |
| 11回目 | 腫瘍（腫瘍の分類、悪性腫瘍の発育、悪性腫瘍の発育抑制）が理解できる。 |
| 12回目 | 進行性病変と退行性病変（進行性病変、退行性病変）、奇形が理解できる。 |
| 13回目 | 老化、老化とは（生理的老化、病的老化、老化に伴う形態・身体機能・生化学的変化）が理解できる。 |
| 14回目 | 臨床検査、検査（基準範囲、検査値の変動、体の基本的計測）が理解できる。 |
| 15回目 | 終講試験で理解度を確認する。 |
| 準備学習時間外学習 | 高等学校の生物学の教科書を見返す。 |
| 評価方法 | ペーパーテストで評価。 |
| 受講生へのメッセージ | ヘルスケアアドバイザー検定試験の合格を目指して頑張ろう。 |

【使用教科書・教材・参考書】

ヘルスケアアドバイザー養成講座テキスト、ヘルスケアに関する基礎知識編（第2巻）

# 2025年度　授業概要

学　科　：薬業科

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 科目名（英） | 一般用医薬品論Ⅱ<br>Over the Counter Drugs Theory Ⅱ | 必修選択 | 必修 | 年次 | 1 | 担当教員 | 三浦公義 |
| | | | | | | 実務経験 | ○ |
| | | 授業形態 | 講義 | 総時間（単位） | 30<br>2 | 開講区分 | 前期 |
| コース | 共通 | | | | | 曜日・時限 | 金曜日、3時限目 |

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

患者に対して登録販売者が、個々の患者の状態に合わせて、より適切な一般用医薬品を選択できるようアドバイスが出来るためには、個々の一般用医薬品の知識を得る前に、まず「薬」というものについて理解していることが必要です。本講座は、全く「薬」に関しての知識が無い状態の方が登録販売者として業務が出来るための第一歩である「薬」に関する基礎的知識を理解することを目的として、講座終了時には一般用医薬品を学ぶための基礎的事項が説明できるようになる。

※実務経験…1999年に調剤薬局を開業。（現在に至る）また、2004年3月にはり師・きゅう師を取得し、2004年4月に鍼灸院を開業。（現在に至る）

【到達目標】

医薬品に関する基本的事項（個々の薬品ではなく、医薬品全体としての概論）を理解する。代表的な医薬品成分の簡単な説明が出来る。

| 授業計画・内容 | |
|---|---|
| 1回目 | 有害事象・副作用の意味について説明が出来る |
| 2回目 | 薬の投与量・服用量の意味について説明が出来る |
| 3回目 | 医薬品の胎児への影響について説明が出来る |
| 4回目 | 医薬品の乳汁移行について説明が出来る |
| 5回目 | アレルギーについて説明が出来る |
| 6回目 | 代表的な臓器障害について説明が出来る |
| 7回目 | 薬物依存について説明が出来る |
| 8回目 | その他の副作用について説明が出来る |
| 9回目 | 医薬品の種差・人種差の薬効・毒性への影響について説明が出来る |
| 10回目 | 医薬品の高齢者の生理機能と薬効について説明が出来る |
| 11回目 | 医薬品の小児の生理機能と薬効について説明が出来る |
| 12回目 | 医薬品の妊娠時の生理機能の変化と薬効について説明が出来る |
| 13回目 | 医薬品の成分解説と情報提供について説明が出来る |
| 14回目 | 試験 |
| 15回目 | 試験の解答及び解説 |
| 準備学習時間外学習 | この授業を受けるには、今までに聞いたことが無い言葉が沢山出てきます。授業を理解するうえで、授業内容の予習も必要ですが、意味の不確かな語句等のチェックと確認の準備が重要ですので、そのためにも1回以上の授業範囲の音読をして授業に臨んでもらう事が必要です。そして、授業後は、正確に理解が出来ているかの確認のための復習が必要です |
| 評価方法 | 定期テストにて成績評価を行う。（100%） |
| 受講生へのメッセージ | 本講座で身につける知識は、薬に関係する仕事に従事する人において、必要最低限の事項です。他の講座のベースともなる内容ですので、難しくはありませんがしっかり理解することが重要です。そのためにも体調等の自己管理に気をつけて、欠席をしないようにしてください。 |

【使用教科書・教材・参考書】

ヘルスケアアドバイザー養成講座テキスト　ヘルスケアに関する基礎知識編　第2巻

# 2025年度　授業概要

学　科：薬学

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 科目名（英） | 英会話<br>English Conversation and Terminology of Medical | 必修選択 | 必修 | 年次 | 1 | 担当教員 | 金子知恵 |
| | | | | | | 実務経験 | ○ |
| | | 授業形態 | 講義 | 総時間（単位） | 30<br>2 | 開講区分 | 後期 |
| コース | 共通 | | | | | 曜日・時限 | |

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

Course goal: In this course we aim to help students develop English communication skills that can be used in their foreign study trips abroad and in their professional fields thereafter. Possible usage scenarios include ascertaining patients' needs, explaining medical issues to both clients and coworkers, asking for and receiving feedback from patients etc. Students will therefore learn how to communicate in English in a medical or welfare environment.

昨今、医療現場でもグローバル化が進み、患者像の多様化がみられる。その変化に対応すべく、世界の共通言語である英語を学ぶことによって、グローバルな感性を養い、最低限のコミュニケーション能力を習得する。英語による医療用語を学び、医療現場における最低限の会話ができることを目的とする。
実務経験…専門学校の英語教師として4年間従事

【到達目標】

Course goal: In this course we aim to help students develop English communication skills that can be used in their foreign study trips abroad and in their professional fields thereafter.
海外での研修や将来の職場で役立つ基礎的な英語コミュニケーション力を向上させることを目的としています。

| 授業計画・内容 | |
|---|---|
| 1回目 | Orientation：Orientation, Introductions<br>オリエンテーション、自己紹介 |
| 2回目 | Chap. 1　pp.6~11：Reception: Students will learn how to help patients fill out a clinical registration form and how to politely ask for medical and clinical information.<br>受付：基本的な患者対応が英語でできるようになる |
| 3回目 | Chap. 1　pp.6~11：Chapter 1 continued.<br>第1章続き |
| 4回目 | Chap. 2 pp.12~17: Giving directions: Students will learn how to give correct directional information in a hospital setting.<br>病院案内：病院案内を英語でできるようになる |
| 5回目 | Chap. 3 pp.18~23: Anatomy and different types of pain: Students will learn English anatomy. They will also learn how to describe the many different feelings of pain in English.<br>症状（1）痛み：体の部位に関する単語と痛みの表現を英語でわかるようになる |
| 6回目 | Chap. 3 pp.18~23: Chapter 3 cont.<br>第3章続き |
| 7回目 | Chap. 4 pp.24~29: Symptoms and illness: Students will learn how to ask patients whether or not they are suffering from various symptoms.<br>症状（2）その他：患者の症状について尋ねることができるようになる |
| 8回目 | Chap. 5 pp.30~35: Medical history: Students will learn how to politely ask patients about their and their family's medical history.<br>既往歴・家族歴：患者と家族の病歴について丁寧に尋ねることができるようになる |
| 9回目 | Chap. 5 pp.30~35:Chapter 5 cont.<br>第5章続き |
| 10回目 | Chap. 6 pp.36~41: Allergies and health issues: Students will learn how to ask a patient about their daily habits, how to ask a patient about their allergies and whether or not they are presently taking medication.<br>アレルギー・生活習慣：習慣、アレルギー中服用している薬について尋ねることができるようになる |
| 11回目 | Chap. 6 pp.36~41: Chapter 6 cont.<br>第6章続き |
| 12回目 | Chap 7 pp. 42-45: Internal medicine: explaining measurements and asking patients about their symptoms.<br>内科（1）身体測定・診察時の表現：測定や症状について説明することができるようになる |
| 13回目 | Chap 7 pp. 42-45: Chapter 7 cont.<br>第7章続き |
| 14回目 | Test 期末試験実施 |
| 15回目 | TEST review 試験解説 |
| | |
| 準備学習時間外学習 | |
| 評価方法 | |
| 受講者へのメッセージ | 英語の表現はシンプルなものを使用しますので、ペアワークやグループワークをしながら一緒に学んでいきましょう。 |

【使用教科書・教材・参考書】

医療英語コミュニケーション Medical English Communication

# 2025年度　授業概要

学　科　：　薬業科

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | 解剖生理学Ⅲ | 必修選択 | 必修 | 年次 | 1 | 担当教員 | 江上　克穂子 |
| | | | | | | 実務経験 | ○ |
| (英) | Anatomy and Physiology Ⅲ | 授業形態 | 講義 | 総時間 | 30 | 開講区分 | 後期 |
| コース | 共通 | | | (単位) | 2 | 曜日・時限 | |

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

登録販売者はセルフメディケーション推進の担い手としてドラッグストア、一般薬店においてしっかりとしたお薬や健康食品の説明をしていきたい。その為には、医薬品や身体の仕組みにおける知識が必要不可欠である。患者さんに対する、より適切なアドバイスは十分な知識と現場経験から生まれるものである。この授業を通じて身体の構造やその働きを基礎から学ぶものである。

※実務経験
2017年3月に登録販売者を取得。
株式会社ハーバルアイ(2017年3月～2022年3月)

【到達目標】

ドラッグストアなどでお薬の説明を行うために基礎となる基本的な知識を習得する。特にこの授業に通じて人体の構造とその働きを学習する。

＜具体的な目標＞
目標①胃・腸・肝臓・肺・心臓・腎臓などの内臓器官の働きについて理解できる。
目標②目・鼻・耳などの感覚器官および脳や神経系の働きについて理解できる。
目標③皮膚・骨・関節・筋肉などの運動器官について理解できる。

| | 授業計画・内容 |
|---|---|
| 1回目 | 胃腸の全体的な構造と働き(機械的消化と化学的消化の各々の役割)の概要について理解できる。 |
| 2回目 | 口腔内から咽頭までの構造とその働きについて理解できる。 |
| 3回目 | 食道から胃までの構造とその働きについて理解できる。 |
| 4回目 | 小腸の構造および小腸と膵臓の科学的消化、物質の吸収について理解できる。 |
| 5回目 | 肝臓と胆嚢の構造とその働きを理解できる。 |
| 6回目 | 大腸から肛門までの構造とその働きが理解できる。 |
| 7回目 | 鼻腔と咽頭の構造とその働きが理解できる。 |
| 8回目 | 喉頭、気管、気管支、肺胞の構造とその働きが理解できる。 |
| 9回目 | 心臓と血管の構造とその働きが理解できる。 |
| 10回目 | 血液中の血液細胞と血漿の役割について理解できる。 |
| 11回目 | 脾臓とリンパ系について理解できる。 |
| 12回目 | 腎臓と排尿の構造とその働きについて理解できる。 |
| 13回目 | 視覚器、嗅覚器、聴覚器および外皮系などの構造とその働きを理解できる。 |
| 14回目 | 運動器系の構造とその働きについて説明できる。 |
| 15回目 | 神経系の働きについて理解できる。 |
| 準備学習　時間外学習 | この授業を受けるには、ヘルスケアアドバイザーのテキストで学習した身体の構造と働きにおける基礎的な理解が不可欠です。 |
| 評価方法 | 定期テスト(100%)で評価する。 |
| 受講生へのメッセージ | 魅力:身体の構造や仕組みを理解する事は、患者さんに対してだけでなく、自分自身のセルフメディケーションに役立つ。<br>授業計画:この授業で身につける内容は、主に医療関係者の知識の最も基本となる部分である。その必要な知識は、単に授業を聴講するだけでなく、しっかりと大切な部分はメモをとり、なるべく早い時期に復習する事が大切である。 |

【使用教科書・教材・参考書】

①登録販売者試験　受験対策　共通対策　共通テキスト　改訂版　上巻(日本薬業研修センター)
②ぜんぶわかる人体解剖図(成美堂出版)

# 2025年度　授業概要

学　科　：　薬業科

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | 解剖生理学Ⅳ | 必修選択 | 必修 | 年次 | 2 | 担当教員 | 江上　克穂子 |
| | | | | | | 実務経験 | ○ |
| (英) | Anatomy and Physiology Ⅳ | 授業形態 | 講義 | 総時間 | 30 | 開講区分 | 後期 |
| コース | 共通 | | | (単位) | 2 | 曜日・時限 | |

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

登録販売者はセルフメディケーション推進の担い手としてドラッグストア、一般薬店においてしっかりとしたお薬や健康食品の説明をしていきたい。そのためには、医薬品や身体の仕組みにおける知識が必要不可欠である。患者さんに対する、より適切なアドバイスは十分な知識と現場経験から生まれるものである。この授業を通じて身体の構造やその働きを基礎から学ぶものである。

※実務経験
2017年3月に登録販売者を取得。
株式会社ハーバルアイ（2017年3月～2022年3月）

【到達目標】

ドラッグストアなどでお薬の説明を行うために基礎となる基本的な知識を習得する。特にこの授業に通じて薬が働く仕組み等を学習する。

＜具体的な目標＞
目標①医薬品の体内動態について理解できる。
目標②医薬品の剤形の違いなど各々の特徴について理解できる。
目標③症状からみた主な医薬品の副作用について理解できる。

| 授業計画・内容 | |
|---|---|
| 1回目 | 医薬品の体内動態ADMEの概要（とくに吸収・分布）について理解できる。 |
| 2回目 | 医薬品の体内動態ADMEの概要（とくに代謝・排泄）について理解できる。 |
| 3回目 | 医薬品血中濃度について理解できる。 |
| 4回目 | 剤形（内服薬）ごとの違い、適切な使用方法について理解できる。 |
| 5回目 | 剤形（外服薬）ごとの違い、適切な使用方法について理解できる。 |
| 6回目 | 全身的に現れる副作用としてアナフィラキシー、SJS、TENなどにおける知識を獲得する。 |
| 7回目 | 副作用としての肝機能障害の主な症状を把握する。 |
| 8回目 | 偽アルドステロン症についての知識を獲得する。 |
| 9回目 | 医薬品の中枢神経に対する影響を考える。無菌性髄膜炎の知識を獲得する。 |
| 10回目 | 副作用としての消化性潰瘍や、イレウス様症状とは何かを理解する。 |
| 11回目 | 医薬品によっておこる間質性肺炎とは何かを理解する。喘息の知識を理解する。 |
| 12回目 | うっ血性心不全と不整脈の病態を理解する。 |
| 13回目 | 副作用としての腎障害や排尿障害などを理解し、排尿困難を起こす可能性のある医薬品を意識できるようになる。 |
| 14回目 | 副作用によって眼圧が上昇する可能性について考える。 |
| 15回目 | 医薬品による副作用として皮膚に現れる症状を理解する。 |
| 準備学習　時間外学習 | この授業を受けるには、ヘルスケアアドバイザーのテキストで学習した身体の構造と働きにおける基礎的な理解が不可欠です。 |
| 評価方法 | 定期テスト（100%）で評価する。 |
| 受講生へのメッセージ | 魅力：身体の構造や仕組みを理解する事は、患者さんに対してだけでなく、自分自身のセルフメディケーションに役立つ。<br>授業計画　この授業で身につける内容は、主に医療関係者の知識の最も基本となる部分である。その必要な知識は、単に授業を聴講するだけでなく、しっかりと大切な部分はメモをとり、なるべく早い時期に復習する事が大切である。 |

【使用教科書・教材・参考書】

教科書：登録販売者　受験対策　共通テキスト　上巻（日本薬業研修センター）
参考書：ぜんぶわかる人体解剖図

# 2025年度　授業概要

学　科　：　薬業科

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 科目名（英） | 一般用医薬品 Ⅲ<br>Over the Counter Drugs Theory Ⅲ | 必修選択 | 必修 | 年次 | 1 | 担当教員 | 三浦公義 |
| | | | | | | 実務経験 | ○ |
| | | 授業形態 | 講義 | 総時間（単位） | 30<br>2 | 開講区分 | 後期 |
| コース | 共通 | | | | | 曜日・時限 | |

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

患者に対して登録販売者が、個々の患者の状態に合わせ、より適切な一般用医薬品を選択できるようアドバイスが出来るためには、各々の一般用医薬品について理解していることはもちろん、患者の不具合の原因または要因を推測するための、人の身体に対する知識や各病気に対する知識。そして、その対処法に対する知識を持つことが必要です。そして、それが出来たうえで更に、それら個々の知識を総合的に判断して患者の不具合に対する適切な対応策（一般用医薬品の使用や生活習慣の改善等）を考えることが出来るようになるスキルが必要です。本講座終了時には、そのスキルを身につけるために、領域別に基本的な薬剤の知識を得、併せて代表的な病態生理を理解することで、基本的な病態に関して適切な薬品の選択が出来るようになる。

※実務経験：1999年1月に調剤薬局を開業。（現在に至る）また、2004年3月にはり師・きゅう師を取得し、2004年4月に鍼灸院も開業。（現在に至る）

【到達目標】

各領域における代表的な疾患とそれに対する一般用医薬品の知識と選択方法を修得する。

（具体的な目標）

目標① 各領域における代表的一般用医薬品の成分の薬効・薬理を説明できる。

目標② 各領域における代表的疾患の病態・生理を説明できる。

| 授業計画・内容 | |
|---|---|
| 1回目 | 鼻部の病態について説明が出来る。① |
| 2回目 | 鼻部の病態について説明が出来る。② |
| 3回目 | かぜ薬について説明が出来る。① |
| 4回目 | かぜ薬について説明が出来る。② |
| 5回目 | かぜ薬について説明が出来る。③ |
| 6回目 | 発熱の仕組み・炎症の病態について説明が出来る。① |
| 7回目 | 発熱の仕組み・炎症の病態について説明が出来る。② |
| 8回目 | 発熱の仕組み・炎症の病態について説明が出来る。③ |
| 9回目 | 解熱鎮痛薬について説明が出来る。① |
| 10回目 | 解熱鎮痛薬について説明が出来る。② |
| 11回目 | 睡眠の仕組みについて説明が出来る。 |
| 12回目 | 眠気を促す薬について説明が出来る。 |
| 13回目 | 眠気を防ぐ薬について説明が出来る。 |
| 14回目 | 試験 |
| 15回目 | 試験の解答及び解説 |
| 準備学習 時間外学習 | この授業の理解をより効率的に行うには、人体の解剖・生理の知識が必要です。そのために、授業範囲の必要と思われるそれら範囲の予習が必要です。また、複数の領域で用いられる成分については、最初に出できた時のみ説明するので、後に成分名のみ紹介されたり、簡単な追加説明しかされなかった場合には、各自でそれらの成分についての個々の理解度に合わせた復習が必要です。 |
| 評価方法 | 定期テストにて成績評価を行う。（100%） |
| 受講生へのメッセージ | 魅力：本講座は登録販売者としての業務をするうえで、最低限必要な知識です。この知識を得て、更にコミュニケーション等の他のスキルを得て、そしてそれらを総合的に活用してはじめて患者の苦しみ取り除く手助けができるようになります。この患者の苦しみを軽減するという直接的な成果を獲得することが、個人の仕事に対する「やりがい」に直結することはもちろんですが、一般用医薬品の普及は地域医療、そして日本全体として見た時の医療に対する貢献ができている事を意味します。<br>授業計画：本講座で身につける知識は、量・質ともにとても重要で難解です。授業に真摯に取り組むことで、少しでも容易に知識を得ることが出来ます。そのためにも、体調管理に気をつけて欠席や居眠りをしないようにしてください。 |

【使用教科書・教材・参考書】

登録販売者試験　受験対策　共通テキスト　下巻（日本薬業研修センター）

# 2025年度　授業概要

学　科　：　薬業科

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 科目名（英） | 一般用医薬品論Ⅳ<br>Over the Counter Drugs Theory Ⅳ | 必修選択 | 必修 | 年次 | 1 | 担当教員 | 三浦公義 |
| | | | | | | 実務経験 | ○ |
| | | 授業形態 | 講義 | 総時間（単位） | 30<br>2 | 開講区分 | 後期 |
| コース | 共通 | | | | | 曜日・時限 | |

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

患者に対して登録販売者が、個々の患者の状態に合わせて、より適切な一般用医薬品を選択できるようアドバイスが出来るためには、各々の一般用医薬品について理解していることはもちろん、患者の不具合の原因または要因を推測するための、人の身体に対する知識や各病気に対する知識、そして、その対処法に対する知識を持つことが必要です。そして、それが出来たうえで更に、それら個々の知識を総合的に判断して患者の不具合に対する適切な対応策（一般用医薬品の使用や生活習慣の改善等）を考えることが出来るようになるスキルが必要です。本講座終了時には、そのスキルを身につけるために、領域別に基本的な薬剤の知識を得、併せて代表的な病態生理を理解することで、基本的な病態に関して適切な薬品の選択が出来るようになる。

※実務経験：1999年1月に調剤薬局を開業。（現在に至る）また、2004年3月にはり師・きゅう師を取得し、2004年4月に鍼灸院も開業。（現在に至る）

【到達目標】

各領域における代表的な疾患とそれに対する一般用医薬品の知識と選択方法を修得する。

（具体的な目標）

目標①　各領域における代表的一般用医薬品の成分の薬効・薬理を説明できる。

目標②　各領域における代表的疾患の病態・生理を説明できる。

| 授業計画・内容 | |
|---|---|
| 1回目 | 鎮暈薬（乗物酔い防止薬）について説明が出来る。 |
| 2回目 | 小児鎮静薬について説明が出来る。 |
| 3回目 | 咳と痰の発生について説明が出来る。① |
| 4回目 | 咳と痰の発生について説明が出来る。② |
| 5回目 | 鎮咳去痰薬について説明が出来る。 |
| 6回目 | 口腔咽喉薬・うがい薬について説明が出来る。 |
| 7回目 | 胃の働きについて説明が出来る。① |
| 8回目 | 胃の働きについて説明が出来る。② |
| 9回目 | 胃の薬（制酸薬・健胃薬・消化薬）について説明が出来る。① |
| 10回目 | 胃の薬（制酸薬・健胃薬・消化薬）について説明が出来る。② |
| 11回目 | 腸の働きについて説明が出来る。① |
| 12回目 | 腸の働きについて説明が出来る。② |
| 13回目 | 腸の薬（整腸薬・止瀉薬・瀉下薬）について説明が出来る。① |
| 14回目 | 試験 |
| 15回目 | 試験の解答及び解説 |
| 準備学習<br>時間外学習 | この授業の理解をより効率的に行うには、人体の解剖・生理の知識が必要です。そのために、授業範囲の必要と思われるそれら範囲の予習が必要です。また、複数の領域で用いられる成分については、最初に出できた時のみ説明するので、後に成分名のみ紹介されたり、簡単な追加説明しかされなかった場合には、各自でそれらの成分についての個々の理解度に合わせた復習が必要です。 |
| 評価方法 | 定期テストにて成績評価を行う。（100%） |
| 受講生へのメッセージ | 魅力：本講座は登録販売者としての業務をするうえで、絶対必要な知識です。この知識を得て、更にコミニュケーション等の他のスキルを得て、そしてそれらを総合的に活用してはじめて患者の苦しみ取り除く手助けができるようになります。この患者の苦しみを軽減するという直接的な成果を獲得することが、個人の仕事に対する「やりがい」に直結することはもちろんですが、一般用医薬品の普及は地域医療、そして日本全体として見た時の医療に対する貢献ができている事を意味します。<br>授業計画：本講座で身につける知識は、量・質ともにとても重要で難解です。授業に真摯に取り組むことで、少しでも容易に知識を得ることが出来ます。そのためにも、体調管理に気をつけて欠席や居眠りをしないようにしてください。 |

【使用教科書・教材・参考書】

登録販売者試験　受験対策　共通テキスト　下巻　（日本薬業研修センター）

# 2025年度　授業概要

学　科　：　薬業科

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 科目名（英） | 一般用医薬品論V<br>Over the Counter Drugs Theory V | 必修選択 | 必修 | 年次 | 1 | 担当教員 | 三浦公義 |
| | | | | | | 実務経験 | ○ |
| | | 授業形態 | 講義 | 総時間（単位） | 30<br>2 | 開講区分 | 後期 |
| コース | 共通 | | | | | 曜日・時限 | |

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

患者に対して登録販売者が、個々の患者の状態に合わせ、より適切な一般用医薬品を選択できるようアドバイスが出来るためには、各々の一般用医薬品について理解していることはもちろん、患者の不具合の原因または要因を推測するための、人の身体に対する知識や各病気に対する知識、そして、その対処法に対する知識を持つことが必要です。そして、それが出来たうえで更に、それら個々の知識を総合的に判断して患者の不具合に対する適切な対応策（一般用医薬品の使用や生活習慣の改善等）を考えることが出来るようになるスキルが必要です。本講座終了時には、そのスキルを身につけるために、領域別に基本的な薬剤の知識を得、併せて代表的な病態生理を理解することで、基本的な病態に関して適切な薬品の選択が出来るようになる。

※実務経験：1989年1月に調剤薬局を開業。（現在に至る）また、2004年3月にはり師・きゅう師を取得し、2004年4月に鍼灸院も開業。（現在に至る）

【到達目標】

各領域における代表的な疾患とそれに対する一般用医薬品の知識と選択方法を修得する。

（具体的な目標）

目標①　各領域における代表的一般用医薬品の成分の薬効・薬理を説明できる。

目標②　各領域における代表的疾患の病態・生理を説明できる。

| 授業計画・内容 | |
|---|---|
| 1回目 | 鼻の薬（鼻腔薬・止瀉薬・瀉下薬）について説明が出来る。② |
| 2回目 | 胃腸鎮痛鎮痙薬について説明が出来る。 |
| 3回目 | 浣腸薬について説明が出来る。 |
| 4回目 | 駆虫薬について説明が出来る。 |
| 5回目 | 排泄の仕組みについて説明が出来る。① |
| 6回目 | 排泄の仕組みについて説明が出来る。② |
| 7回目 | 痔の薬・その他泌尿器用薬について説明が出来る。 |
| 8回目 | 循環器の仕組みについて説明が出来る。① |
| 9回目 | 循環器の仕組みについて説明が出来る。② |
| 10回目 | 循環器の仕組みについて説明が出来る。③ |
| 11回目 | 強心薬について説明が出来る。 |
| 12回目 | 栄養素の利用について説明が出来る。① |
| 13回目 | 栄養素の利用について説明が出来る。② |
| 14回目 | 試験 |
| 15回目 | 試験の解答及び解説 |
| 準備学習時間外学習 | この授業の理解をより効率的に行うには、人体の解剖・生理の知識が必要です。そのために、授業範囲の必要と思われるそれら範囲の予習が必要です。また、複数の領域で用いられる成分については、最初に出てきた時のみ説明するので、後に成分名のみ紹介されたり、簡単な追加説明しかされなかった場合には、各自でそれらの成分についての個々の理解度に合わせた復習が必要です。 |
| 評価方法 | 定期テストにて成績評価を行う。（100%） |
| 受講生へのメッセージ | 魅力：本講座は登録販売者としての業務をするうえで、最低限必要な知識です。この知識を得て、更にコミュニケーション等の他のスキルを得て、そしてそれらを総合的に活用してはじめて患者の苦しみ取り除く手助けができるようになります。この患者の苦しみを軽減するという直接的な成果を獲得することが、個人の仕事に対する「やりがい」に直結することはもちろんですが、一般用医薬品の普及は地域医療、そして日本全体として見た時の医療に対する貢献ができている事を意味します。<br>授業計画：本講座で身につける知識は、量・質ともにとても重要で難解です。授業に真摯に取り組むことで、少しでも容易に知識を得ることが出来ます。そのためにも、体調管理に気をつけて欠席や居眠りをしないようにしてください。 |

【使用教科書・教材・参考書】

合格!登録販売者試験　登録対策　共通テキスト　下巻　（日本薬業研修センター）

# 2025年度　授業概要

学　科　：　薬業科

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 科目名（英） | 一般用医薬品論Ⅵ<br>Over the Counter Drugs TheoryⅥ | 必修選択 | 必修 | 年次 | 1 | 担当教員 | 三浦公義 |
| | | | | | | 実務経験 | ○ |
| | | 授業形態 | 講義 | 総時間（単位） | 30<br>2 | 開講区分 | 後期 |
| コース | 共通 | | | | | 曜日・時限 | |

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

患者に対して登録販売者が、個々の患者の状態に合わせ、より適切な一般用医薬品を選択できるようアドバイスが出来るためには、各々の一般用医薬品について理解していることはもちろん、患者の不具合の原因または要因を推測するための、人の身体に対する知識や各病気に対する知識、そして、その対処法に対する知識を持つことが必要です。そして、それが出来たうえで更に、それら個々の知識を総合的に判断して患者の不具合に対する適切な対応策（一般用医薬品の使用や生活習慣の改善等）を考えることが出来るようになるスキルが必要です。本講座終了時には、そのスキルを身につけるために、領域別に基本的な薬剤の知識を得、併せて代表的な病態生理を理解することで、基本的な病態に関して適切な薬品の選択が出来るようになる。

※実務経験：1999年1月に調剤薬局を開業。（現在に至る）また、2004年3月にはり師・きゅう師を取得し、2004年4月に鍼灸院も開業。（現在に至る）

【到達目標】

各領域における代表的な疾患とそれに対する一般用医薬品の知識と選択方法を修得する。

（具体的な目標）

目標①　各領域における代表的一般用医薬品の成分の薬効・薬理を説明できる。

目標②　各領域における代表的疾患の病態・生理を説明できる。

| 授業計画・内容 | |
|---|---|
| 1回目 | 高コレステロール改善薬について説明が出来る。 |
| 2回目 | 血液の役割について説明が出来る。① |
| 3回目 | 血液の役割について説明が出来る。② |
| 4回目 | 貧血用薬について説明が出来る。 |
| 5回目 | 女性のホルモンバランスについて説明が出来る。① |
| 6回目 | 女性のホルモンバランスについて説明が出来る。② |
| 7回目 | 婦人薬について説明が出来る。 |
| 8回目 | 免疫・アレルギーの概略が説明できる。① |
| 9回目 | 免疫・アレルギーの概略が説明できる。② |
| 10回目 | アレルギー用薬について説明が出来る。 |
| 11回目 | 鼻に用いる薬について説明が出来る。 |
| 12回目 | 眼の解剖生理が説明できる。① |
| 13回目 | 眼の解剖生理が説明できる。② |
| 14回目 | 試験 |
| 15回目 | 試験の解答及び解説 |
| 準備学習時間外学習 | この授業の理解をより効率的に行うには、人体の解剖・生理の知識が必要です。そのために、授業範囲の必要と思われるそれら範囲の予習が必要です。また、複数の領域で用いられる成分については、最初に出できた時のみ説明するので、後に成分名のみ紹介されたり、簡単な追加説明しかされなかった場合には、各自でそれらの成分についての個々の理解度に合わせた復習が必要です。 |
| 評価方法 | 定期テストにて成績評価を行う。（100%） |
| 受講生へのメッセージ | 魅力：本講座は登録販売者としての業務をするうえで、最低限必要な知識です。この知識を得て、更にコミュニケーション等の他のスキルを得て、そしてそれらを総合的に活用してはじめて患者の苦しみ取り除く手助けができるようになります。この患者の苦しみを軽減するという直接的な成果を獲得することが、個人の仕事に対する「やりがい」に直結することはもちろんですが、一般用医薬品の普及は地域医療、そして日本全体として見た時の医療に対する貢献ができている事を意味します。<br>授業計画：本講座で身につける知識は、量・質ともにとても重要で難解です。授業に真摯に取り組むことで、少しでも容易に知識を得ることが出来ます。そのためにも、体調管理に気をつけて欠席や居眠りをしないようにしてください。 |

【使用教科書・教材・参考書】

登録販売者試験　合格対策　共通テキスト　下巻（日本薬業研修センター）

# 2025年度　授業概要

学　科　：　薬業科

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | ホスピタリティ講座 | 必修選択 | 必修 | 年次 | 1 | 担当教員 | 松岡　尚美 |
| | | | | | | 実務経験 | ○ |
| (英) | lecture in Hospitality | 授業形態 | 講義 | 総時間 | 30 | 開講区分 | 後期 |
| コース | 共通 | | | (単位) | 2 | 曜日・時限 | |

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

日本ホスピタリティ推進協会「ホスピタリティ・コーディネータ」資格を取得した講師から、テキストをベースにホスピタリティのフレームを理解し、サービスとホスピタリティの違いや対応力、マインドを学びます。

※実務経験：藤田観光株式会社ワシントンホテルにて、4年半フロント勤務。
日本ホスピタリティ推進協会「ホスピタリティ・コーディネータ」資格取得。

【到達目標】

<具体的な目標>
①「アソシエイト・ホスピタリティ・コーディネータ」資格取得。
②理論と実践の両面からホスピタリティを理解し、マインドとスキルを習得することができる。
③業界で求められているホスピタリティを理解し、相手を思いやる気持ちの表現方法や期待を超えるサービスの提供方法を考えることができる。

| 授業計画・内容 | |
|---|---|
| 1回目 | オリエンテーション：講義の説明　ホスピタリティ動画を視聴し、感動を与えるサービスについて理解することができる |
| 2回目 | ホスピタリティの実践①　お客様に好感と安心感を持っていただけるよう、基本マナーを身につけ実践することができる |
| 3回目 | ホスピタリティの実践②　効果的な「傾聴」の仕方やメリットを学び、相手との信頼関係を構築することができる |
| 4回目 | 「観察→推理→理解→行動」の4ステップ　"他人の視座"を考えることができる |
| 5回目 | 日本のおもてなし文化から、サービスとホスピタリティの違いや語源・歴史について説明することができる |
| 6回目 | ホスピタリティ・ビジネスに必要なCSとESについて説明することができる |
| 7回目 | ホスピタリティ・ビジネスに必要な顧客満足と顧客ロイヤルティについて説明することができる |
| 8回目 | 「心のバリアフリー」についてさまざまな障がいの特性を知り、適切にサポートすることができる |
| 9回目 | 異文化コミュニケーション「やさしい日本語」を学び、現場で実践することができる |
| 10回目 | クレームが起きる原因とお客様の心情を理解し、適切に対応することができる |
| 11回目 | ハラスメントやコンプライアンスについて正しく理解することができる |
| 12回目 | 課題作成 |
| 13回目 | 課題作成 |
| 14回目 | 後期評価試験　※レポート提出日 |
| 15回目 | 後期講義のまとめ |
| 準備学習　時間外学習 | ホスピタリティ・マインドはその気持ちがあっても、具体的な言葉のかけ方や行動で表し相手に伝えることが難しい側面もあります。<br>日頃から、相手の立場に立って考え、思いやりのある行動や言葉をかけることを意識してください。 |
| 評価方法 | ●レポート評価100%で評価を行う。<br>①資格認定及び授業評価に必要なレポートですので、必ず期限を守って提出してください。<br>②レポートの提出や作成に関して細かいルールがありますのでしっかり聴き、必ず締め切りまでにレポートを作成してください。 |
| 受講生へのメッセージ | 企業間の競争が激しくなり、高まるお客様からの期待にお応えするために「現場スタッフのスキルを上げたい」という企業様からのニーズが増えています。学生のみなさんは、自分が現場で即戦力として活躍することを想像しながら受講してください。 |

【使用教材書・教材・参考書】

【テキスト】ホスピタリティ・コーディネータ教本／日本ホスピタリティ推進協会
※適宜、プリント配布。

# 2025年度　授業概要

学　科　：　薬業科

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | 医薬品の適正使用・安全対策 | 必修選択 | 必修 | 年次 | 1 | 担当教員 | 嬉原　裕子 |
| | | | | | | 実務経験 | ○ |
| (英) | Appropriate use and safety measures of medicines | 授業形態 | 講義 | 総時間 | 30 | 開講区分 | 後期 |
| コース | 共通 | | | (単位) | 2 | 曜日・時限 | |

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

この授業では添付文書の読み方について説明する事が出来るよう授業を行つていきます。一般用医薬品において重要となる添付文書ですが、我々が消費者に対して、医薬品の説明に使用したり、服用をする本人が読み、保管するのはもちろん、医療機関において受診する際、日頃どのような医薬品を服用していたか、また医薬品での事故が生じた際の非常に重要な証拠となります。また一般用医薬品での事故が生じた時に対処を行うのも我々です。消費者が来店時、普段この様な医薬品を飲んでいるが同じ商品がないといつた場合、同成分から選別し、別の医薬品にスイッチする時にも必要になつてきます。ややこしい用語や似ている用語がたくさん出てきますが、復習を繰り返しながら覚えていきましょう。

※実務経験・・・2017年 4月 に、はり師・きゅう師を取得。2019年 11月 に登録販売者を取得し、スギ薬局で1年 、ドラッグイレブンで4年の実務を行う。2022年 3月 に鍼灸院を開設し現在まで実務を行っている。

【到達目標】

医薬品の添付文書、製品表示について記載内容を的確に理解し、消費者に適切な情報提供や相談対応が出来るようになる。

＜到達目標＞

【目標①】一般用医薬品の添付文書での専門用語を理解し、「してはいけないこと」の内容を理解説明する事が出来る。

【目標②】一般用医薬品の添付文書での専門用語を理解し、「相談すること」の内容を理解説明する事が出来る。

【目標③】一般用医薬品での安全対策の概要を理解し、一般用医薬品でのトラブルが起きた際の対処法について説明する事が出来る

| 授業計画・内容 | |
|---|---|
| 1回目 | 【目標①】【目標②】医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律第52条 の規定の内容の添付文書に記載されている内容を説明することが出来る。 |
| 2回目 | 【目標①】添付文書での「してはいけないこと」での「次の人は使用(服用)しないこと」「次の部位に使用しないこと」の説明、該当する一般用医薬品の成分名について説明が出来る |
| 3回目 | 【目標①】添付文書での「してはいけないこと」での「本剤を使用(服用 )し ている間は次の医薬品を使用しないこと」等の説明、該当する一般用医薬品の成分名について説明が出来る。 |
| 4回目 | 【目標②】添付文書での医薬品を使用する前に「本目該すること」での「医師(歯科医師)の 治療を受けている人」、妊娠、授乳中の人に対する注意事項の説明、該当する一般用医薬品の成分名について説明が出来る。 |
| 5回目 | 【目標②】添付文書での医薬品を使用する前に「本目該すること」での「高齢者」「アレルギー症状を起こした人」の説明、該当する一般用医薬品の成分名について説明が出来る。 |
| 6回目 | 【目標②】添付文書での医薬品を使用する前に「相談すること」での「次の症状がある人」「次の診断を受けた人」の説明、該当する一般用医薬品の成分名について説明が出来る。 |
| 7回目 | 【目標②】添付文書での医薬品を使用する後に「本目該すること」での副作用に関するの説明、該当する一般用医薬品の成分名について説明が出来る。 |
| 8回目 | 【目標②】添付文書での医薬品を使用する後に「相談すること」での効能及び効果、用法・用量、成分分量に関するの説明、該当する一般用医薬品の成分名について説明が出来る。 |
| 9回目 | 【目標②】【目標③】添付文書での医薬品を使用する後に「相談すること」での養生訓、取り扱い上の注意事項の説明が出来る。 |
| 10回目 | 【目標③】添付文書での「製品表示」について説明する事が出来る。 |
| 11回目 | 【目標③】医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律第68条 の規定である安全性速報、緊急安全性情報の概要について説明する事が出来る。 |
| 12回目 | 【目標③】医薬品の安全対策での医薬品副作用被害救済制度について説明する事が出来る。 |
| 13回目 | 後期のまとめ |
| 14回目 | 後期期末試験 |
| 15回目 | 後期期末試験の解説 |
| 準備学習 時間外学習 | 授業毎に復習を行いましょう。一般用医薬品の成分表示や添付文書を熟読し、わからない用語は調べるようにしましょう。 |
| 評価方法 | ・定期テスト(80%)<br>・小テスト(20%)<br>※授業の前に前回の授業の内容の小テストを行います。<br>※出席率や授業態度を考慮し成績評価を行います。 |
| 受講生へのメッセージ | 登録販売者試験での薬事関係法規の分野は年々難化しており、長文での出題や数字のみを変えた問題などの出題傾向にあります。　知識や技術も大事ですが、文章の読解力をつけることも大事で、試験でも問題を早く言読み解くことに繋がり、医薬品を購入しに来たお客さんへの商品の説明にも生かすことが出来ます。難しい分野ではありますが、社会での登録販売者の在り方をこの講義を通して理解してほしいと思います。 |

【使用教科書・教材・参考書】

登録販売者試験 受験対策共通テキスト上下巻(日本薬業研修センター)

# 2025年度　授業概要

学　科　：

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 科目名（英） | 東洋医学<br>Oriental medicine | 必修選択 | 必修 | 年次 | 1 | 担当教員 | 姫原　裕子 |
| | | | | | | 実務経験 | ○ |
| | | 授業形態 | 講義 | 総時間（単位） | 30<br>2 | 開講区分 | 後期 |
| コース | 医薬品登録販売者コース | | | | | 曜日・時限 | |

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

ドラッグストアや薬局では、軽度の風邪や発熱、肌荒れなど特定の症状を持って来店する消費者ばかりではなく、体のだるさや軽度の不眠など不定愁訴を訴えてくる消費者も少なくはないです。特定の症状が無い症状をもった消費者において、この単元で学習する東洋医学を用いて一般用医薬品を選択・説明することで消費者の満足度をあげることとともに、もともとある登録販売者の知識に＋αで東洋医学の知識があることで考え方が多方向に広がります。東洋医学とは何なのか、東洋医学を西洋医学におきかえると何あたるのか？また、そのことを医薬品を購入しようとしてる消費者にはどのように説明するか、東洋医学だけではなく、実践に繋がるような知識を学習したいと思います。
※実務経験・・・2017年 4月 に、はり師・きゅう師を取得。2018年 11月 に登録販売者を取得し、スギ薬局で1年 、ドラッグイレブンで4年の実務を行う。2022年 3月 に鍼灸院を開設し現在まで実務を行っている。

【到達目標】
薬膳・漢方検定を取得できる知識を身につける。

| 授業計画・内容 | |
|---|---|
| 1回目 | 現在の薬膳と漢方について説明する事が出来る。【漢方・養生】 |
| 2回目 | 現在の薬膳と漢方について説明する事が出来る。【薬膳・民間薬】 |
| 3回目 | 漢方の基本について説明する事が出来る。【東洋医学の基礎】 |
| 4回目 | 漢方の基本について説明する事が出来る。【東洋医学の基礎】 |
| 5回目 | 漢方の基本について説明する事が出来る。【東洋医学の基礎】 |
| 6回目 | 漢方の基本について説明する事が出来る。【五行説との応用】 |
| 7回目 | 薬膳の基本について説明する事が出来る。【四気・五味】 |
| 8回目 | 薬膳の基本について説明する事が出来る。【食のバランスと養生】 |
| 9回目 | 薬膳の基本について説明する事が出来る。【食のバランスと五臓】 |
| 10回目 | 薬膳に使用する身近な食材について説明する事が出来る。【乾物・野菜・果物】 |
| 11回目 | 薬膳に使用する身近な食材について説明する事が出来る。【魚・肉・その他】 |
| 12回目 | 薬膳・漢方と暮らし方について、今までの知識を応用し、提案・説明する事が出来る。【季節と養生】 |
| 13回目 | 薬膳・漢方と暮らし方について、今までの知識を応用し、提案・説明する事が出来る。【疾病と養生】 |
| 14回目 | 後期試験 |
| 15回目 | 後期試験解説 |
| 準備学習・時間外学習 | 各単元後での復習と、実生活や実務研修中にも様々な事柄を東洋医学に置き換えて考える練習を行ってください。 |
| 評価方法 | 小テスト20%<br>後期試験80%<br>この割合で後期の成績を算出します。 |
| 受講生へのメッセージ | 東洋医学は中国の伝統的な医学の事です、はじめのうちは馴染みの無い言葉が多く出てきて戸惑うでしょうが、実務経験や研修後の登録販売者として活用できるような知識を学習していきましょう。 |

【使用教科書・教材・参考書】

教科書日本漢方養生学協会認定　薬膳・漢方検定　公式テキスト

# 2025年度 授業概要

学 科 ： 薬業科

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 科目名（英） | 美容概論Ⅰ<br>Introduction to Beauty Ⅰ | 必修選択 | 必修 | 年次 | 1 | 担当教員 | 山崎 裕美 |
| | | | | | | 実務経験 | ○ |
| | | 授業形態 | 講義 | 総時間（単位） | 30 | 開講区分 | 前期 |
| コース | 美容アドバイザーコース | | | | 2 | 曜日・時限 | 金曜：1限目 |

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

美容とは顔や髪、肌などを美しく整えるということ。美しく整えるために皮膚の構造やしくみ・肌トラブルと対処法・化粧品の特徴や成分などの基礎知識が必要です。その上でスキンケア化粧品やメイクアップ化粧品、メイクアップテクニック、顔分析について理解し、日本化粧品検定試験2級の取得を目指す。

※実務者経験： 美容クリエーター・ヘアメイクアップアーティストとして25年以上のキャリアを積み、ブライダル、ビューティーショー、撮影、講師業の他に、内面・外面・精神面を　整える三面美容を主としたサロンを運営するなど幅広く活動している。　またメイクアップ技術検定協会の認定講師やメイクアドバイザー、コスメコンシェルジュインストラクター、　美容整体、リンパケア　、腸セラピー、メンタル美容セラピー、美容師免許などの資格も有する。

【到達目標】

スキンケアとメイクアップにおいて必要な基礎知識を習得する。
日本化粧品検定試験2級を取得することができる。
スキンケアとメイクアップに必要な知識を習得し、その知識を基に悩みや必要に応じたアドバイスができるようになる。

| 授業計画・内容 | |
|---|---|
| 1回目 | オリエンテーション ・ 科目の目標を理解する・検定内容を把握する 、「 間違いがちな化粧品の知識 」について説明ができる ① |
| 2回目 | 「 間違いがちな化粧品の知識 」について説明ができる ② |
| 3回目 | 「 お手入れの基本 」について説明ができる ① |
| 4回目 | 「 お手入れの基本 」について説明ができる ② |
| 5回目 | 「皮膚の構造・しくみ」について説明ができる ① |
| 6回目 | 「皮膚の構造・しくみ」について説明ができる ② 、「 肌タイプの見分け方とお手入れ」について説明ができる |
| 7回目 | 「 肌悩みの原因とお手入れ」について説明ができる ① |
| 8回目 | 「 肌悩みの原因とお手入れ」について説明ができる ② |
| 9回目 | 「 肌悩みの原因とお手入れ」について説明ができる ③ |
| 10回目 | 「骨格に合わせたメイクアップ 」について説明ができる |
| 11回目 | 「肌を老化させる要因 」について説明ができる |
| 12回目 | 「生活習慣美容 」について説明ができる |
| 13回目 | 「筋肉・ツボ・リンパ」について説明ができる |
| 14回目 | 問題を解き間違えた箇所や苦手箇所を見直し復習、克服する |
| 15回目 | 定期試験 ： 筆記試験 ＜ 日本化粧品検定試験2級の範囲 60問 ＞ |
| 準備学習<br>時間外学習 | テキストをよく理解し学習を進めていって下さい。<br>毎回必ず復習を行って下さい。<br>問題集を活用し繰り返し問題を解く事で、問題の傾向を知り苦手分野が見えてきます。 |
| 評価方法 | 定期試験にて知識の理解・定着度の評価を行う。<br>定期試験（100%）<br>この割合で成績評価を行う。 |
| 受講生へのメッセージ | この授業では、まずメイクアップの実技に入る前の下準備として、スキンケアとメイクアップに必要となる知識や心構えをしっかり身に付けていきます。<br>そのため忘れ物、遅刻欠席は出来るだけせず、必ず予習復習をして授業に臨んでください。。 |

【使用教科書・教材・参考書】

教科書：コスメの教科書（日本化粧品検定 準2級・3級 、2級 対策テキスト）
参考書：日本化粧品検定試験 2級 公式問題集

# 2025年度　授業概要

学　科　：　薬業科

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 科目名（英） | 美容概論Ⅱ<br>General Introduction to Beauty Care Ⅱ | 必修選択 | 必修 | 年次 | 1 | 担当教員 | 山崎　裕美 |
| | | | | | | 実務経験 | ○ |
| | | 授業形態 | 演習 | 総時間（単位） | 30<br>2 | 開講区分 | 後期 |
| コース | 美容アドバイザーコース | | | | | 曜日・時限 | |

【授業の学習内容】　（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

お客様のあらゆるニーズや悩みに応えるため、皮膚・肌（皮膚の構造・しくみ・肌タイプ・肌トラブルの対処法）についての知識を習得する。 美容系全般に必要となる理論や知識をしっかり身に付けていきます。 美容知識としての基礎で重要な知識になるので、グループワークで知識の共有と発表する事での定着を図る。

※実務者経験：美容クリエーター・ヘアメイクアップアーティストとして25年以上のキャリアを積み、ブライダル、ビューティーショー、撮影、講師業の他に、内面・外面・精神面を　整える三面美容を主としたサロンを運営するなど幅広く活動している。　またメイクアップ技術検定協会の認定講師やメイクアドバイザー、コスメコンシェルジュインストラクター、　美容整体、リンパケア　、腸セラピー、メンタル美容セラピー、美容師免許などの資格も有する。

【到達目標】

スキンケア・メイクアップにおいて重要な皮膚・肌（皮膚の構造・しくみ・肌タイプ・肌トラブル）についての知識を習得する。
その知識を基に悩みや必要に応じた対処法やアドバイスができるようになる。

| 授業計画・内容 | |
|---|---|
| 1回目 | オリエンテーション　・　科目の必要性、目標を理解する・グループ分け |
| 2回目 | 皮膚の構造・しくみについて説明できる（表皮・真皮・皮下組織・付属器官）① グループワーク（役割分担、調べる） |
| 3回目 | 皮膚の構造・しくみについて説明できる（表皮・真皮・皮下組織・付属器官）② グループワーク（調べる、まとめる） |
| 4回目 | 皮膚の構造・しくみについて説明できる（表皮・真皮・皮下組織・付属器官）③ グループワーク（まとめる） |
| 5回目 | 皮膚の構造・しくみについて説明できる（表皮・真皮・皮下組織・付属器官）④ グループワーク（発表） |
| 6回目 | 肌タイプとその原因・対処法の説明ができる（ノーマル肌・ドライ肌・オイリー肌・コンビネーション肌）① グループワーク（役割分担、調べる） |
| 7回目 | 肌タイプとその原因・対処法の説明ができる（ノーマル肌・ドライ肌・オイリー肌・コンビネーション肌）② グループワーク（まとめる） |
| 8回目 | 肌タイプとその原因・対処法の説明ができる（ノーマル肌・ドライ肌・オイリー肌・コンビネーション肌）③ グループワーク（発表） |
| 9回目 | 肌トラブルとその原因・対処法の説明ができる（乾燥・ニキビ・毛穴・シミ・くすみ・くま・しわ、たるみ）① グループワーク（役割分担、調べる） |
| 10回目 | 肌トラブルとその原因・対処法の説明ができる（乾燥・ニキビ・毛穴・シミ・くすみ・くま・しわ、たるみ）② グループワーク（調べる、まとめる） |
| 11回目 | 肌トラブルとその原因・対処法の説明ができる（乾燥・ニキビ・毛穴・シミ・くすみ・くま・しわ、たるみ）③ グループワーク（まとめる） |
| 12回目 | 肌トラブルとその原因・対処法の説明ができる（乾燥・ニキビ・毛穴・シミ・くすみ・くま・しわ、たるみ）④ グループワーク（まとめる） |
| 13回目 | 肌トラブルとその原因・対処法の説明ができる（乾燥・ニキビ・毛穴・シミ・くすみ・くま・しわ、たるみ）⑤ グループワーク（発表） |
| 14回目 | 今まで習得してきた事を全てまとめて説明ができる（定期試験の発表の練習・各グループで今までまとめたものを修正・改善する） |
| 15回目 | 定期試験　：　今まで習得してきた事を全てまとめて説明ができる（各グループで今までまとめたものを修正・改善して発表する） |
| 準備学習時間外学習 | 講義をよく聞き理解し学習を進めていって下さい。<br>毎回必ず復習を行い、確実に身に付けることが望ましい。 |
| 評価方法 | 定期試験にて皮膚・肌タイプ・肌トラブルとその対処法についての知識の理解・定着度の評価を行う。<br>●定期試験（100%）で成績評価を行う。 |
| 受講生へのメッセージ | 配布したプリント類はファイリングしておいて下さい。<br>講義やデモンストレーション、指示した内容については必ずノートやメモを取り、いつでも見直せる様にしておいて下さい。<br>忘れ物、遅刻欠席は出来るだけせず、必ず予習復習をして授業に臨んでください。 |

【使用教科書・教材・参考書】

参考書：日本化粧品検定2級・3級対策テキスト
　　配布プリント

# 2025年度 授業概要

学 科 ： 業業科

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 科目名（英） | メイクアップテクニックⅠ<br>Make Up Technique Ⅰ | 必修選択 | 必修 | 年次 | 1 | 担当教員 | 山崎 裕美 |
| | | | | | | 実務経験 | ○ |
| | | 授業形態 | 演習 | 総時間（単位） | 30<br>2 | 開講区分 | 後期 |
| コース | 美容アドバイザーコース | | | | | 曜日・時限 | |

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

日本メイクアップ技術検定試験3級合格を目指すために必要な知識・技術を身に付けることが重要です。 テキストを読み込み、理解の定着を確認しながら授業を進めていく。
技術（手技・手順）を身に付ける為、反復練習を行う。

※実務者経験： 美容クリエーター・ヘアメイクアップアーティストとして25年以上のキャリアを積み、ブライダル、ビューティーショー、撮影、講師業の他に、内面・外面・精神面を　整える三面美容を主としたサロンを運営するなど幅広く活動している。　またメイクアップ技術検定協会の認定講師やメイクアドバイザー、コスメコンシェルジュインストラクター、　美容整体、リンパケア　、鍼セラピー、メンタル美容セラピー、美容師免許などの資格も有する。

【到達目標】

検定試験3級合格に向けて必要な知識・技術を身に付けることができる。
顔の分析、ゴールデンバランスを理解した上で、理想やイメージに合わせたメイクアップを施すことができるようになる。
知識や技術だけでなく、声かけによるモデルへの配慮などヒューマンスキルの向上を図る。

| 授業計画・内容 | |
|---|---|
| 1回目 | 検定内容を理解する ・ 道具の種類や使い方を理解する ・ セティングができる |
| 2回目 | 顔型の種類、理想的なパーツのバランス、修正方法を習得する |
| 3回目 | セッティング～スキンケアまでの手順、手技のレベルアップを図る（ウィッグ使用） |
| 4回目 | クレンジング～スキンケアの復習・ベースメイクの手順、手技を習得する（ウィッグ使用） |
| 5回目 | ティング～クレンジング～スキンケア～ベースメイクの復習・ハイライト、ローライト、チークの手技を習得する |
| 6回目 | クレンジング～ベースメイク（3級検定内容）までを30分で仕上げる技術を習得する |
| 7回目 | クレンジング～ベースメイク（3級検定内容）アイブロウの基本を理解し技術を習得する |
| 8回目 | クレンジング～ベースメイク（3級検定内容）アイメイクの基本を理解し技術を習得する |
| 9回目 | クレンジング～ベースメイク（3級検定内容）アイブロウ、アイメイク技術のレベルアップを図る |
| 10回目 | クレンジング～ベースメイク（3級検定内容）チーク、リップの基本理解し技術を習得する |
| 11回目 | クレンジング～フルメイクの施術を行う（各パーツを美しく仕上げる） |
| 12回目 | フルメイクのレベルアップを図る（左右のバランス、ムラ、ゆがみ、グラデーションなど） |
| 13回目 | クレンジング～ベースメイク（3級検定内容）検定通りに行う、似合わせポイントメイクの施術を行う |
| 14回目 | 定期試験（検定の模擬試験も兼ねる）・・・ 実技試験 |
| 15回目 | 検定試験（日本メイクアップ技術検定試験3級） |
| 準備学習<br>時間外学習 | 毎日のスキンケアやメイクで手順や手技を確認する。<br>また、技術の復習や苦手部分の練習をし、確実に身に付けることが望ましい。 |
| 評価方法 | 定期試験にてスキンケアからフルメイクアップまでの施術と仕上がりを評価する。<br>●定期試験（100%）で成績評価を行う。 |
| 受講生への<br>メッセージ | 配布したプリント類はファイリングしておいて下さい。<br>講義やデモンストレーション、指示した内容については必ずノートやメモを取るり、いつでも見直せる様にしておいて下さい。<br>実習がメインとなる授業ため忘れ物、遅刻欠席は出来るだけせず、苦手部分などの練習や復習をして授業に臨んでほしい。 |

【使用教科書・教材・参考書】

参考書：日本メイクアップ技術検定試験公式テキスト3級2級
教材：メイク道具一式

# 2025年度　授業概要

学　科　：　　薬業科

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 科目名（英） | メイクアップテクニックⅡ<br>Make Up Technique Ⅱ | 必修選択 | 必修 | 年次 | 1 | 担当教員 | 山崎　裕美 |
| | | | | | | 実務経験 | ○ |
| | | 授業形態 | 演習 | 総時間（単位） | 30 | 開講区分 | 後期 |
| コース | 美容アドバイザーコース | | | | 2 | 曜日・時限 | |

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

日本メイクアップ技術検定試験3級合格を目指すために必要な知識・技術を身に付けることが重要です。 フルメイクアップの技術を身に付け美しく仕上げることができるようになる。
技術（手順・手技）を身に付ける為、反復練習を行いレベルアップを図る。 各パーツのポイントや修正メイクを理解し施せるよう練習していく。

※実務者経験：美容クリエーター・ヘアメイクアップアーティストとして25年以上のキャリアを積み、ブライダル、ビューティーショー、撮影、講師業の他に、内面・外面・精神面を　整える三面美容を主としたサロンを運営するなど幅広く活動している。　またメイクアップ技術検定協会の認定講師やメイクアドバイザー、コスメコンシェルジュインストラクター、　美容整体、リンパケア　、鍼セラピー、メンタル美容セラピー、美容師免許などの資格も有する。

【到達目標】

検定試験3級合格に必要な知識や技術を身に付ける。
顔の分析、ゴールデンバランスを理解した上で、理想やイメージに合わせたメイクアップを施すことができるようになる。
ポイントメイクアップの技術の基本を身に付けフルメイクアップができるようになる。
知識や技術だけでなく、声かけによるモデルへの配慮などヒューマンスキルの向上を図る。

| 授業計画・内容 | |
|---|---|
| 1回目 | 顔の各パーツの名称や皮膚の構造・しくみ・働きについて説明できる |
| 2回目 | 手指消毒～クレンジング～スキンケアの手順・手技を習得する（ウィッグ使用） |
| 3回目 | セッティング～クレンジング～スキンケアの練習・レベルアップを図る（相モデル） |
| 4回目 | セッティング～クレンジング～スキンケア～ベースメイクの練習・レベルアップを図る（相モデル） |
| 5回目 | セティング～クレンジング～スキンケア～ベースメイク（ハイライト、ローライト、チークまで） 反復練習を行いレベルアップを図る |
| 6回目 | クレンジング～ベースメイク（3級検定内容） までを30分で仕上げる技術を習得する |
| 7回目 | クレンジング～ベースメイク（3級検定内容） アイブロウの基本を理解し技術を習得する |
| 8回目 | クレンジング～ベースメイク（3級検定内容） アイメイクの基本を理解し技術を習得する |
| 9回目 | クレンジング～ベースメイク（3級検定内容） アイブロウ、アイメイク技術のレベルアップを図る |
| 10回目 | クレンジング～ベースメイク（3級検定内容） チーク、リップの基本理解し技術を習得する |
| 11回目 | クレンジング～フルメイクの施術を行う（各パーツを美しく仕上げる） |
| 12回目 | フルメイクのレベルアップを図る（左右のバランス、ムラ、ゆがみ、グラデーションなど） |
| 13回目 | クレンジング～ベースメイク（3級検定内容） 検定通りに行う、似合わせポイントメイクの施術を行う |
| 14回目 | 定期試験（検定の模擬試験も兼ねる）・・・ 実技試験 |
| 15回目 | 検定試験（日本メイクアップ技術検定試験3級） |
| 準備学習<br>時間外学習 | 毎日のスキンケアやメイクで手順や手技を確認し、セルフメイクでポイントメイクの復習やレベルアップをはかる。<br>また、技術の復習や苦手部分の練習をし、確実に身に付けることが望ましい。 |
| 評価方法 | 定期試験にてスキンケアからフルメイクアップまでの施術と仕上がりを評価する。<br>●定期試験（100%）で成績評価を行う。 |
| 受講生への<br>メッセージ | 配布したプリント類はファイリングしておいて下さい。<br>講義やデモンストレーション、指示した内容については必ずノートやメモを取るり。いつでも見直せる様にしておいて下さい。<br>実習がメインとなる授業ため忘れ物、遅刻欠席は出来るだけせず、苦手部分などの練習や復習をして授業に臨んでほしい。 |

【使用教科書・教材・参考書】

参考書：日本メイクアップ技術検定試験公式テキスト3級2級
教材：メイク道具一式

# 2025年度　授業概要

学　科　：　薬業科

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 科目名（英） | アロマテラピー（Aromatherapy） | 必修選択 | 必修 | 年次 | 1 | 担当教員 | 倉本　寿子 |
| | | | | | | 実務経験 | ○ |
| | | 授業形態 | 演習 | 総時間（単位） | 30 | 開講区分 | 後期 |
| コース | 美容アドバイザーコース | | | | 2 | 曜日・時限 | |

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

アロマテラピーは香りを楽しみながら、心と身体をトータルにサポートする自然療法である。ストレスを抱える現代人の心強い味方であり、近年、個人で楽しむだけでなく、ビジネスとしても拡大している。美と健康、サロンや化粧品、雑貨などもアロマテラピーが付加価値として注目されている。また、健康の増進や病気の予防のために、医療、介護、サービス業、ボランティアなどの現場でも取り入れられるようになった。様々な活用の場が広がるアロマテラピーの基本を理解し、本授業修了時には各々の説明ができる。

※実務経験：2008年12月にAEAJ認定アロマテラピーインストラクターを取得。九州各校にてアロマテラピー、リフレクソロジー、ハーブ関連の講師業務、エステサロンでのセミナーや接客、カウンセリング、施術等を行う。

【到達目標】

AEAJアロマテラピー検定1級・2級に準じる基礎知識、具体的な利用方法やセルフケアを修得する。授業の後半は実習を行い、香りの奥深さや実践方法を体感できる。

＜具体的な目標＞

・AEAJアロマテラピー検定1級・2級において、合格点への到達。

・安全かつ正しい知識で、アロマテラピーを行うことができる。

・精油の香りや特徴、注意事項を理解し、アドバイスすることができる。

| | 授業計画・内容 |
|---|---|
| 1回目 | アロマテラピーの定義、精油の定義について説明できる。 ／ 精油のプロフィール① |
| 2回目 | 注意事項や安全性について説明できる。 ／ 精油のプロフィール② |
| 3回目 | 精油の抽出法や作用について説明できる。 ／ 精油のプロフィール③ |
| 4回目 | アロマテラピーの利用法①について説明できる。 ／ 精油のプロフィール④ |
| 5回目 | 精油と環境、素材について説明できる。 ／ 精油のプロフィール⑤ ／ アロマスプレー作り |
| 6回目 | アロマテラピーの利用法②について説明できる。 ／ 精油のプロフィール⑥ |
| 7回目 | アロマテラピーメカニズムについて説明できる。 ／ 精油のプロフィール⑦ |
| 8回目 | 睡眠、ストレス、女性ホルモン、スキンケアについて説明できる。 ／ 精油のプロフィール⑧ |
| 9回目 | 精油の希釈濃度について説明できる。 ／ 精油のプロフィール⑨ ／ トリートメントオイル作り |
| 10回目 | ハンドトリートメント |
| 11回目 | アロマテラピーの歴史について説明できる。 ／ 精油のプロフィール⑩ |
| 12回目 | アロマテラピー関連法規について説明できる。 ／ 精油のプロフィール⑪ |
| 13回目 | 試験対策 |
| 14回目 | 後期定期試験 |
| 15回目 | 試験返却・解説 |
| 準備学習時間外学習 | AEAJアロマテラピー検定1級と定期試験で問われる精油は30種類あります。それぞれ様々な特徴があり、正しく理解する必要があります。授業で学んだことは復習することを心掛けて下さい。プリントを配布しますので、自分で整理・確認できるようにしましょう。 |
| 評価方法 | 筆記試験100% |
| 受講生へのメッセージ | 香りが苦手な方は無理に香らなくても大丈夫です。楽しみながら学びましょう。アロマテラピー検定対策の授業でもありますので、欠席がないよう体調管理に気を付けて下さいね。 |

【使用教科書・教材・参考書】

AEAJ（公益社団法人　日本アロマ環境協会）　アロマテラピー検定　公式テキスト　1級・2級

# 2025年度　授業概要

学　科　：薬業科1年生

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 科目名（英） | 調剤報酬　I<br>Medical Processor Basic I | 必修選択 | 必修 | 年次 | 1 | 担当教員 | 宮川　美代 |
| | | | | | | 実務経験 | ○ |
| | | 授業形態 | 講義 | 総時間（単位） | 30<br>2 | 開講区分 | 前期 |
| コース | 調剤薬局事務コース | | | | | 曜日・時限 | 金曜日・1限目 |

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

診療報酬請求事務の仕事は、受付・会計・カルテ管理・オペレーク業務・医療費の請求など多岐にわたる。実務に対応できる能力とスキルを習得し即戦力として活躍できる実力を身につけ実践する。

※実務経験：2011年10月～2016年9月まで、整形外科クリニックを始め4つの医療機関に勤務し窓口業務・総括指導・レセプト作成・レセプト点検・受付指導等に携わる。

【到達目標】

調剤薬局スタッフとしての活躍の場を広げ、調剤報酬請求事務の基礎知識と請求方法を学び、資格取得する

＜具体的な目標＞
・処方箋の内容を理解し把握できる
・調剤請求が出来、レセプト作成ができる
・薬剤料の計算ができる

| 授業計画・内容 | |
|---|---|
| 1回目 | 医薬分業、保険調剤を理解し説明できる |
| 2回目 | 処方箋の流れを理解し説明できる |
| 3回目 | 調剤技術基本料の算定を理解し説明できる |
| 4回目 | 薬学管理料の算定を理解し説明できる |
| 5回目 | 調剤料の算定を理解し説明できる |
| 6回目 | 薬剤料の計算を理解し説明できる |
| 7回目 | 処方箋の点数算定(1)力価の計算を把握できる |
| 8回目 | 処方箋の点数算定(2)1剤の算定を理解し説明できる |
| 9回目 | 処方箋の点数算定(3)麻薬・向精神薬等の算定を理解し説明できる |
| 10回目 | 処方箋の点数算定(4)一包化加算の算定を理解し説明できる |
| 11回目 | 処方箋の点数算定(5)自家製剤加算が算定を理解し説明できる |
| 12回目 | 処方箋の点数算定(6)計量混合加算が算定を理解し説明できる |
| 13回目 | 処方箋の点数算定(7)お試し、長期投与の算定を理解し説明できる |
| 14回目 | 定期試験 |
| 15回目 | 試験のフィードバック　苦手問題を理解し把握する |
| 準備学習時間外学習 | 毎回講義の復習、課題(宿題)が必要です。 |
| 評価方法 | 学期末試験(100%)で知識・技能の到達評価を行う。 |
| 受講生へのメッセージ | 魅力：医療知識が身につきます。日本全国勤務地が選べます。そして勤務経験があれば再就職しやすいです。<br>授業計画：この授業で身につける能力を毎回講義します。体調管理に気をつけて欠席しない様にしてください。 |

【使用教科書・教材・参考書】

教科書　調剤報酬テキスト(調剤報酬請求事務専門士検定協)

# 2025年度　授業概要

学　科　：薬業科1年生

| 科目名（英） | 調剤報酬 Ⅱ<br>Dispencing Fee Billing Ⅱ | 必修選択 | 必修 | 年次 | 1 | 担当教員 | 吉川　美代 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | 実務経験 | ○ |
| | | 授業形態 | 講義 | 総時間（単位） | 30<br>2 | 開講区分 | 後期 |
| コース | 調剤薬局事務コース | | | | | 曜日・時限 | |

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

診療報酬請求事務の仕事は、受付・会計・カルテ管理・オペレータ業務・医療費の請求など多岐にわたる。実務に対応できる能力とスキルを習得し即戦力として活躍できる実力を身につけ実践する。

※実務経験：平成7年10月～平成11年7月河野整形外科看護・受付補助職員、平成15年12月～18年5月黒崎整形外科受付兼受付指導員、平成18年3月～平成23年5月丸岡内科・小児科医療事務指導員、平成27年8月～平成28年9月窓口受付として勤務

【到達目標】

調剤薬局スッタフとしての活躍の場を広げ、調剤報酬請求事務の基礎知識と請求方法を学び、資格取得する

＜具体的な目標＞
・処方箋の内容を理解し把握できる
・調剤請求が出来、レセプト作成ができる
・薬剤料の計算ができる

| | 授業計画・内容 |
|---|---|
| 1回目 | 医薬分業、保険調剤を理解し説明できる |
| 2回目 | 処方箋の流れを理解し説明できる |
| 3回目 | 調剤技術基本料の算定を理解し説明できる |
| 4回目 | 薬学管理料の算定を理解し説明できる |
| 5回目 | 調剤料の算定を理解し説明できる |
| 6回目 | 調剤料の計算を理解し説明できる |
| 7回目 | 処方箋の点数算定(1)力価の計算を把握できる |
| 8回目 | 処方箋の点数算定(2)1剤の算定を理解し説明できる |
| 9回目 | 処方箋の点数算定(3)麻薬・向精神薬等の算定を理解し説明できる |
| 10回目 | 処方箋の点数算定(4)一包化加算の算定を理解し説明できる |
| 11回目 | 処方箋の点数算定(5)自家製剤加算が算定を理解し説明できる |
| 12回目 | 処方箋の点数算定(6)計量混合加算が算定を理解し説明できる |
| 13回目 | 処方箋の点数算定(7)お試し、長期投与の算定を理解し説明できる |
| 14回目 | 定期試験 |
| 15回目 | 試験のフィードバック　苦手問題を理解し把握する |
| 準備学習時間外学習 | 毎回講義の復習、課題（宿題）が必要です。 |
| 評価方法 | 学期末試験（100%）で知識・技能の到達評価を行う。 |
| 受講生へのメッセージ | 魅力：医療知識が身につきます。日本全国勤務地が選べます。そして勤務経験があれば再就職しやすいです。<br>授業計画：この授業で身につける能力を毎回講義します。体調管理に気をつけて欠席しない様にしてください。 |

【使用教科書・教材・参考書】

教科書　調剤報酬テキスト

# 2025年度　授業概要

学　科　：　薬業科

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | 医療関連法規 | 必修選択 | 必修 | 年次 | 1 | 担当教員 | 岡田　一哉 |
| | | | | | | 実務経験 | ○ |
| (英) | Related Regulation | 授業形態 | 講義 | 総時間(単位) | 30 | 開講区分 | 後期 |
| コース | 調剤薬局事務コース | | | | 2 | 曜日・時限 | |

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

医療関連法規や医療保険制度などを中心とした「制度」についての学習のポイントを押さえて説明を行い、理解不十分なところについての質疑応答、検定(2年次に予定)合格を目指しての練習問題とその解説を繰り返します。

実務経験：東京都及び福岡県内の医療機関にて、スタッフ及び事務長として勤務してきており、その知識と経験を通じて教育を行う。

【到達目標】

①医療機関の組織や医事課の仕事、窓口業務に必須となる医療保険制度のしくみについて説明ができる。
②「医療現場が求める人材」としての資質や守秘義務などについて説明ができる。
③小テストや課題提出により、理解を深めながら、今後受験が予定(2025年度6月)されている「医療秘書技能検定3級」取得を目指す。

| 授業計画・内容 | |
|---|---|
| 1回目 | (目標①～③)保険請求事務と医療保障制度について説明ができる。 |
| 2回目 | (目標①～③)医療保険制度と保険給付について説明ができる。 |
| 3回目 | (目標①～③)後期高齢者医療制度、その他の社会保障制度について説明ができる。 |
| 4回目 | (目標①～③)医療機関の概要と、医療にまつわる歴史について説明ができる。 |
| 5回目 | (目標①～③)公費負担医療制度(主に生活保護、感染症、障害など)について説明ができる。 |
| 6回目 | (目標①～③)病院内の組織や役割、医事業務、レセプト提出とその後の審査について説明ができる。 |
| 7回目 | (目標①～③)特定機能病院、地域医療支援病院などについて、また療養担当規則及び諸法規について説明ができる。 |
| 8回目 | (目標①～③)保険外併用療養費、他保険(労災・自賠責・介護保険・DPCなど)について説明ができる。 |
| 9回目 | (目標①～②)医療に関連した学説、法則、用語などについて説明ができる。 |
| 10回目 | (目標①～③)医療関連法規全般についての追加説明などを行い、説明ができるようになる。 |
| 11回目 | (目標①～③)医療機関で働く職員の各職種について(特に医師の法律に関すること、事務職員の配置される課に関することなど)を理解し、説明ができる。 |
| 12回目 | (目標①～③)任意組織や高額療養など窓口で相談される内容について、併せて適切な窓口応対について、理解、説明ができる。 |
| 13回目 | (目標①～③)保険診療の対象とならないもの、償還払いの対象となるものについて理解、説明ができる。 |
| 14回目 | 後期定期試験 |
| 15回目 | 定期試験の解説、前期講座のまとめ |
| 準備学習　時間外学習 | ●教材を適宜指示します。<br>●配布した資料、解いた問題などは、各自で工夫をして整理の事。整理状況やまとめ方を、随時確認、評価の対象とします。クリアーファイルに挟んだだけの物は、整理したとは見なさないので、注意のこと。 |
| 評価方法 | ●理解度の確認のための小テストを随時実施する。(25%)<br>●定期試験(学科)(50%)<br>●出席と授業態度(25%)<br>総合で成績評価を行う。 |
| 受講生へのメッセージ | 努力は報われるものであることを肝に銘じて、自分で問題を解き、整理をし、わからない事は放置せずに質問などではっきりカタを付ける事を習慣づけてください。 |

【使用教科書・教材・参考書】

レジュメおよび資料、練習問題を用意して、適宜配付します。

# 2025年度　授業概要

学　科　：　薬業科

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | 診療報酬請求事務Ⅰ | 必修選択 | 必修 | 年次 | 1 | 担当教員 | 岡田 一哉 |
| | | | | | | 実務経験 | ○ |
| (英) | Medical Procasor Basic Ⅰ | 授業形態 | 講義 | 総時間(単位) | 30 | 開講区分 | 後期 |
| コース | 調剤薬局事務コース | | | | 2 | 曜日・時限 | |

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

医療費の正確な算定やレセプト作成には、カルテを正確に読む力が求められるため、医学用語、医学、検査、薬理学等々、関連科目における知識の習得が必須です。これらのすべての科目が、「医療事務」に通じていることを認識して、総合的な技術のレベルアップを図ります。

実務経験：東京都及び福岡県内の医療機関にて、スタッフ及び事務長として勤務してきており、その知識と経験を通じて教育を行う。

【到達目標】

①医療機関の組織や医事課の仕事、窓口業務に必須となる医療保険制度のしくみが理解できる。
②外来および入院医療費算定における診療報酬点数表の見方や関連基礎知識が習得できる。
③外来および入院医療費算定ルール並びにレセプト(診療報酬明細書)作成技術が習得できる。
④「医療現場が求める人材」としての資質や守秘義務などについて理解できる。
⑤小テストや課題提出により、算定知識やレセプト作成技術を向上させながら、「医療秘書技能検定3級(2025年度6月実施)」取得を目指す。

| | 授業計画・内容 |
|---|---|
| 1回目 | (目標①～⑤)保険制度のしくみ、請求事務の流れ、点数表の見方について、説明ができる。 |
| 2回目 | (目標①～⑤)レセプト用紙の書き方、鉛書きについて、実際に記入をする事で、説明ができる。 |
| 3回目 | (目標①～⑤)「初診料」における内容、算定方法、注意すべき事などについて説明ができる。 |
| 4回目 | (目標①～⑤)「再診料」における内容、算定方法、注意すべき事などについて説明ができる。 |
| 5回目 | (目標①～⑤)「再診料」における内容、算定方法、注意すべき事などについて説明ができる。 |
| 6回目 | (目標①～⑤)「医学管理」における内容、算定方法、注意すべき事などについて説明ができる。 |
| 7回目 | (目標①～⑤)「医学管理」における内容、算定方法、注意すべき事などについて説明ができる。 |
| 8回目 | (目標①～⑤)「投薬」における内容、算定方法、注意すべき事などについて説明ができる。 |
| 9回目 | (目標①～⑤)「投薬」における内容、算定方法、注意すべき事などについて説明ができる。 |
| 10回目 | (目標①～⑤)「注射」における内容、算定方法、注意すべき事などについて説明ができる。 |
| 11回目 | (目標①～⑤)「処置」における内容、算定方法、注意すべき事などについて説明ができる。 |
| 12回目 | (目標①～⑤)「処置」における内容、算定方法、注意すべき事などについて説明ができる。 |
| 13回目 | 後期講座の内容の確認、補足説明、復習を行う。 |
| 14回目 | 後期定期試験 |
| 15回目 | 定期試験の解説、前期講座のまとめ |
| 準備学習 時間外学習 | ●宿題を適宜指示します。<br>●配布した資料、解いた問題などは、各自で工夫をして整理の事。整理状況やまとめ方を、随時確認、評価の対象とします。クリアーファイルに挟んだだけの物は、整理したとは見なさないので、注意のこと。 |
| 評価方法 | ●理解度の確認のための小テストを随時実施する。(25%)<br>●定期試験(学科及び実技)(50%)<br>●出席と授業態度(25%)<br>総合で成績評価を行う。 |
| 受講生へのメッセージ | 努力は報われるものであることを肝に銘じて、自分で問題を解き、整理をし、わからない事は放置せずに質問などではっきりカタを付ける事を習慣づけてください。 |

【使用教科書・教材・参考書】

診療点数早見表(医学通信社)
レセプト作成テキストブック(社会保険研究所)
医療秘書技能検定問題集(医療秘書教育全国協議会試験委員会)

# 2025年度　授業概要

学　科　：　薬業科

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | 診療報酬請求事務Ⅱ | 必修<br>選択 | 必修 | 年次 | 1 | 担当教員 | 岡田 一誠 |
| | | | | | | 実務経験 | ○ |
| (英) | Medical Procasor Basic Ⅱ | 授業<br>形態 | 講義 | 総時間<br>(単位) | 30<br>2 | 開講区分 | 後期 |
| コース | 調剤薬局事務コース | | | | | 曜日・時限 | |

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

医療費の正確な算定やレセプト作成には、カルテを正確に読む力が求められるため、医学用語、医学、検査、薬理学等々、関連科目における知識の習得が必須です。これらのすべての科目が、「医療事務」に通じていることを認識して、総合的な技術のレベルアップを図ります。

実務経験：東京都及び福岡県内の医療機関にて、スタッフ及び事務長として勤務してきており、その知識と経験を通じて教育を行う。

【到達目標】

①医療機関の組織や医事課の仕事、窓口業務に必須となる医療保険制度のしくみが理解できる。
②外来および入院医療費算定における診療報酬点数表の見方や関連基礎知識が習得できる。
③外来および入院医療費算定ルール並びにレセプト（診療報酬明細書）作成技術が習得できる。
④「医療現場が求める人材」としての資質や守秘義務などについて理解できる。
⑤小テストや課題提出により、算定知識やレセプト作成技術を向上させながら、「医療秘書技能検定3級（2025年度6月実施）」取得を目指す。

| 授業計画・内容 | |
|---|---|
| 1回目 | （目標①～⑤）保険制度のしくみ、請求事務の流れ、点数表の見方について、説明ができる。 |
| 2回目 | （目標①～⑤）レセプト用紙の書き方、頭書きについて、実際に記入をする事で、説明ができる。 |
| 3回目 | （目標①～⑤）「初診料」における内容、算定方法、注意すべき事などについて説明ができる。 |
| 4回目 | （目標①～⑤）「再診料」における内容、算定方法、注意すべき事などについて説明ができる。 |
| 5回目 | （目標①～⑤）「再診料」における内容、算定方法、注意すべき事などについて説明ができる。 |
| 6回目 | （目標①～⑤）「医学管理」における内容、算定方法、注意すべき事などについて説明ができる。 |
| 7回目 | （目標①～⑤）「医学管理」における内容、算定方法、注意すべき事などについて説明ができる。 |
| 8回目 | （目標①～⑤）「投薬」における内容、算定方法、注意すべき事などについて説明ができる。 |
| 9回目 | （目標①～⑤）「投薬」における内容、算定方法、注意すべき事などについて説明ができる。 |
| 10回目 | （目標①～⑤）「注射」における内容、算定方法、注意すべき事などについて説明ができる。 |
| 11回目 | （目標①～⑤）「処置」における内容、算定方法、注意すべき事などについて説明ができる。 |
| 12回目 | （目標①～⑤）「処置」における内容、算定方法、注意すべき事などについて説明ができる。 |
| 13回目 | 後期講座の内容の確認、補足説明、復習を行う。 |
| 14回目 | 後期定期試験 |
| 15回目 | 定期試験の解説、前期講座のまとめ |
| 通常学習　時間外学習 | ●宿題を適宜指示します。<br>●配布した資料、解いた問題などは、各自で工夫をして整理の事。整理状況やまとめ方を、随時確認、評価の対象とします。クリアーファイルに挟んだだけの物は、整理したとは見なさないので、注意のこと。 |
| 評価方法 | ●理解度の確認のための小テストを随時実施する。（25%）<br>●定期試験（学科及び実技）（50%）<br>●出席と授業態度（25%）<br>総合で成績評価を行う。 |
| 受講生へのメッセージ | 努力は報われるものであることを肝に銘じて、自分で問題を解き、整理をし、わからない事は放置せずに質問などではっきりカタを付ける事を習慣づけてください。 |

【使用教科書・教材・参考書】

診療点数早見表（医学書院社）
レセプト作成テキストブック（社会保険研究所）
医療秘書技能検定問題集（医療秘書教育全国協議会試験委員会）

# 2025年度　授業概要

学　科　：薬業科

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 科目名（英） | 基礎漢方学Ⅰ<br>Basic Oriental Medicine 1 | 必修選択 | 必修 | 年次 | 2 | 担当教員 | 三浦公義 |
| | | | | | | 実務経験 | ○ |
| | | 授業形態 | 講義 | 総時間（単位） | 30<br>2 | 開講区分 | 後期 |
| コース | 共通 | | | | | 曜日・時限 | |

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

東洋医学は、現在の日本における医学教育で行われている西洋医学とはまったく別の医学体系になります。そのため、漢方薬をより効果的に使用するためには、漢方薬の成り立ちの基礎である東洋医学の知識を得ることが必要となります。本講座終了時には、東洋医学の考え方を駆使して、実際の患者の病態把握である「証」を立てることが出来るようになる。

※実務経験：三浦公義　1999年1月に調剤薬局を開業。（現在に至る）また、2004年3月にはり師・きゅう師を取得し、2004年4月に鍼灸院も開業。（現在に至る）

【到達目標】

東洋医学独特の考え方を理解し、その説明が出来る。考え方に基づき病態の説明が出来る。

代表的な弁証法に基づいて「証」を立てることが出来る。

| 授業計画・内容 | |
|---|---|
| 1回目 | 東洋医学の考え方が説明できる。 |
| 2回目 | 「気」について説明できる。 |
| 3回目 | 「血」について説明できる。 |
| 4回目 | 「水」について説明できる。 |
| 5回目 | 「気血水弁証」について説明できる。 |
| 6回目 | 「肝」について説明できる。 |
| 7回目 | 「心」について説明できる。 |
| 8回目 | 「脾」について説明できる。 |
| 9回目 | 「肺」について説明できる。 |
| 10回目 | 「腎」について説明できる。 |
| 11回目 | 「臓腑弁証」について説明できる。 |
| 12回目 | 「六経弁証」について説明できる。 |
| 13回目 | 漢方薬の生薬構成意義を説明できる。 |
| 14回目 | 試験 |
| 15回目 | 試験の解答及び解説 |
| 準備学習時間外学習 | 東洋医学独特のはじめて聞く言葉や、聞いたことがある言葉でも意味が違うもの等、授業を受ける前に予習をしてチェックしておくことが、理解不足や誤った理解を防ぐ有効な手段となります。そのために、授業予定範囲の教科書部分の確認を予習として行うことが必要です。 |
| 評価方法 | 定期テストにて成績評価を行う。（100%） |
| 受講生へのメッセージ | 〈魅力〉現在は、漢方薬を東洋医学の考え方を修得せずに、記載されている効能効果に沿って、他の一般用医薬品と同様に西洋医学的見方によりに運用されることが多いのですが、東洋医学の考え方を修得することで、効能効果以外のその漢方薬の持つ力を理解し、さらに従来から勉強している西洋医学と併せて考えることで、登録販売者として患者のニーズにより幅広く・適切に応える事ができるようになり、このことが患者の苦痛を取り除くという本来の目的をより高い次元で達成し、そして患者の信頼感を得るという登録販売者としての能力向上に寄与することが出来る講座です。<br>〈授業計画〉限られた時間の中で、効率よく学習するため毎回新たな知識を学習していくことになります。体調管理に気をつけて欠席が無い様にしてください。 |

【使用教科書・教材・参考書】

絵でみる和漢診療学：医学書院

漢方常用処方解説：三考塾叢刊

# 2025年度 授業概要

学 科 ：薬業科

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 科目名（英） | 基礎漢方学Ⅱ<br>Basic Oriental Medicine Ⅱ | 必修選択 | 必修 | 年次 | 2 | 担当教員 | 三浦公義 |
| | | | | | | 実務経験 | ○ |
| | | 授業形態 | 講義 | 総時間（単位） | 30<br>2 | 開講区分 | 後期 |
| コース | 共通 | | | | | 曜日・時限 | |

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

東洋医学は、現在の日本における医学教育で行われている西洋医学とはまったく別の医学体系になります。そのため、漢方薬をより効果的に使用するための診断方法・運用方法にも東洋医学独自の方法が用いられます。これらの知識を得て、代表的な疾患における運用法を身につけることで、本講座終了時には、患者の訴えに対する適切な漢方薬の選択が出来るようになります。

※実務経験：三浦公義　1999年1月にとして調剤薬局を開業。（現在に至る）また、2004年3月にはり師・きゅう師を取得し、2004年4月に鍼灸院も開業。（現在に至る）

【到達目標】

東洋医学独特の診断法を理解し、その説明が出来る。そして、その診断に基づき患者の病態の説明が出来る。

代表的な疾患における、東洋医学的病態把握に基づく漢方薬の選択が出来る。

| 授業計画・内容 | |
|---|---|
| 1回目 | 東洋医学的診察（患者観察法）が出来る①-総合- |
| 2回目 | 東洋医学的診察（患者観察法）が出来る②-望診- |
| 3回目 | 東洋医学的診察（患者観察法）が出来る③-聞診- |
| 4回目 | 東洋医学的診察（患者観察法）が出来る④-問診- |
| 5回目 | 東洋医学的診察（患者観察法）が出来る⑤-切診- |
| 6回目 | 風邪の漢方薬の病態による選択が出来る。 |
| 7回目 | 更年期の漢方薬の病態による選択が出来る。 |
| 8回目 | 冷え性の漢方薬の病態による選択が出来る。 |
| 9回目 | 便秘の漢方薬の病態による選択が出来る。 |
| 10回目 | 関節痛の漢方薬の病態による選択が出来る。 |
| 11回目 | 疲労倦怠感の漢方薬の病態による選択が出来る。 |
| 12回目 | 食欲不振の漢方薬の病態による選択が出来る。 |
| 13回目 | 鼻炎の漢方薬の病態による選択が出来る。 |
| 14回目 | 試験 |
| 15回目 | 試験の解答及び解説 |
| 準備学習時間外学習 | 漢方薬を運用していくためには、東洋医学独特の考え方を理解しておくことが必要です。また、疾患名というキーワードに対して漢方薬の選択をしてゆく講義では、個々の疾患における西洋医学的な病態生理の知識が必要となります。そのために、授業予定範囲のそれらのことについての確認を予習として行うことが必要です。 |
| 評価方法 | 定期テストにて成績評価を行う。（100%） |
| 受講生へのメッセージ | （魅力）現在は、漢方薬を東洋医学の考え方を修得せずに、記載されている効能効果に沿って、他の一般用医薬品と同様に西洋医学的見方によりに運用されることが多いのですが、東洋医学の診断方法を修得しそれに沿った漢方薬の選択をすることが出来るスキルを身につけることで、登録販売者として患者のニーズにより幅広く・適切に応える事ができるようになり、このことが患者の苦痛を取り除くという本来の目的をより高い次元で達成し、そして患者の信頼感を得るという登録販売者としての能力向上に寄与することが出来る講座です。<br>（授業計画）限られた時間の中で、効率よく学習するため毎回新たな知識を学習していくことになります。体調管理に気をつけて欠席が無い様にしてください。 |

【使用教科書・教材・参考書】

絵でみる和漢診療学：医学書院

漢方常用処方解説：三考塾叢刊

# 2025年度　授業概要

学　科　：薬業科

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 科目名（英） | ビジネス文書<br>Business Document | 必修選択 | 必修 | 年次 | 2 | 担当教員 | 峯 江里子 |
| | | | | | | 実務経験 | ○ |
| | | 授業形態 | 講義 | 総時間（単位） | 30 | 開講区分 | 後期 |
| コース | 共通 | | | | 2 | 曜日・時限 | |

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

1年次に学んだビジネスマナーを基礎に、ビジネスの現場で必須となる、文書作成力を実践的に身につけていく。
また、形だけの文書作成ではなく、心遣いや状況に応じた言葉遣いなども学び、より豊かな社会人生活をスタートできることを目指していく。

◆実務経験
国家資格2級キャリアコンサルティング技能士の資格を有し、約20年間教育関係に従事。専門学校や企業の新人研修講師として、ビジネスマナー・メイク等について指導を行っている。

【到達目標】

【目標①】基本的なビジネス文書作成を習得する（基本の形を覚え、敬語や状況に応じた立場の違いなども学び、語彙力を上げていく）
【目標②】応用編として様々なケースに沿った文書（手紙）の書き方を習得する
【目標③】文書（手紙）を送る楽しさを体感する

| 授業計画・内容 | |
|---|---|
| 1回目 | ガイダンス ／ 授業の趣旨を理解し、文書作成の必要性を理解できるようになる |
| 2回目 | 【基礎】ビジネス文書を作ってみよう！ ／ 文書作成の目的と仕上がりのイメージを持つこと、自身のレベルチェック、一人一人目標を持つ |
| 3回目 | 【基礎】ビジネス文書の種類・形式 ／ ビジネス文書の種類を知り、文書の基本形式（社外文書）が作成が出来る |
| 4回目 | 【基礎】送付方法（送付方法の種類等） ／ 送付方法の種類（普通郵便他・メールのcc・Bcc等）を知り、送付状作成・封筒作成が出来る |
| 5回目 | 【基礎】ビジネス文書を送ってみよう！ ／ 実例に合わせて、ビジネス文書の作成～送付まで出来る |
| 6回目 | 【基礎】ビジネス向け用語・表現力① ／ ビジネス文書向けの用語を知り、基本的な表現力を身につける |
| 7回目 | 【基礎】ビジネス向け用語・表現力② ／ ビジネス文書向けの用語を知り、様々なケースに対応できる様に表現力を身につける |
| 8回目 | 【応用】手紙の基本的な書き方 ／ 基本的なマナーを学ぶ |
| 9回目 | 【応用】手紙の基本的な書き方 ／ 基本を理解した上でケース別の手紙の書き方を学ぶ |
| 10回目 | 【応用】社内文書 ／ 基本的な形式を復習し、実際に現場で必要とされることを学ぶ |
| 11回目 | 【応用】社交文書 お礼状・詫び状・クレーム対応 ／ 様々なケースの事例を知り、心を込めた手紙の選び方から書き方までを学ぶ |
| 12回目 | 【応用】社交文書 国際郵便 ／ 封筒や文書の作成方法を学び、実際に国際郵便の送付にチャレンジする |
| 13回目 | 【総まとめ】全体の復習を行う |
| 14回目 | 後期テスト |
| 15回目 | テスト返却・フィードバック |
| 準備学習時間外学習 | 授業内容に応じて、課題を出すことがあります。 |
| 評価方法 | 期末テストの結果を100%成績として評価といたします。 |
| 受講生へのメッセージ | ビジネス文書とはいっても決まった形式に沿って作成する文書から、心を込めて伝える手紙まで、実に様々です。<br>また、マナーは堅苦しいイメージがあるかもしれませんが、実は、自分を表現するための大切な手段です。そして、社会経験が長くなるにつれ、心遣いも豊かに出来るようになってくると、形だけにはまらない、あなたらしい表現方法（マナー）が出来るようになっていきます。机上の勉強としてだけではなく、皆さんの内面の成長につながるような授業をしていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いします。 |

【使用教科書・教材・参考書】

教科書：ビジネス文書検定受験ガイド1・2級
参考書：手紙の書き方とマナー

# 2025年度 授業概要

学 科 ：薬業科

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 科目名（英） | 接客カウンセリング<br>Service Counseling Case Study | 必修選択 | 必修 | 年次 | 2 | 担当教員 | 矢野陵子 |
| | | | | | | 実務経験 | ○ |
| | | 授業形態 | 演習 | 総時間（単位） | 30 | 開講区分 | 後期 |
| コース | 共通 | | | | 2 | 曜日・時限 | |

【授業の学習内容】

登録販売者は顧客一人ひとりの商品を買う目的、さらに、ライフスタイル、悩みや問題などの情報を伺いその顧客にとって最も役立つ商品を提供し安心を与えるのが仕事である

そのためには顧客の話をよく聴き、共感して顧客との信頼関係を築くことが重要である。この授業ではカウンセリングの知識技法を習得、顧客にとって最も望ましい販売員になるための姿勢、態度を身に付ける。以上のことから授業ではカウンセリングの基礎や技法を学ぶほか、自他において柔軟な視点を持つために、グループワークやロールプレイを取り入れて授業を進める。

実務者経験：平成5年より、産業カウンセラー、教育カウンセラーとして教育現場、行政機関、企業などのカウンセリング、傾聴研修に携わる。

「到達目標」

相談者が抱える問題の相談に対応できるカウンセリングの方法を理解し、実践できる。
現場における相談者の問題に対して対応策を設定してそれを説明ができるようになる。
援助者として身につけるカウンセリングマインドを理解し、具体的な場面で実践できる。
カウンセリングのスキルを身につけ、相談された際にどのように対応したらよいかが説明できる。
他からの助言がなくても相談者の持つ心理的、社会的側面へ配慮することができる。

rikaisi

| 授業計画・内容 | |
|---|---|
| 1回目 | 科目ガイダンス 教科の目的と授業法 構成的グループエンカウンターが実践できる。 |
| 2回目 | 接客カウンセリングの基礎基本 定義 基本的態度を説明できる。 |
| 3回目 | 接客カウンセリングの基礎基本 ② カウンセリングのプロセス、始め方・終わり方を説明できる。 |
| 4回目 | 演習 自己理解・他社理解 自分の対人関係のあり方を分析、説明できる。 |
| 5回目 | 接客カウンセリングの基礎基本 受容・共感 ・自己一致を説明できロールプレイを行うことができる。 |
| 6回目 | 顧客の心をつかむ聴き方・話し方を説明できる。 |
| 7回目 | 接客カウンセリングの非言語的コミュニケーションについて説明できる |
| 8回目 | 顧客対応のカウンセリング技法 繰り返し・感情の反射・質問を説明できる |
| 9回目 | 接客に役立つカウンセリング理論を説明できる |
| 10回目 | ビデオから学ぶ「心はファンタジー」 |
| 11回目 | アサーショントレーニング相互尊重の自己表現を理解、分析ができる |
| 12回目 | カウンセリング理論 演習「人生態度」を実践できる |
| 13回目 | 職場の人間関係「黄山令子さんのケース 」まとめ、発表 振り返りを行うことができる |
| 14回目 | 接客カウンセリング試験 |
| 15回目 | 接客カウンセリングふりかえり |
| 準備学習<br>時間外学習 | ・教科書の事前で授業内容の予習が必要です。その際に意味の不確かな語句等のチェックと準備が重要です。そして、授業後に正確に理解ができているかの確認と復習が必要です。 |
| 評価方法 | 期末テスト100% |
| 受講生へのメッセージ | 魅力：現代社会においてカウンセリング能力はプライベートの関係性、仕事上の関係性を問わず、信頼関係を構築する重要な技法となります。<br>カウンセリングの基本や技法を学ぶことにより自他の変化を捉える観察力が向上し、人間関係を大事にする姿勢が身につきます。<br>授業の中で行う事例研究やグループワークはメンバー相互間の影響を受け、個人が成長、発達をする援助の過程なので積極的に参加して欲しい。 |

【使用教科書・教材・参考書】

教科書　医療／福祉／保育のカウンセリング
参考書　入門カウンセリングワークブック

# 2025年度　授業概要

学　科　：　薬業科

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | 登録販売者特別講座Ⅴ | 必修選択 | 必須 | 年次 | 2 | 担当教員 | 原原　裕子 |
| | | | | | | 実務経験 | ○ |
| （英） | Registered Drug Distributor License Special Lecture V | 授業形態 | 講義 | 総時間 | 30 | 開講区分 | 後期 |
| コース | 共通 | | | （単位） | 2 | 曜日・時限 | |

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

登録販売者試験の第1章・第4章・第5章の内容を中心に授業を行う。
※実務経験・・・2017年 4月 に、はり師・きゅう師を取得。2018年 11月 に登録販売者を取得し、スギ薬局で1年 、ドラッグイレブンで4年の実務を行う。2022年 3月 に鍼灸院を開設し現在まで実務を行っている。

【到達目標】

登録販売者試験の内容を理解し、7割以上正解できるようになる。また、登録販売者試験の知識を理解し、店舗での情報提供や相談対応ができるようになる。
【目標①】登録販売者試験の第1章の問題を解答し、問題の意図を説明できるようになる。
【目標②】登録販売者試験の第4章の問題を解答し、問題の意図を説明できるようになる。
【目標③】登録販売者試験の第5章の問題を解答し、問題の意図を説明できるようになる。

| | 授業計画・内容 |
|---|---|
| 1回目 | オリエンテーション |
| 2回目 | 【目標①】登録販売者試験（第1章）の過去の問題と解答し、問題の意図を説明することができる。 |
| 3回目 | 【目標①】登録販売者試験（第1章）の過去の問題と解答し、問題の意図を説明することができる。 |
| 4回目 | 【目標①】登録販売者試験（第4章）の過去の問題と解答し、問題の意図を説明することができる。 |
| 5回目 | 【目標②】登録販売者試験（第4章）の過去の問題と解答し、問題の意図を説明することができる。 |
| 6回目 | 【目標②】登録販売者試験（第4章）の過去の問題と解答し、問題の意図を説明することができる。 |
| 7回目 | 【目標②】登録販売者試験（第4章）の過去の問題と解答し、問題の意図を説明することができる。 |
| 8回目 | 【目標②】登録販売者試験（第4章）の過去の問題と解答し、問題の意図を説明することができる。 |
| 9回目 | 【目標③】登録販売者試験（第5章）の過去の問題と解答し、問題の意図を説明することができる。 |
| 10回目 | 【目標③】登録販売者試験（第5章）の過去の問題と解答し、問題の意図を説明することができる。 |
| 11回目 | 【目標③】登録販売者試験（第5章）の過去の問題と解答し、問題の意図を説明することができる。 |
| 12回目 | 【目標③】登録販売者試験（第5章）の過去の問題と解答し、問題の意図を説明することができる。 |
| 13回目 | 【目標③】登録販売者試験（第5章）の過去の問題と解答し、問題の意図を説明することができる。 |
| 14回目 | 後期期末試験 |
| 15回目 | 後期期末試験の解説 |
| 準備学習　時間外学習 | 登録販売者試験において基本的な知識となるところです。まだ理解していない専門用語は教科書を用いて復習を行ってください。 |
| 評価方法 | ・定期テスト(100%) |
| 受講生へのメッセージ | 登録販売者試験に向けて、今のうちからわからない用語の復習や、効率的な学習を行うために体調管理を心がけてください。 |

【使用教科書・教材・参考書】

登録販売者試験 受験対策共通テキスト上下巻(日本薬業研修センター)

# 2025年度 授業概要

学 科 ：薬業科

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 科目名（英） | 登録販売者特別講座Ⅵ<br>Registered Drug DistributorLicenseSpecialLectureⅥ | 必修選択 | 必須 | 年次 | 2 | 担当教員 | 松本 澄久 |
| | | | | | | 実務経験 | ○ |
| | | 授業形態 | 講義 | 総時間（単位） | 30<br>2 | 開講区分 | 後期 |
| コース | 共通 | | | | | 曜日・時限 | |

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

登録販売者試験4章薬事関係法規・制度の過去問を中心に授業を行う。

実務経験 病院・医務室等で30年の臨床経験。准看護学院で講義の実績

【到達目標】

登録販売者試験に合格できる

| 授業計画・内容 | |
|---|---|
| 1回目 | 第4章 医薬品、医療機器等の品質の確保について説明できる。 |
| 2回目 | 第4章 医薬品、医療機器等の有効性及び安全性の確保について説明できる。 |
| 3回目 | 第4章 医薬品の定義と範囲について説明できる。 |
| 4回目 | 第4章 医薬品の容器・外箱等への記載事項、添付文書等への記載事項について説明できる。 |
| 5回目 | 第4章 医薬部外品、化粧品、保健機能食品等について説明できる。 |
| 6回目 | 第4章 医薬品販売業の許可の種類と許可行為の範囲について説明できる。 |
| 7回目 | 第4章 医薬品のリスク区分に応じた販売従事者、情報提供及び陳列等について説明できる。 |
| 8回目 | 第4章 医薬品の適正な販売広告について説明できる。 |
| 9回目 | 第4章 医薬品の適正な販売方法について説明できる。 |
| 10回目 | 第4章 行政庁の監視指導、について説明できる。 |
| 11回目 | 第4章 医薬品に対する苦情相談窓口について説明できる。 |
| 12回目 | 第4章 毒薬・劇薬の管理・取り扱い・販売について説明できる。 |
| 13回目 | 第4章 医薬品のリスク区分ごとの情報提供・販売について説明できる。 |
| 14回目 | 終講試験 |
| 15回目 | 試験結果発表，解説 |
| 準備学習時間外学習 | 日ごろから，薬に関心をもって接する。 |
| 評価方法 | ペーパーテスト |
| 受講生へのメッセージ | 全員合格できるように頑張ろう。 |

【使用教科書・教材・参考書】

登録販売者試験 受験対策 共通テキスト

# 2025年度　授業概要

学　科　：　薬学科

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | 登録販売者特別講座Ⅰ | 必修選択 | 必修 | 年次 | 2 | 担当教員 | 江上　充穂子 |
| | | | | | | 実務経験 | ○ |
| (英) | Registered Drug Distributor License Special Lecture | 授業形態 | 講義 | 総時間 | 30 | 開講区分 | 後期 |
| コース | 共通 | | | (単位) | 2 | 曜日・時限 | |

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

人体と働きと医薬品（第2章）以下項目について、講義と模試を実施し内容を定着する。

実務経験―2017年3月に登録販売者を取得。株式会社ハーバルアイ（2017年3月～2022年3月）

【到達目標】

登録販売者試験に合格する。

| 授業計画・内容 | |
|---|---|
| 1回目 | 【消化器系】名称、構造、主な働きについて説明できる |
| 2回目 | 【呼吸器系】名称、構造、主な働きについて説明できる |
| 3回目 | 【循環器系】名称、構造、主な働きについて説明できる |
| 4回目 | 【泌尿器系】名称、構造、主な働きについて説明できる |
| 5回目 | 【目】名称、構造、主な働きについて説明できる |
| 6回目 | 【鼻】名称、構造、主な働きについて説明できる |
| 7回目 | 【耳】名称、構造、主な働きについて説明できる |
| 8回目 | 【外皮系】名称、構造、主な働きについて説明できる |
| 9回目 | 【骨格系】名称、構造、主な働きについて説明できる |
| 10回目 | 【筋組織】名称、構造、主な働きについて説明できる |
| 11回目 | 【中枢神経系】名称、構造、主な働きについて説明できる |
| 12回目 | 【末梢神経系】名称、構造、主な働きについて説明できる |
| 13回目 | 試験対策 |
| 14回目 | 後期試験 |
| 15回目 | 試験返却・解説 |
| 準備学習・時間外学習 | 国家試験まで残り2ヶ月で効率的に点数アップできるように、これまでの模試の結果から自分の弱点を絞り出しておくこと。 |
| 評価方法 | 定期試験100% |
| 受講生へのメッセージ | 模試を解いて終わりではなく、誤答箇所の確認と復習を反復してこそ点数アップに繋がります。日々努力して登録販売者試験に合格しましょう。 |

【使用教材書・教材・参考書】

登録販売者試験 受験対策共通テキスト上巻（日本薬業研修センター）

# 2025年度　授業概要

学　科　：　薬業科

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | 登録販売者特別講座Ⅵ | 必修選択 | 必修 | 年次 | 2 | 担当教員 | 鬼塚 敏 |
| | | | | | | 実務経験 | ○ |
| (英) | Registered Drug Distributor License Special Lecture Ⅵ | 授業形態 | 講義 | 総時間 | 30 | 開講区分 | 後期 |
| コース | 共通 | | | (単位) | 2 | 曜日・時限 | |

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

医薬品の適正使用・安全性対策のためには、効能・効果、用法・用量、副作用などの情報を知り、正しく使用することが不可欠です
また、医薬品による副作用で健康被害が発生してしまった場合に、医薬品副作用被害救済制度等への案内、窓口紹介を行うことができるようになったり、
医薬品の適正使用のための啓発活動が行えるようになる

＊実務者経験：平成19年4月～平成24年5月急性期医療病院、平成24年6月～調剤薬局に勤務

【到達目標】

・添付文書や製品表示に記載されている情報から、購入者に必要な情報をわかりやすく伝え、医薬品を適切に選択して使用してもらえるように説明できるようになる
・医薬品の副作用情報の収集精度や収集された副作用情報を評価し、対応できるようになる
・副作用による健康被害について、社会的な救済制度について説明できるようになる

| | 授業計画・内容 |
|---|---|
| 1回目 | 医薬品の適正使用情報について説明できる |
| 2回目 | 医薬品の効果的・効率的な説明ができる |
| 3回目 | 医薬品の添付文書を読み、説明できる |
| 4回目 | 医薬品の添付文書を読み、説明できる |
| 5回目 | 医薬品の製品表示を読み、説明できる |
| 6回目 | 緊急安全性情報・安全性速報を理解し、説明できる |
| 7回目 | 購入者等に医薬品の適正使用のための情報を説明できる |
| 8回目 | 医薬品の安全対策について説明できる |
| 9回目 | 医薬品による副作用の報告様式について説明できる |
| 10回目 | 医薬品副作用被害救済制度について説明できる |
| 11回目 | 医薬品副作用被害救済制度について説明できる |
| 12回目 | 一般医薬品の有害事象について説明できる |
| 13回目 | 医薬品の適正使用のための啓発活動について説明できる |
| 14回目 | 医薬品の適正使用・安全対策について説明できる |
| 15回目 | 医薬品の適正使用・安全対策について説明できる |
| 準備学習　時間外学習 | この授業を受けるには、要指導医薬品又は一般用医薬品にはどのようなものがあるか、副作用として起こりうる事象についてどのようなことがあるか予習が必要です |
| 評価方法 | 定期試験にて成績評価を行う(100%) |
| 受講生へのメッセージ | 医薬品の効果を引き出し、副作用を防ぐために、添付文書や製品表示を購入者等にわかりやすく説明するスキルは、医薬品の専門家として最も重要な役割の一つです<br>授業では登録販売者試験対策として、問題を解いていただき、その後解説をいたします。 |

【使用教科書・教材・参考書】

登録販売者　受験対策　共通テキスト上巻(日本薬業研修センター)

# 2025年度　授業概要

学　科　：薬業科

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | 登録販売者特別講座IX | 必修選択 | 必修 | 年次 | 2 | 担当教員 | 姫原　裕子 |
| | | | | | | 実務経験 | ○ |
| (英) | Registered Drug Distributor License Spcial LectureIX | 授業形態 | 講義 | 総時間 | 30 | 開講区分 | 後期 |
| コース | 共通 | | | (単位) | 2 | 曜日・時限 | |

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

以下項目について、講義と模試を実施しながら内容を定着する。（医薬品に共通する特性と基本的な知識・人体の働きと医薬品・主な医薬品とその作用・薬事に関する法規と制度・医薬品の適正使用と安全対策）

【到達目標】

登録販売者試験に合格する。

※実務経験・・・2017年4月に、はり師・きゅう師を取得。2018年11月に登録販売者を取得し、スギ薬局で1年、ドラッグイレブンで4年の実務を行う。2022年8月に鍼灸院を開設し現在まで実務を行っている。

| 授業計画・内容 | |
|---|---|
| 1回目 | 第2章人体の働きと医薬品　目、鼻、耳などの感覚器官 |
| 2回目 | 第2章人体の働きと医薬品　目、鼻、耳などの感覚器官（過去問解説） |
| 3回目 | 第2章人体の働きと医薬品　脳や神経系の働き |
| 4回目 | 第2章人体の働きと医薬品　脳や神経系の働き（過去問解説） |
| 5回目 | 第2章人体の働きと医薬品　全身的に現れる副作用 |
| 6回目 | 第2章人体の働きと医薬品　全身的に現れる副作用（過去問解説） |
| 7回目 | 第2章人体の働きと医薬品　精神神経系に現れる副作用 |
| 8回目 | 第2章人体の働きと医薬品　精神神経系に現れる副作用（過去問解説） |
| 9回目 | 第2章人体の働きと医薬品　体の局所に現れる副作用 |
| 10回目 | 第2章人体の働きと医薬品　体の局所に現れる副作用（過去問解説） |
| 11回目 | 第5章医薬品の適正使用・安全対策　「してはいけないこと」に該当する者と成分 |
| 12回目 | 第5章医薬品の適正使用・安全対策　「相談すること」に該当する者と成分 |
| 13回目 | 【模試】令和3年群馬県登録販売者試験（午前） |
| 14回目 | 【解説】令和3年愛知県登録販売者試験（午前） |
| 15回目 | 【解説】令和3年福井県登録販売者試験（午前） |
| 準備学習時間外学習 | 1～12回はカテゴリー別で講義をしますので、内容を整理して試験で点数につながるように定着させてください。授業内で解説できる範囲は限られますので、その他誤答の問題は授業後に各自しっかりと自習をしましょう。点数管理し弱点を把握しましょう。次模試の目標点数を定め、その点数に届くように復習をしましょう。 |
| 評価方法 | 模擬試験結果評価100% |
| 受講生へのメッセージ | 模試を解いて終わりではなく、誤答箇所の確認と復習を反復してこそ点数アップに繋がります。日々努力して登録販売者試験に合格しましょう。 |

【使用教科書・教材・参考書】

登録販売者試験　受験対策共通テキスト上巻・下巻　（日本薬業総研センター）

# 2025年度　授業概要

学　科　：　薬業科

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | サプリメントⅠ | 必修選択 | 選択必修 | 年次 | 2 | 担当教員 | 姫原 裕子 |
| | | | | | | 実務経験 | ○ |
| (英) | Supplement Ⅰ | 授業形態 | 講義 | 総時間 | 30 | 開講区分 | 後期 |
| コース | くすり登録販売者コース | | | (単位) | 2 | 曜日・時限 | |

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

これからの高齢化社会に向けて、需要者の自己の健康の管理・維持への関心が高まっています。ドラッグストアで扱うサプリメントに含まれる栄養素を学ぶことで、需要者個人に今必要な栄養素やサプリメント、健康食品を勧められるようになりましょう。実際の授業では聞き馴染みの深い大栄養素から始めます。聞いたことがある栄養素は具体的にどのようなことに良いのか、身体ではどのような作用をするのか、また、欠乏した際、身体にどのような変化を及ぼすのか、実際ドラッグストアにおいてどのような問い合わせを受けるのかを含めて授業を行っていきます。

※実務経験・・・2017年 4月 に、はり師・きゅう師を取得。2018年 11月 に登録販売者を取得し、スギ薬局で1年 、ドラッグイレブンで4年の実務を行う。2022年 3月 に鍼灸院を開設し現在まで実務を行っている。

【到達目標】

5大栄養素の身体での効能・効果に関する授業を行い、それから栄養機能食品に含まれる成分、栄養素が効果を発揮する身体の部位の解剖生理を挟みながら、各種栄養素の効能・効果、過剰症・欠乏症、関与する疾患が説明できるようになりましょう。

【目標①】水溶性ビタミンの効果・効能、過剰症・欠乏症、含まれる食品が説明できる。
【目標②】脂溶性ビタミンの効果・効能、過剰症・欠乏症、含まれる食品が説明できる。
【目標③】ミネラルの効果・効能、過剰症・欠乏症、含まれる食品が説明できる。
【目標④】機能性表示食品の効果・効能、過剰症・欠乏症について説明できる。

| 授業計画・内容 | |
|---|---|
| 1回目 | オリエンテーション |
| 2回目 | ビタミン、栄養素の種類が説明できる。サプリメントの法的分類について説明できる。 |
| 3回目 | 【目標①】水溶性ビタミン(ビタミンB1、ビタミンB2)の 体内での働き、過剰症・欠乏症について説明することが出来る。 |
| 4回目 | 【目標①】水溶性ビタミン(ビ タミンB6、ビタミンB12)の体内での働き、過剰症・欠乏症について説明することができる。 |
| 5回目 | 【目標①】水溶性ビタミン(ナイアシン・パントテン酸・葉酸)の 体内での働き、過剰症・欠乏症について説明することができる。 |
| 6回目 | 【目標①】水溶性ビタミン(ビタミンC、ビオチン)の 体内での働き、過剰症・欠乏症について説明することができる。 |
| 7回目 | 【目標②】脂溶性ビタミンの概要、脂溶性ビタミン(ビタミンA、ビタミンD)の 体内での働き、過剰症・欠乏症について説明することができる。 |
| 8回目 | 【目標②】脂溶性ビタミン(ビ タミンK、ビタミンE)の 体内での働き、過剰症・欠乏症について説明することができる。 |
| 9回目 | 【目標③】ミネラルの概要、ミネラル(カ リウム・カルシウム・マグネシウム)の体内での働き、過剰症・欠乏症について説明することができる。 |
| 10回目 | 【目標③】ミネラル(亜鉛・鉄・銅)の 体内での働き、過剰症・欠乏症について説明することができる。 |
| 11回目 | 【目標③】タンパク質、各種糖質酸の体内での働き、過剰症・欠乏症について説明することができる。 |
| 12回目 | 【目標④】機能性表示食品の概要、視覚器に効果のある機能性表示食品について説明することができる。 |
| 13回目 | 【目標④】消化器に効果のある機能性表示食品について説明することができる。 |
| 14回目 | 後期期末試験 |
| 15回目 | 後期期末試験解説 |
| 準備学習 時間外学習 | その他の授業や、ドラッグストアでの実習でよく耳にする言葉(栄養素の名前、人体の名前、疾患の名前)が多いので、授業外での復習もしっかり行ってください。 |
| 評価方法 | 期末試験100% |
| 栄養士へのメッセージ | ドラッグストア、薬局、コンビニエンスストア等でよく見かける栄養素を中心に行っています。お客様からの問い合わせはもちろん、自らの生活でも栄養素の知識を取り入れる事で、未然に病気を防げたり、ほかの人にも勧めたり、健康のアドバイスをすることが出来ます。また、自ら積極的に摂取することで効果効能を体験し、幅広く栄養素を知ることができます。 |

【使用教科書・教材・参考書】

日本能率協会マネジメントセンター サプリメントマスター検定公式テキスト

# 2025年度　授業概要

学　科　：　　薬業科

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | サプリメントⅡ | 必修選択 | 選択必修 | 年次 | 2 | 担当教員 | 姫原　裕子 |
| | | | | | | 実務経験 | ○ |
| (英) | Supplement Ⅱ | 授業形態 | 講義 | 総時間 | 30 | 開講区分 | 後期 |
| コース | くすり登録販売者コース | | | (単位) | 2 | 曜日・時限 | |

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

高齢化社会や生活習慣など、様々な要因で消費者の生活志向は最近更に向上しています。ドラッグストアでは一般用医薬品の問い合わせの他、健康食品やサプリメントに関わる問い合わせも増加しています。例えば、一般用医薬品に頼らずに健やかな日々を過ごしたい、また偏った食生活で不足した栄養素を補いたいが、どの商品・メーカーが自分にあっているか分からない。ダイエットで使用するプロテイン・サプリメントがわからないなど、日々の消費者の相談・問い合わせなどから、自ら疾患を予防する生活や健康的な生活への関心が非常に高まっているのがわかります。また、その年に流行した疾患や生活習慣病に関すること、季節の病（花粉症・かぜ症候群）、特性の成分が論文発表されることによる新しいサプリメントの発表や、一定の時期に特定のサプリメントの流行など、その年その時で消費者のサプリメントへの関心は左右されます。この授業ではサプリメントの種類、働きはもちろん、サプリメントの歴史、需要の傾向を学び、幅広い知識を身につける事で、サプリメントについての深い知識や様々な問い合わせに対応できる能力、個々の消費者に合うサプリメントの選択をできる能力をは学習していきます。

※実務経験・・・2017年 4月 に、はり師・きゅう師を取得。2018年 11月 に登録販売者を取得し、スギ薬局で1年 、ドラッグイレブンで4年の実務を行う。2022年 3月 に鍼灸院を開設し現在まで実務を行っている。

【到達目標】

栄養素・サプリメントの知識や様々な応用の深化を目標に、登録販売者に必要な知識を学んでいきます。生活習慣病。生活習慣病の予防と様々な応用に関すること、日常生活でのサプリメントの取り入れ方、サプリメントの種類を学んでいきます。

《具体的な目標》

【目標①】サプリメントの概要や世間のサプリメントの関心について説明することができる。

【目標②】生活習慣別にサプリメントを選択することが出来る。

【目標③】生活習慣病を学び、サプリメントの素材、成分や正しい使用方法について説明することができる。

| 授業計画・内容 | |
|---|---|
| 1回目 | 【目標①】サプリメントの概要、世間のサプリメントの関心についてについて説明する事ができる。 |
| 2回目 | 【目標②】人間に必要な栄養素について説明する事が出来る。 |
| 3回目 | 【目標②】【目標③】生活習慣病の概要、高血圧や肥満のリスク要因について説明することが出来る。 |
| 4回目 | 【目標②】【目標③】糖尿病、悪性新生物、心疾患・脳血管疾患とそのリスク要因について説明することが出来る。 |
| 5回目 | 【目標②】【目標③】慢性閉塞性肺疾患、高尿酸血症、骨粗鬆症とそのリスク要因について説明することが出来る。 |
| 6回目 | 【目標②】【目標③】ストレス、アレルギーとそのリスク要因について説明することが出来る。 |
| 7回目 | 【目標②】【目標③】生活習慣病の予防について説明する事が出来る。 |
| 8回目 | 【目標②】【目標③】食生活の改善の重要性について説明する事が出来る。 |
| 9回目 | 【目標②】【目標③】心疾患・脳血管疾患の種類、呼吸器疾患の種類、リスク要因を理解して説明することができる。 |
| 10回目 | 【目標②】【目標③】骨粗鬆症と骨折について、ストレス、アレルギー症状のリスク要因を理解して説明することができる。 |
| 11回目 | 【目標②】【目標③】生活習慣病の予防、食生活改善での健康管理について理解して説明することができる。 |
| 12回目 | 【目標②】【目標③】生活習慣病(欠食・ストレスの多い生活)の サプリメントの選択について理解して説明することが出来る。 |
| 13回目 | 【目標②】【目標③】生活習慣別(テレワークが多い、外食が多い、飲酒・喫煙の習慣)の サプリメントの選択について理解して説明することが出来る。 |
| 14回目 | 後期期末試験 |
| 15回目 | 後期期末試験解説 |
| 準備学習　時間外学習 | 人体や疾患に関する用語やサプリメントの成分や効能に関しては、登録販売者試験、ドラッグストア・薬局での消費者の質問・店舗での問い合わせ、その他の授業でもよく耳にする言葉ですので、授業外でもしっかり復習を行ってください。 |
| 評価方法 | 後期期末試験100% |
| 受講生へのメッセージ | ドラッグストア、薬局、コンビニエンスストア等でよく見かける栄養素を中心に行っています。お客様からの問い合わせはもちろん、自らの生活でも栄養素の知識を取り入れる事で、未然に病気を防げたり、ほかの人にも勧めたり、健康のアドバイスをすることが出来ます。また、自ら積極的に摂取することで効果効能を体験し、幅広く栄養素を知ることができます。 |

【使用教科書・教材・参考書】

日本能率協会マネジメントセンター・サプリメントマスター検定公式テキスト

# 2025年度　授業概要

学　科　：　薬業科

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | ドラッグストア総論Ⅱ | 必修選択 | 必須 | 年次 | 2 | 担当教員 | 姪原　裕子 |
| | | | | | | 実務経験 | ○ |
| (英) | Drug store general discussin Ⅱ | 授業形態 | 講義 | 総時間 | 30 | 開講区分 | 後期 |
| コース | くすり登録販売者コース | | | (単位) | 2 | 曜日・時限 | |

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

2040年問題が立ちはだかる中で登録販売者の活躍が期待されている。ここではセルフメディケーションを支えていく立場であることを再確認し、現場に出た際、スムーズに対応ができるような適切なOTC医薬品選択のための情報提供（症状の詳細・アレルギーや副作用の有無・服用中の医薬品の有無・生活背景など）を聴取するコミュニケーション技術を学ぶ。
※実務経験・・・2017年 4月 に、はり師・きゅう師を取得。2018年 11月 に登録販売者を取得し、スギ薬局で1年 、ドラッグイレブンで4年の実務を行う。2022年 3月 に鍼灸院を開設し現在まで実務を行っている。

【到達目標】

現代の日本の現状と課題点から登録販売者の社会的役割を理解する。いち登録販売者として、行動と発言に責任を持ちお客様の身体に親身になってアドバイスできる ようになる。会社や店舗、本人の信頼を得るためのプラスの情報である養生法をお伝えできる。

| 授業計画・内容 | |
|---|---|
| 1回目 | オリエンテーション |
| 2回目 | 【鎮咳去痰薬・口腔咽頭薬】症状聴取・商品選択の手順を説明できる。 |
| 3回目 | 【鎮咳去痰薬・口腔咽頭薬】ロールプレイングをしフィードバックを行い医薬品の使用にあたり注意することや養生法の伝え方を説明できる。 |
| 4回目 | 【アレルギー用薬・鼻炎内服薬】症状聴取・商品選択の手順を説明できる。 |
| 5回目 | 【アレルギー用薬・鼻炎内服薬】ロールプレイングをしフィードバックを行い医薬品の使用にあたり注意することや養生法の伝え方を説明できる。 |
| 6回目 | 【催眠鎮静薬・眠気防止薬・乗り物酔い防止薬】症状聴取・商品選択の手順を説明できる。 |
| 7回目 | 【催眠鎮静薬・眠気防止薬・乗り物酔い防止薬】ロールプレイングをしフィードバックを行い医薬品の使用にあたり注意することや養生法の伝え方を説明できる。 |
| 8回目 | 【痔疾用薬・滋養強壮保健薬】症状聴取・商品選択の手順を説明できる。 |
| 9回目 | 【痔疾用薬・滋養強壮保健薬】ロールプレイングをしフィードバックを行い医薬品の使用にあたり注意することや養生法の伝え方を説明できる。 |
| 10回目 | 【皮膚・眼皮の用いる薬・粘膜部の用いる薬】症状聴取・商品選択の手順を説明できる。 |
| 11回目 | 【皮膚・眼皮の用いる薬・粘膜部の用いる薬】ロールプレイングをしフィードバックを行い医薬品の使用にあたり注意することや養生法の伝え方を説明できる。 |
| 12回目 | 【禁煙補助薬・一般用検査薬・公衆衛生用薬】症状聴取・商品選択の手順を説明できる。 |
| 13回目 | 【禁煙補助薬・一般用検査薬・公衆衛生用薬】ロールプレイングをしフィードバックを行い医薬品の使用にあたり注意することや養生法の伝え方を説明できる。 |
| 14回目 | 後期期末試験 |
| 15回目 | 後期期末試験の解説 |
| 準備学習 時間外学習 | この講義では実際に今販売されている一般用医薬品製品を例に挙げながら学習していきます。実習中の方もそうでない方も、ドラッグストアの医薬品売り場に陳列してある商品をしっかり観察し、よく売れる商品やテレビCMなどでよく耳にする商品は手にとりしっかり見ておいてください。より一層理解が深まります。 |
| 評価方法 | 期末試験100% |
| 受講生へのメッセージ | 実際に業務に向けて、今のうちからわからない用語の復習や、欠席しないように体調管理を心がけてください。 |

【使用教科書・教材・参考書】

# 2025年度　授業概要

学　科　：　薬業科

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | ドラッグストア総論Ⅲ | 必修<br>選択 | 必須 | 年次 | 2 | 担当教員 | 成原　裕子 |
| | | | | | | 実務経験 | ○ |
| （英） | Drug store general discussiⅢ | 授業<br>形態 | 講義 | 総時間<br>（単位） | 30<br>2 | 開講区分 | 後期 |
| コース | くすり登録販売者コース | | | | | 曜日・時限 | |

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

2040年問題が立ちはだかる中で登録販売者の活躍が期待されている。ここではセルフメディケーションを支えていく立場であることを再確認し、現場に出た際、スムーズに対応ができるような適切なOTC医薬品選択のための情報提供（症状の詳細・アレルギーや副作用の有無・服用中の医薬品の有無・生活背景など）を聴取するコミュニケーション技術を学ぶ。
※実務経験・・・2017年 4月 に、はり師・きゅう師を取得。2018年 11月 に登録販売者を取得し、スギ薬局で1年 、ドラッグイレブンで4年の実務を行う。2022年 3月 に鍼灸院を開設し現在まで実務を行っている。

【到達目標】

現代の日本の現状と課題点から登録販売者の社会的役割を理解する。いち登録販売者として、行動と発言に責任を持ちお客様の身体に親身になってアドバイスできる ようになる。会社や店舗、本人の信頼を得るためのプラスの情報である養生法をお伝えできる。

| 授業計画・内容 | |
|---|---|
| 1回目 | オリエンテーション |
| 2回目 | 【鎮咳去痰薬・口腔咽頭薬】症状聴取・商品選択の手順を説明できる。 |
| 3回目 | 【鎮咳去痰薬・口腔咽頭薬】ロールプレイングをしフィードバックを行い医薬品の使用にあたり注意することや養生法の伝え方を説明できる。 |
| 4回目 | 【アレルギー用薬・鼻炎内服薬】症状聴取・商品選択の手順を説明できる。 |
| 5回目 | 【アレルギー用薬・鼻炎内服薬】ロールプレイングをしフィードバックを行い医薬品の使用にあたり注意することや養生法の伝え方を説明できる。 |
| 6回目 | 【催眠鎮静薬・眠気防止薬・乗り物酔い防止薬】症状聴取・商品選択の手順を説明できる。 |
| 7回目 | 【催眠鎮静薬・眠気防止薬・乗り物酔い防止薬】ロールプレイングをしフィードバックを行い医薬品の使用にあたり注意することや養生法の伝え方を説明できる。 |
| 8回目 | 【痔疾用薬・滋養強壮保健薬】症状聴取・商品選択の手順を説明できる。 |
| 9回目 | 【痔疾用薬・滋養強壮保健薬】ロールプレイングをしフィードバックを行い医薬品の使用にあたり注意することや養生法の伝え方を説明できる。 |
| 10回目 | 【皮膚・粘膜の用いる薬・粘膜部の用いる薬】症状聴取・商品選択の手順を説明できる。 |
| 11回目 | 【皮膚・粘膜の用いる薬・粘膜部の用いる薬】ロールプレイングをしフィードバックを行い医薬品の使用にあたり注意することや養生法の伝え方を説明できる。 |
| 12回目 | 【禁煙補助薬・一般用検査薬・公衆衛生用薬】症状聴取・商品選択の手順を説明できる。 |
| 13回目 | 【禁煙補助薬・一般用検査薬・公衆衛生用薬】ロールプレイングをしフィードバックを行い医薬品の使用にあたり注意することや養生法の伝え方を説明できる。 |
| 14回目 | 後期期末試験 |
| 15回目 | 後期期末試験の解説 |
| 準備学習　時間外学習 | この講義では実際に今販売されている一般用医薬品製品を例に挙げながら学習していきます。実習中の方もそうでない方も、ドラッグストアの医薬品売り場に陳列してある商品をしっかり観察し、よく売れる商品やテレビCMなどでよく耳にする商品は手にとりしっかり見ておいてください。より一層理解が深まります。 |
| 評価方法 | 期末試験100% |
| 受講生へのメッセージ | 実際に業務に向けて、今のうちからわからない用語の復習や、欠席しないように体調管理を心がけてください。 |

【使用教科書・教材・参考書】

# 2025年度　授業概要

学　科：　薬業科

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 科目名（英） | トータルビューティーⅢ<br>Total BeautyⅢ | 必修選択 | 選択必修 | 年次 | 2 | 担当教員 | 山崎　裕美 |
| | | | | | | 実務経験 | ○ |
| | | 授業形態 | 演習 | 総時間（単位） | 30 | 開講区分 | 後期 |
| コース | 美容アドバイザーコース | | | | 2 | 曜日・時限 | |

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

日本メイクアップ技術検定試験2級合格を目指すために必要な知識・技術を身に付けることが重要です。 テキストの内容を理解し実技の手技・手順とリンクさせ覚えて再現できるように進めていく。 苦手部分の反復練習を行い、克服と技術の定着、スキルアップにつながるよう授業を実施していく。

※実務者経験：美容クリエーター・ヘアメイクアップアーティストとして25年以上のキャリアを積み、ブライダル、ビューティーショー、撮影、講師業の他に、内面・外面・精神面を　整える三面美容を主としたサロンを運営するなど幅広く活動している。　またメイクアップ技術検定協会の認定講師やメイクアドバイザー、コスメコンシェルジュインストラクター、　美容整体、リンパケア　、腸セラピー、メンタル美容セラピー、美容師免許などの資格も有する。

【到達目標】

検定試験2級合格に必要な知識や技術を身に付けることができる。(トラブルのカバー、ラインの美しさ、テクニックの向上、似合わせ)
メイクアップにおいては、あらゆる要望に応えられる知識と技術が必要とされるため、要望するイメージをくみ取り、それを具現化・再現する技術を身に付ける。
知識や技術だけでなく、声かけによるモデルへの配慮などヒューマンスキルの向上を図る。

| 授業計画・内容 | |
|---|---|
| 1回目 | 検定内容の把握 （3級と2級の違いを理解する） |
| 2回目 | ファンデーションブラシを使ったベースメイクのテクニックを習得する |
| 3回目 | セッティング～クレンジング～スキンケア～ツヤ肌フルメイクのテクニックを習得する |
| 4回目 | セッティング～クレンジング～スキンケア～フルメイクまでを50分で仕上げる技術を習得する |
| 5回目 | セティング～スキンケア・ベースメイクのレベルアップを図る |
| 6回目 | クレンジング～ベースメイク・アイブロウのレベルアップを図る |
| 7回目 | クレンジング～アイブロウ・アイメイクのレベルアップを図る （特に切れ長ライン） |
| 8回目 | クレンジング～アイメイク・チーク・リップのレベルアップを図る |
| 9回目 | クレンジング～フルメイクのレベルアップを図る （タイム取り） |
| 10回目 | フルメイクの施術を行う （各パーツを美しく仕上げられるよう練習・苦手部分の練習） |
| 11回目 | フルメイクの施術を行う （似合わせ・カラーバランスを学び練習） |
| 12回目 | 苦手部分の強化、反復練習とレベルアップを図る |
| 13回目 | セッティング～規定のフルメイク、セッティングの直し、終了までを検定通りに施術を行う |
| 14回目 | 定期試験 （検定の模擬試験も兼ねる） ・・・ 実技試験 |
| 15回目 | 検定試験 （日本メイクアップ技術検定試験2級） |
| 準備学習<br>時間外学習 | 毎日のスキンケアやメイクアップで手技・手順や手技を確認する。<br>日頃から顔のパーツのバランスなどを意識して見る。<br>技術の復習や苦手部分の練習をし、確実に身に付けることが望ましい。 |
| 評価方法 | 定期試験にてスキンケアからフルメイクアップまでの施術と仕上がりを評価する。<br>●定期試験（100%）で成績評価を行う。 |
| 受講生へのメッセージ | 配布したプリント類はファイリングしておいて下さい。<br>講義やデモンストレーション、指示した内容については必ずノートやメモを取るり。いつでも見直せる様にしておいて下さい。<br>実習がメインとなる授業ため忘れ物、遅刻欠席は出来るだけせず、苦手部分などの練習や復習をして授業に臨んでほしい。 |

【使用教科書・教材・参考書】

参考書：日本メイクアップ技術検定試験公式テキスト3級2級
教材：メイク道具一式

# 2025年度　授業概要

学　科　：　薬業科

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 科目名（英） | トータルビューティーⅣ<br>Total BeautyⅣ | 必修選択 | 選択必修 | 年次 | 2 | 担当教員 | 山崎　裕美 |
| | | | | | | 実務経験 | ○ |
| | | 授業形態 | 演習 | 総時間（単位） | 30 | 開講区分 | 後期 |
| コース | 美容アドバイザーコース | | | | 2 | 曜日・時限 | |

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

日本メイクアップ技術検定試験2級合格を目指すために必要な知識・技術を身に付けることが重要です。
テキストの内容を理解し実技の手技・手順とリンクさせ覚えて再現できるように進めていく。
苦手部分の反復練習を行い、克服と技術の定着、スキルアップにつながるよう授業を実施していく。

※実務者経験：　美容クリエーター・ヘアメイクアップアーティストとして25年以上のキャリアを積み、ブライダル、ビューティーショー、撮影、講師業の他に、内面・外面・精神面を　整える三面美容を主としたサロンを運営するなど幅広く活動している。　またメイクアップ技術検定協会の認定講師やメイクアドバイザー、コスメコンシェルジュインストラクター、　美容整体、リンパケア　、腸セラピー、メンタル美容セラピー、美容師免許などの資格も有する。

【到達目標】

検定試験2級合格に必要な知識や技術を身に付けることができるようになる。（各パーツのバランス、プロポーション）
メイクアップにおいては、あらゆる要望に応えられる知識と技術が必要とされるため、要望するイメージをくみ取り、それを具現化・再現する技術を身に付ける。
知識や技術だけでなく、声かけによるモデルへの配慮などヒューマンスキルの向上を図る。

| 授業計画・内容 | |
|---|---|
| 1回目 | 3級と2級の技術の違いを理解し、違う箇所の技術を習得する　・　クレンジング～スキンケアまでの技術の復習と練習を行う |
| 2回目 | ファンデーションブラシを使ったベースメイクのテクニックを習得する |
| 3回目 | セッティング～クレンジング～スキンケア～フルメイクのレベルアップを図る |
| 4回目 | セッティング～クレンジング～スキンケア～フルメイクまでを50分で仕上げる技術を習得する |
| 5回目 | セティング～スキンケア・ベースメイクのレベルアップを図る |
| 6回目 | クレンジング～ベースメイク・アイブロウのレベルアップを図る |
| 7回目 | クレンジング～アイブロウ・アイメイクのレベルアップを図る（特に切れ長ライン） |
| 8回目 | クレンジング～アイメイク・チーク・リップのレベルアップを図る |
| 9回目 | クレンジング～フルメイクのレベルアップを図る（タイム取り） |
| 10回目 | フルメイクの施術を行う（各パーツを美しく仕上げられるよう練習・苦手部分の練習） |
| 11回目 | フルメイクの施術を行う（似合わせ・カラーバランスを学び練習） |
| 12回目 | 苦手部分の強化、反復練習とレベルアップを図る |
| 13回目 | セッティング～既定のフルメイク、セッティングの直し、終了までを検定通りに施術を行う |
| 14回目 | 定期試験（検定の模擬試験も兼ねる）・・・　実技試験 |
| 15回目 | 検定試験（日本メイクアップ技術検定試験2級） |
| 準備学習<br>時間外学習 | 毎日のスキンケアやメイクアップで手技・手順や手技を確認する。<br>雑誌などでツヤメイクやラインなどを意識して見る。<br>技術の復習や苦手部分の練習をし、確実に身に付けることが望ましい。 |
| 評価方法 | 定期試験にてスキンケアからフルメイクアップまでの施術と仕上がりを評価する。<br>●小テスト（20%）<br>●定期試験（100%）で成績評価を行う。 |
| 受講生へのメッセージ | 配布したプリント類はファイリングしておいて下さい。<br>講義やデモンストレーション、指示した内容については必ずノートやメモを取るり。いつでも見直せる様にしておいて下さい。<br>実習がメインとなる授業ため忘れ物、遅刻欠席は出来るだけせず、苦手部分などの練習や復習をして授業に臨んでほしい。 |

【使用教科書・教材・参考書】

参考書：日本メイクアップ技術検定試験公式テキスト3級2級
教材：メイク道具一式

# 2025年度　授業概要

学　科：　美容科

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 科目名（英） | トータルビューティーV<br>Total Beauty V | 必修選択 | 選択必修 | 年次 | 2 | 担当教員 | 山崎　裕美 |
| | | | | | | 実務経験 | ○ |
| | | 授業形態 | 演習 | 総時間（単位） | 30<br>2 | 開講区分 | 後期 |
| コース | 美容アドバイザーコース | | | | | 曜日・時限 | |

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

ビューティーカウンセリングに必要となる知識や心構えをしっかり身に付けていきます。
お客様のあらゆるニーズや悩みに応えるため、皮膚・肌についての知識（皮膚の構造・しくみ・肌タイプ・肌トラブル）とそれに加え、商品（スキンケア商品・メイクアップ商品）の特徴や知識を理解することが重要です。それを踏まえた上で、お客様へのカウンセリング・肌分析からアドバイス・クロージングまでの流れを理解しスキルアップを図る。

※実務者経験：　美容クリエーター・ヘアメイクアップアーティストとして25年以上のキャリアを積み、ブライダル、ビューティーショー、撮影、講師業の他に、内面・外面・精神面を　整える三面美容を主としたサロンを運営するなど幅広く活動している。　またメイクアップ技術検定協会の認定講師やメイクアドバイザー、コスメコ

【到達目標】

皮膚・肌についての知識（皮膚の構造・しくみ・肌タイプ・肌トラブル）・スキンケア商品・メイクアップ商品についての知識を身に付け、お客様の肌悩みと肌の状態を理解し、
肌別カウンセリング法を習得する。
お客様の要望や悩みに応じたカウンセリングとアドバイス、商品提案ができるようになる。
幅広い層のお客様に対応できるコミュニケーション力、接客力の向上を図る。

| 授業計画・内容 | |
|---|---|
| 1回目 | オリエンテーション　・　科目の必要性、目標を理解する（カウンセリング＆アドバイス、接客スキルの必要性を理解する） |
| 2回目 | 1年次の復習　・・・　皮膚の構造（表皮・真皮・皮下組織・付属器官）、肌タイプ（ノーマル肌・ドライ肌・オイリー肌・コンビネーション肌）について説明できる |
| 3回目 | 1年次の復習　・・・　肌トラブルとその原因・対処法（しみ・しわ・乾燥・くすみ・たるみ・毛穴・ニキビ・クマ）について説明できる |
| 4回目 | スキンケア商品（ブースター・化粧水・乳液・美容液・クリーム）それぞれの役割と特徴を説明できる ① |
| 5回目 | スキンケア商品（ブースター・化粧水・乳液・美容液・クリーム）それぞれの役割と特徴を説明できる ② |
| 6回目 | ベースメイクアップ商品（下地・コントロールカラー・ファンデーション・コンシーラー・フェイスパウダー）それぞれの役割と特徴を説明できる ① |
| 7回目 | ベースメイクアップ商品（下地・コントロールカラー・ファンデーション・コンシーラー・フェイスパウダー）それぞれの役割と特徴を説明できる ② |
| 8回目 | 肌タイプ・肌トラブルに対しての商品や使用アイテムを理解し説明できる（お客様別カウンセリング～商品セレクト～使い方の説明）① |
| 9回目 | 肌タイプ・肌トラブルに対しての商品や使用アイテムを理解し説明できる（お客様別カウンセリング～商品セレクト～使い方の説明）② |
| 10回目 | カウンセリング・肌分析からアドバイス・クロージングまでを実践できるようになる ① ブランド研究（各化粧品ブランドの商品を調べる） |
| 11回目 | カウンセリング・肌分析からアドバイス・クロージングまでを実践できるようになる ② ブランド研究（化粧品ブランドの商品をアドバイザーとしてお勧めする） |
| 12回目 | カウンセリング・肌分析からアドバイス・クロージングまでを実践できるようになる ③（お客様ご来店～カウンセリング～アドバイスのロールプレイング） |
| 13回目 | お客様ご来店～カウンセリング～アドバイス～商品選定、商品説明、使用方法のレクチャー～クロージングのロールプレイング・苦手部分の見直し、克服ができる |
| 14回目 | 定期試験　：　お客様ご来店～カウンセリング～アドバイス～商品選定、商品説明、使用方法のレクチャー～クロージングのロールプレイング（1人約20分程度） |
| 15回目 | 試験のフィードバック　・　カウンセリングとアドバイス、接客スキルについてより深く理解する |
| 準備学習<br>時間外学習 | 講義をよく聞き理解し学習を進めていって下さい。<br>毎回必ず復習を行い、確実に身に付けることが望ましい。 |
| 評価方法 | 定期試験にてカウンセリング～アドバイス～商品選定、商品説明、使用方法のレクチャー～クロージングまでのロールプレイングと、その接客力を評価する。<br>●定期試験（100%）で成績評価を行う。 |
| 受講生へのメッセージ | 配布したプリント類はファイリングしておいて下さい。<br>講義やデモンストレーション、指示した内容については必ずノートやメモを取り、いつでも見直せる様にしておいて下さい。<br>忘れ物、遅刻欠席は出来るだけせず、必ず予習復習をして授業に臨んでください。 |

【使用教科書・教材・参考書】

参考書：日本メイクアップ技術検定試験公式テキスト3級2級
　　配布プリント、カウンセリングシート

# 2024年度　授業概要

学　科　：　　薬業科

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 科目名（英） | 美容総合Ⅰ<br>General Introdustion to Beauty Care Ⅰ | 必修選択 | 選択 | 年次 | 2 | 担当教員 | 山崎　裕美 |
| | | | | | | 実務経験 | ○ |
| | | 授業形態 | 演習 | 総時間（単位） | 30<br>2 | 開講区分 | 後期 |
| コース | 美容アドバイザーコース | | | | | 曜日・時限 | |

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

美容とは、内面と外見の両方からのアプローチが重要となります。マッサージにより血流やリンパ液の流れを促す事で、引き締めや肌のトーンアップをはかる。
また、自分の悩みや顔を分析し、理想やイメージに合わせたメイクアップを施すことができる技術を修得する授業を行う。

※実務者経験：美容家・ヘアメイクアップアーティストとして20年以上のキャリアを積み、ブライダル、ビューティーショー、撮影、講師業、講セラピーや肌質改善のお手伝いなど幅広く活動している。　またメイクアップアドバイザーやコスメコンシェルジュインストラクター、アロマタッチ、フェイシャルエステ、講セラピスト、美容師免許などの資格も有する。

【到達目標】

美容において必要な基礎知識を修得する。（フェイシャル、ヘッド、ハンドマッサージの技術を修得し内面からの美を目指す）
悩み別メイクアップ技術、イメージに合わせたメイクアップ技術を修得しセルフメイクができるようになる。

| | 授業計画・内容 |
|---|---|
| 1回目 | 科目の目的、授業の流れのを理解する・顔の筋肉、リンパの流れを理解する |
| 2回目 | マッサージの知識と技術を理解する①（フェイシャルマッサージ） |
| 3回目 | マッサージの知識と技術を理解する②（フェイシャルマッサージ） |
| 4回目 | マッサージの知識と技術を理解する③（ヘッドマッサージ） |
| 5回目 | マッサージの知識と技術を理解する④（ヘッドマッサージ） |
| 6回目 | マッサージの知識と技術を理解する⑤（ハンドマッサージ） |
| 7回目 | マッサージの知識と技術を理解する⑥（各悩み別マッサージ） |
| 8回目 | セルフメイク①　ベースメイク（顔型の補正、肌トラブルのカバーの仕方を習得する） |
| 9回目 | セルフメイク②　アイブロウ（眉のイメージ、自分に合った眉の描き方と左右対称、ムラなく自然に仕上げる修正技術習得する） |
| 10回目 | セルフメイク③　アイメイク（目幅（縦、横）、目と目の間隔のバランス、つり目・たれ目の補正、イメージ別アイメイク技術を習得する） |
| 11回目 | セルフメイク④　チーク・リップ（バリエーションを理解しテクニックを習得する・影と色とイメージの違いについて説明ができる） |
| 12回目 | セルフメイク⑤　各悩み別、理想やイメージ別メイクを修得する |
| 13回目 | 今まで修得した知識、技術を活用し、理想やイメージに合わせたセルフメイクアップを施すことができる |
| 14回目 | 定期試験（今まで習得した知識、技術を活用し、理想やイメージに合わせたセルフメイクアップを施すことができる） |
| 15回目 | 試験のフィードバック　・　苦手部分を克服し修得する |
| 準備学習時間外学習 | 毎回授業の復習を行って下さい。 自分の毎日のお手入れに取り入れるようにしてみて下さい。<br>自分の顔分析し、長所・短所を客観的に捉えられることが必要です。<br>理想の顔やなりたいイメージを明確に持つように心がけて下さい。 |
| 評価方法 | 定期試験にてメイクアップの知識・技術の理解・定着度（実技試験）、職業人としてのマナーや所作を確認、評価を行う。<br>●定期試験（100%） |
| 受講生へのメッセージ | 配布したプリント類はファイリングしておいて下さい。<br>講義やデモンストレーション、指示した内容については必ずノートやメモを取るり。いつでも見直せる様にしておいて下さい。<br>実習がメインとなる授業のため忘れ物、遅刻欠席はせず、苦手部分などの練習や復習をして授業に臨んでほしい。 |

【使用教科書・教材・参考書】

参考書：配布プリント
教材：手持ちのメイク道具一式、鏡、メイク落とし、タオル、ティッシュ、綿棒、ダッカール

# 2024年度　授業概要

学　科　：美業科

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 科目名（英） | 美容総合Ⅱ<br>General Introdustion to Beauty Care Ⅱ | 必修選択 | 選択 | 年次 | 2 | 担当教員 | 山崎　裕美 |
| | | | | | | 実務経験 | ○ |
| | | 授業形態 | 演習 | 総時間（単位） | 30<br>2 | 開講区分 | 後期 |
| コース | 美容アドバイザーコース | | | | | 曜日・時限 | |

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

トータルビューティーにおいては、ヘア・メイク・ネイル・ファッションの知識・技術のほか、トータルバランス力とコーディネート力が必要とされる。そのため、様々なテクニックや最新のトレンドをチェックし理解しておく必要がある。お客様が要望するイメージをくみ取り、それを具現化・再現する技術を修得する授業を行う。イメージに合わせたメイクとヘアスタイルがつくれるようになり、本授業終了時にはヘア＆メイクフォトコンテストにエントリーする作品が作れるようになり入賞を目指す。

※実務者経験：　美容家・ヘアメイクアップアーティストとして20年以上のキャリアを積み、ブライダル、ビューティーショー、撮影、講師業など幅広く活動している。
またメイクアップアドバイザーやコスメコンシェルジュインストラクター、アロマタッチ、美容師免許などの資格も有する。

【到達目標】

参考資料（配布プリント）、雑誌やコレクションなどを参考に、それを再現する為の技術、やり方を修得する。
ネイル、ファッション、ヘア、メイクに一貫性をもたせる事ができる。
ヘアアレンジの基本テクニック（ブロッキング、ピニング、コテ巻き、編み込みなど）を修得する。
トータルバランスを考えトレンドやイメージなどコンテストを意識したヘアメイクの作品を制作することができる。

| 授業計画・内容 | |
|---|---|
| 1回目 | 科目の目的、授業の流れのを理解する　・　道具の種類、使い方、頭の形、各部分の名称を理解する　・　ブロッキングの仕方を修得する |
| 2回目 | ピニング、ゴムの結び方、逆毛の立て方を修得する |
| 3回目 | アイロンの巻き方を修得する　（フォアード、リバース、ミックス、波ウェーブ） |
| 4回目 | 編み込みの仕方を修得する　（表、裏、片編み）、ツイスト、フィッシュボーン |
| 5回目 | 面の作り方を修得する　（夜会巻） |
| 6回目 | アップスタイルの作り方を修得する　（カールアップ） |
| 7回目 | ルーズなスタイルの作り方を修得する　（カールアップ） |
| 8回目 | イメージに合わせたトータルコーディネート（ヘア・メイク・ネイル・ファッション）を理解する　<キュート、エレガント、クール、ナチュラル>　① |
| 9回目 | イメージに合わせたトータルコーディネート（ヘア・メイク・ネイル・ファッション）を理解する　<キュート、エレガント、クール、ナチュラル>　② |
| 10回目 | ヘア＆メイクフォトコンテストのエントリー作品を考えデザイン画を作成する |
| 11回目 | ヘア＆メイクフォトコンテストのエントリー作品を決定し実習を行う |
| 12回目 | 作品のレベルアップを図る　① |
| 13回目 | 作品のレベルアップを図る　② |
| 14回目 | 定期試験　（メイク・ヘア・衣装のトータルで仕上げる） |
| 15回目 | 作品制作　（メイク・ヘア・衣装のトータルで仕上げ撮影をする） |
| 準備学習<br>時間外学習 | 最新のトレンドを意識して、雑誌やショーなどのヘアメイク,ネイル、ファッションを分析、研究しておくこと。また、技術の復習や苦手部分の練習し、確実に身に付けることが望ましい。 |
| 評価方法 | 小テストにてデザイン画の完成度を評価する。<br>定期試験にてヘア・メイク・ネイル・ファッションの知識・技術、トータルバランス力とコーディネート力の理解・定着度（実技試験）の評価を行う。<br>●小テスト（20%）<br>●定期試験（80%）<br>割合で成績評価を行う。 |
| 受講生へのメッセージ | 配布したプリント類はファイリングしておいて下さい。<br>講義やデモンストレーション、指示した内容については必ずノートやメモを取るり。いつでも見直せる様にしておいて下さい。<br>実習がメインとなる授業のため忘れ物、遅刻欠席はせず、苦手部分などの練習や復習をして授業に臨んでほしい。 |

【使用教科書・教材・参考書】

参考書　配布プリント・雑誌
教材　ヘア道具一式　・メイク道具一式　・ネイル道具一式

# 2025年度　授業概要

学　科　：薬業科

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 科目名（英） | 医事コンピュータ・医療事務<br>Medical　Informatic s /Medical Affairs | 必修選択 | 必修 | 年次 | 2 | 担当教員 | 岡田　一哉 |
| | | | | | | 実務経験 | ○ |
| | | 授業形態 | 講義 | 総時間（単位） | 15<br>1 | 開講区分 | 後期 |
| コース | 調剤薬局コース | | | | | 曜日・時限 | |

【授業の学習内容】　（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

医療機関にて医療事務スタッフとして勤務している教員が、医療機関で使用されている医事コンピュータの使用技術と保険請求の一連の流れ、それらのオペレータ業務について講義をする。また、医療業界の重要な役割を担う事の認識を高め、カルテ事例からの入力を確実に行い、正確なレセプトを作成できるよう教授する。

実務経験：現在医療機関にて医療事務スタッフとして勤務しており、その知識と経験を通じて教育を行う。

【到達目標】

①医療事務コンピュータの正しい操作ができるようになる。
②医療事務で学習した算定知識をもとに、正確で迅速な医事会計ができるようになる。
③医事コンピュータ検定試験（11月実施）の合格を目指す。

| 授業計画・内容 | |
|---|---|
| 1回目 | コンピュータの取扱方法、医療機関や患者の登録、病名入力等について理解できる。 |
| 2回目 | 医事コンピュータ検定試験（外来・実技問題）対策として、実技問題に即して入力を行う。 |
| 3回目 | 医事コンピュータ検定試験（外来・実技問題）対策として、実技問題に即して入力を行う。 |
| 4回目 | 医事コンピュータ検定試験（外来・実技問題）対策として、実技問題に即して入力を行う。 |
| 5回目 | 医事コンピュータ検定試験（外来・実技問題）対策として、実技問題に即して入力を行う。 |
| 6回目 | 介護保険請求を入力して行う。 |
| 7回目 | 処方箋の入力、調剤報酬請求事務を行う。 |
| 8回目 | 診断書、診療情報提供書、退院時要約、傷病手当金などの主治医意見書などの入力をする。 |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| 準備学習時間外学習 | ●宿題を適宜指示します。<br>●配布した資料、解いた問題などは、各自で工夫をして整理の事。整理状況やまとめ方を、随時確認、評価の対象とします。クリアーファイルに挟んだだけの物は、整理したとは見なさないので、注意のこと。 |
| 評価方法 | ●理解度の確認のための小テストを随時実施する。（25%）<br>●定期試験（実技中心だが、一部学科を含む）（50%）<br>●出席と授業態度（25%）<br>総合で成績評価を行う。 |
| 受講生へのメッセージ | 努力は報われるものであることを肝に銘じて、自分で問題を解き、整理し、わからない事は放置せずに質問などではっきりカタを付ける事を習慣づけてください。 |

【使用教科書・教材・参考書】

医事コピカルテ例題集　（ケアアンドコミュニケーションズ）
診療点数早見表　（医学通信社）

# 2025年度　授業概要

学　科　：薬剤科2年生

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 科目名（英） | 医事コンピュータ Ⅰ<br>Medical Informatics 1 | 必修選択 | 必修 | 年次 | 2 | 担当教員 | 吉川　美代 |
| | | | | | | 実務経験 | ○ |
| | | 授業形態 | 演習 | 総時間（単位） | 30 | 開講区分 | 後期 |
| コース | 調剤薬局コース | | | | 2 | 曜日・時限 | |

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

診療報酬請求事務の仕事は、受付・会計・カルテ管理・オペレータ業務・医療費の請求など多岐にわたる。実務に対応できる能力とスキルを習得し即戦力として活躍できる実力を身につけ実践する。

※実務経験：平成7年10月～平成11年7月河野整形外科看護・受付補助職員、平成15年12月～平成16年5月高崎整形外科受付兼受付指導員、平成18年3月～平成23年5月丸岡内科・小児科医療事務指導員、平成27年8月～平成28年9月やない小児科窓口受付として勤務。

【到達目標】

診療報酬請求事務の「基礎」の確認から、診療行為を漏れなく確実・迅速に入力をマスターし、正確な診療報酬明細書の入力ができる。

＜具体的な目標＞
目標①診療録の記載内容がわかる
目標②診療行為の入力ができる

| 授業計画・内容 | |
|---|---|
| 1回目 | （目標①②）患者情報（患者登録）の入力ができる |
| 2回目 | （目標①②）病名登録の入力ができる |
| 3回目 | （目標①②）カルテ症例（外来）初診料・再診料の入力ができる |
| 4回目 | （目標①②）カルテ症例（外来）医学管理等の入力ができる |
| 5回目 | （目標①②）カルテ症例（外来）在宅医療の入力ができる |
| 6回目 | （目標①②）カルテ症例（外来）投薬料・注射料の入力ができる |
| 7回目 | （目標①②）カルテ症例（外来）処置料の入力ができる |
| 8回目 | （目標①②）カルテ症例（外来）手術料・麻酔料の入力ができる |
| 9回目 | （目標①②）カルテ症例（外来）検査料①検体検査の入力ができる |
| 10回目 | （目標①②）カルテ症例（外来）検査料②生体検査・病理診断の入力ができる |
| 11回目 | （目標①②）カルテ症例（外来）画像診断①X～Pの入力ができる |
| 12回目 | （目標①②）カルテ症例（外来）画像診断②CT・MRIの入力ができる |
| 13回目 | （目標①②）カルテ症例（外来）リハビリテーション、精神科専門医療、放射線治療の入力ができる |
| 14回目 | （目標①②）カルテ症例（外来）各項目コメント等の入力ができる |
| 15回目 | （目標①②）1件のレセプトが入力ができる |
| 準備学習時間外学習 | （目標①②）毎回講義の復習、課題（宿題）が必要です。 |
| 評価方法 | 学期末試験（100%）で知識・技能の到達評価を行う。 |
| 受講生へのメッセージ | 魅力　医療知識が身につきます。日本全国勤務地が選べます。そして勤務経験があれば再就職しやすいです。<br><br>授業計画　この授業で身につける能力を毎回講義します。体調管理に気をつけて欠席しない様にしてください。 |

【使用教科書・教材・参考書】

教科書　診療点数早見表　医学通信社
　　カルテ問題集　ケアアンドコミュニケーション株式会社

# 2025年度　授業概要

学　科　：薬剤科2年生

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 科目名（英） | 医事コンピュータ Ⅱ<br>Medical Informatics Ⅱ | 必修選択 | 必修 | 年次 | 2 | 担当教員 | 吉川　美代 |
| | | | | | | 実務経験 | ○ |
| | | 授業形態 | 演習 | 総時間（単位） | 30<br>2 | 開講区分 | 後期 |
| コース | 調剤薬局コース | | | | | 曜日・時限 | |

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

診療報酬請求事務の仕事は、受付・会計・カルテ管理・オペレータ業務・医療費の請求など多岐にわたる。実務に対応できる能力とスキルを習得し即戦力として活躍できる実力を身につけ実践する。

※実務経験：平成7年10月～平成11年7月河野整形外科看護・受付補助職員、平成15年12月～平成16年6月黒崎整形外科受付兼受付指導員、平成18年3月～平成23年5月丸岡内科・小児科医療事務指導員、平成27年8月～平成28年9月やない小児科窓口受付として勤務。

【到達目標】

診療報酬請求事務の「基礎」の確認から、診療行為を漏れなく確実・迅速に入力をマスターし、正確な診療報酬明細書の入力ができる。

＜具体的な目標＞
目標①診療録の記載内容がわかる
目標②診療行為の入力ができる

| 授業計画・内容 | |
|---|---|
| 1回目 | （目標①②）患者情報（患者登録）の入力ができる |
| 2回目 | （目標①②）病名登録の入力ができる |
| 3回目 | （目標①②）カルテ症例（外来）初診料・再診料の入力ができる |
| 4回目 | （目標①②）カルテ症例（外来）医学管理等の入力ができる |
| 5回目 | （目標①②）カルテ症例（外来）在宅医療の入力ができる |
| 6回目 | （目標①②）カルテ症例（外来）投薬料・注射料の入力ができる |
| 7回目 | （目標①②）カルテ症例（外来）処置料の入力ができる |
| 8回目 | （目標①②）カルテ症例（外来）手術料・麻酔料の入力ができる |
| 9回目 | （目標①②）カルテ症例（外来）検査料①検体検査の入力ができる |
| 10回目 | （目標①②）カルテ症例（外来）検査料②生体検査・病理診断の入力ができる |
| 11回目 | （目標①②）カルテ症例（外来）画像診断①X－Pの入力ができる |
| 12回目 | （目標①②）カルテ症例（外来）画像診断②CT・MRIの入力ができる |
| 13回目 | （目標①②）カルテ症例（外来）リハビリテーション、精神科専門医療、放射線治療の入力ができる |
| 14回目 | （目標①②）カルテ症例（外来）各項目コメント等の入力ができる |
| 15回目 | （目標①②）1件のレセプトが入力ができる |
| 準備学習時間外学習 | （目標①②）毎回講義の復習、課題（宿題）が必要です。 |
| 評価方法 | 学期末試験（100%）で知識・技能の到達評価を行う。 |
| 受講生へのメッセージ | 魅力：医療知識が身につきます。日本全国勤務地が選べます。そして勤務経験があれば再就職しやすいです。<br>授業計画：この授業で身につける能力を毎回講義します。体調管理に気をつけて欠席しない様にしてください。 |

【使用教科書・教材・参考書】

教科書：診療点数早見表　医学通信社
　　カルテ例題集　ケアアンドコミュニケーション株式会社

# 2025年度　授業概要

学　科　：　　薬業科

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | 検定対策 | 必修選択 | 必修 | 年次 | 2 | 担当教員 | 岡田　一哉 |
| | | | | | | 実務経験 | ○ |
| （英） | Test Preparation | 授業形態 | 講義 | 総時間 | 15 | 開講区分 | 後期 |
| コース | 調剤薬局コース | | | （単位） | 1 | 曜日・時限 | |

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

医療費の正確な算定やレセプト作成には、カルテを正確に読む力が求められるため、医学用語、医学、検査、薬理学等々、関連科目における知識の習得が必須です。これらのすべての科目が、「医療事務」に通じていることを認識して、総合的な技術のレベルアップを図ります。

実務経験：東京都及び福岡県内の医療機関にて、スタッフ及び事務長として勤務してきており、その知識と経験を通じて教育を行う。

【到達目標】

①医療機関の組織や医事課の仕事、窓口業務に必須となる医療保険制度のしくみが理解できる。
②外来および入院医療費算定における診療報酬点数表の見方や関連基礎知識が習得できる。
③外来および入院医療費算定ルール並びにレセプト（診療報酬明細書）作成技術が習得できる。
④「医療現場が求める人材」としての資質や守秘義務などについて理解できる。
⑤小テストや課題提出により、算定知識やレセプト作成技術を向上させながら、「医療事務コンピューター検定3級（2024年度11月実施）」取得を目指す。

| 授業計画・内容 | |
|---|---|
| 1回目 | 後期の検定試験の概要についての説明より、努力目標を定める。医事コンピュータ検定試験（学科・3級）対策に取り組む。 |
| 2回目 | 医事コンピュータ検定試験（3級・学科）対策に取り組む。 |
| 3回目 | 医事コンピュータ検定試験（3級・学科）対策に取り組む。 |
| 4回目 | 医事コンピュータ検定試験（3級・学科）対策に取り組む。 |
| 5回目 | 医事コンピュータ検定試験（3級・学科）対策およびまとめに取り組む。 |
| 6回目 | 医事コンピュータ検定試験（3級・学科）対策およびまとめに取り組む。 |
| 7回目 | 医事コンピュータ検定試験（3級・学科）対策およびまとめに取り組む。 |
| 8回目 | 医事コンピュータ検定試験（3級・学科）対策およびまとめに取り組む。 |
| 9回目 | |
| 10回目 | |
| 11回目 | |
| 12回目 | |
| 13回目 | |
| 14回目 | |
| 15回目 | |
| 準備学習　時間外学習 | ●宿題を適宜指示します。<br>●配布した資料、解いた問題などは、各自で工夫をして整理の事。整理状況やまとめ方を、随時確認、評価の対象とします。クリアーファイルに挟んだだけの物は、整理したとは見なさないので、注意のこと。 |
| 評価方法 | ●理解度の確認のための小テストを随時実施する。（75%）<br>●出席と授業態度（25%）<br>総合で成績評価を行う。 |
| 受講生へのメッセージ | 努力は報われるものであることを肝に銘じて、自分で問題を解き、整理をし、わからない事は放置せずに質問などではっきりカタをつける事を習慣づけてください。 |

【使用教科書・教材・参考書】

診療点数早見表（医学通信社）
レセプト作成テキストブック（社会保険研究所）
医療秘書技能検定問題集（医療秘書教育全国協議会試験委員会）

# 2025年度　授業概要

学　科　：　薬業科

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | 登録販売者特別講座Ⅰ | 必修選択 | 必須 | 年次 | 2 | 担当教員 | 畑原　裕子 |
| | | | | | | 実務経験 | ○ |
| (英) | Registered Drug Distributor License Special Lecture I | 授業形態 | 講義 | 総時間 | 30 | 開講区分 | 前期 |
| コース | 共通 | | | (単位) | 2 | 曜日・時限 | 火曜日　1時限目 |

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

登録販売者試験に基づいて、第1章「医薬品に共通する特性と基本的な知識」中心に授業を行う。

※実務経験…2017年 4月 に、はり師・きゅう師を取得。2018年 11月 に登録販売者を取得し、スギ薬局で1年 、ドラッグイレブンで4年の業務を行う。2022年 8月 に鍼灸院を開設し現在まで実務を行っている。

【到達目標】

第1章「医薬品に共通する特性と基本的な知識」の内容を理解し、9割以上正解できるようになる。また、第1章の知識を理解し、店舗での情報提供や相談対応ができるようになる。

| 授業計画・内容 | |
|---|---|
| 1回目 | 登録販売者試験第1章医薬品に共通する特性と基本的な知識での「医薬品概論」について説明することができる。 |
| 2回目 | 登録販売者試験第1章医薬品に共通する特性と基本的な知識での「医薬品の効き目や安全性に影響する要因(副作用)」について説明することができる。 |
| 3回目 | 登録販売者試験第1章医薬品に共通する特性と基本的な知識での「医薬品の効き目や安全性に影響する要因(相互作用や年齢に対する配慮)」について説明することができる。 |
| 4回目 | 登録販売者試験第1章医薬品に共通する特性と基本的な知識での「医薬品の効き目や安全性に影響する要因(妊婦・授乳中、医療機関で治療を受けている人)」について説明することができる。 |
| 5回目 | 登録販売者試験第1章医薬品に共通する特性と基本的な知識での「適切な医薬品選択と受診勧奨」について説明することができる。 |
| 6回目 | 登録販売者試験第1章医薬品に共通する特性と基本的な知識での「薬害の歴史」について説明することができる。 |
| 7回目 | 登録販売者試験第1章医薬品に共通する特性と基本的な知識を理解した上で練習問題と、問題の意図について説明することができる。 |
| 8回目 | 登録販売者試験第1章医薬品に共通する特性と基本的な知識を理解した上で練習問題と、問題の意図について説明することができる。 |
| 9回目 | 登録販売者試験第1章医薬品に共通する特性と基本的な知識を理解した上で練習問題と、問題の意図について説明することができる。 |
| 10回目 | 登録販売者試験第1章医薬品に共通する特性と基本的な知識を理解した上で練習問題と、問題の意図について説明することができる。 |
| 11回目 | 登録販売者試験第1章医薬品に共通する特性と基本的な知識を理解した上で練習問題と、問題の意図について説明することができる。 |
| 12回目 | 登録販売者試験第1章医薬品に共通する特性と基本的な知識を理解した上で練習問題と、問題の意図について説明することができる。 |
| 13回目 | 前期のまとめ |
| 14回目 | 前期期末試験 |
| 15回目 | 前期期末試験の解説 |
| 準備学習　時間外学習 | 登録販売者試験において基本的な知識となるところです。まだ理解していない専門用語は教科書を用いて復習を行ってください。また、医薬品の本質や、副作用については、実際の店舗でのお客様の相談に答える際に答えることが多い内容です。 |
| 評価方法 | ・定期テスト(80%)<br>・小テスト(20%)<br>※授業の前に前回の授業の内容の小テストを行います。<br>※出席率や授業態度を考慮し成績評価を行います。 |
| 受講生へのメッセージ | 登録販売者試験に向けて、今のうちからわからない用語の復習や、効率的な学習を行うために体調管理を心がけてください。 |

【使用教科書・教材・参考書】

登録販売者試験 受験対策共通テキスト(株式会社日本薬事研修センター)

# 2025年度　授業概要

学　科　：　薬業科

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | 登録販売者特別講座Ⅱ | 必修選択 | 必須 | 年次 | 2 | 担当教員 | 姫原　裕子 |
| | | | | | | 実務経験 | ○ |
| (英) | Registered Drug Distributor License Special Lecture Ⅱ | 授業形態 | 講義 | 総時間 | 30 | 開講区分 | 前期 |
| コース | 共通 | | | (単位) | 2 | 曜日・時限 | 水曜日　3時限目 |

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員，知見を有する教員が，どのような授業を実施するのか，具体的に記載する）

登録販売者試験の内容を中心に授業を行う。

※実務経験…2017年 4月 に、はり師・きゅう師を取得。2018年 11月 に登録販売者を取得し、スギ薬局で1年 、ドラッグイレブンで4年の業務を行う。2022年 8月 に鍼灸院を開設し現在まで実務を行っている。

【到達目標】

登録販売者試験の内容を理解し，7割以上正解できるようになる。また、登録販売者試験の知識を理解し、店舗での情報提供や相談対応ができるようになる。

| 授業計画・内容 | |
|---|---|
| 1回目 | オリエンテーション |
| 2回目 | 登録販売者試験の過去の問題と解答し、問題の意図を説明することができる。 |
| 3回目 | 登録販売者試験の過去の問題と解答し、問題の意図を説明することができる。 |
| 4回目 | 登録販売者試験の過去の問題と解答し、問題の意図を説明することができる。 |
| 5回目 | 登録販売者試験の過去の問題と解答し、問題の意図を説明することができる。 |
| 6回目 | 登録販売者試験の過去の問題と解答し、問題の意図を説明することができる。 |
| 7回目 | 登録販売者試験の過去の問題と解答し、問題の意図を説明することができる。 |
| 8回目 | 登録販売者試験の過去の問題と解答し、問題の意図を説明することができる。 |
| 9回目 | 登録販売者試験の過去の問題と解答し、問題の意図を説明することができる。 |
| 10回目 | 登録販売者試験の過去の問題と解答し、問題の意図を説明することができる。 |
| 11回目 | 登録販売者試験の過去の問題と解答し、問題の意図を説明することができる。 |
| 12回目 | 登録販売者試験の過去の問題と解答し、問題の意図を説明することができる。 |
| 13回目 | 登録販売者試験の過去の問題と解答し、問題の意図を説明することができる。 |
| 14回目 | 前期期末試験 |
| 15回目 | 前期期末試験の解説 |
| 準備学習　時間外学習 | 登録販売者試験において基本的な知識となるところです。まだ理解していない専門用語は教科書を用いて復習を行ってください。 |
| 評価方法 | ・定期テスト(80%)<br>・小テスト(20%)<br>※授業の前に前回の授業の内容の小テストを行います。<br>※出席率や授業態度を考慮し成績評価を行います。 |
| 受講生へのメッセージ | 登録販売者試験に向けて、今のうちからわからない用語の復習や、効率的な学習を行うために体調管理を心がけてください。 |

【使用教科書・教材・参考書】

登録販売者試験 受験対策共通テキスト上下巻(日本薬業開発センター)

# 2025年度　授業概要

学　科　：　薬業科

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | 登録販売者特別講座Ⅳ | 必修<br>選択 | 必須 | 年次 | 2 | 担当教員 | 鍵原　裕子 |
| | | | | | | 実務経験 | ○ |
| (英) | Registered Drug Distributor License Special Lecture | 授業<br>形態 | 講義 | 総時間<br>(単位) | 30<br>2 | 開講区分 | 前期 |
| コース | 共通 | | | | | 曜日・時限 | 金曜日　1時限目 |

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

この授業では添付文書の読み方について説明する事が出来るよう授業を行つていきます。一般用医薬品において重要となる添付文書ですが、我々が消費者に対して、医薬品の説明に使用したり、服用をする本人が読み、保管するのはもちろん、医療機関において受診する際、日頃どのような医薬品を服用していたか、また医薬品での事故が生じた際の非常に重要な証拠となります。また一般用医薬品での事故が生じた時に対処を行うのも我々です。消費者が来店時、普段この様な医薬品を飲んでいるが同じ商品がないといつた場合、同成分から選別し、別の医薬品にスイッチする時にも必要になつてきます。ややこしい用語や似ている用語がたくさん出てきますが、復習を繰り返しながら覚えていきましょう。

※実務経験…2017年 4月 に、はり師・きゅう師を取得。2018年 11月 に登録販売者を取得し、スギ薬局で1年 、ドラッグイレブンで4年の業務を行う。2022年 8月 に鍵灸院を開設し現在まで実務を行っている。

【到達目標】

医薬品の添付文書、製品表示について記載内容を的確に理解し、消費者に適切な情報提供や相談対応が出来るようになる。

≪到達目標≫

【目標①】一般用医薬品の添付文書での専門用語を理解し、「してはいけないこと」の内容を理解説明する事が出来る。

【目標②】一般用医薬品の添付文書での専門用語を理解し、「相談すること」の内容を理解説明する事が出来る。

【目標③】一般用医薬品での安全対策の概要を理解し、一般用医薬品でのトラブルが起きた際の対処法について説明する事が出来る

| 授業計画・内容 | |
|---|---|
| 1回目 | 【目標①】【目標②】医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律第52条 の規定の内容の添付文書に記載されている内容を説明することが出来る。 |
| 2回目 | 【目標①】添付文書での「してはいけないこと」での「次の人は使用(服用)しないこと」「次の部位に使用しないこと」の説明、該当する一般用医薬品の成分名について説明が出来る |
| 3回目 | 【目標①】添付文書での「してはいけないこと」での「本剤を使用(服用 )し ている間は次の医薬品を使用しないこと」等の説明、該当する一般用医薬品の成分名について説明が出来る。 |
| 4回目 | 【目標②】添付文書での医薬品を使用する前に「本目談すること」での「医師(歯科医師)の 治療を受けている人」、妊娠、授乳中の人に対する注意事項の説明、該当する一般用医薬品の成分名について説明が出来る。 |
| 5回目 | 【目標②】添付文書での医薬品を使用する前に「本目談すること」での「高齢者」「アレルギー症状を起こした人」の説明、該当する一般用医薬品の成分名について説明が出来る。 |
| 6回目 | 【目標②】添付文書での医薬品を使用する前に「相談すること」での「次の症状がある人」「次の診断を受けた人」の説明、該当する一般用医薬品の成分名について説明が出来る。 |
| 7回目 | 【目標②】添付文書での医薬品を使用する後に「本目談すること」での副作用に関するの説明、該当する一般用医薬品の成分名について説明が出来る。 |
| 8回目 | 【目標②】添付文書での医薬品を使用する後に「相談すること」での効能及び効果、用法・用量、成分分量に関するの説明、該当する一般用医薬品の成分名について説明が出来る。 |
| 9回目 | 【目標②】【目標③】添付文書での医薬品を使用する後に「相談すること」での長生期、取り扱い上の注意事項の説明が出来る。 |
| 10回目 | 【目標③】添付文書での「製品表示」について説明する事が出来る。 |
| 11回目 | 【目標③】医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律第68条 の規定である安全性速報、緊急安全性情報の概要について説明する事が出来る。 |
| 12回目 | 【目標③】医薬品の安全対策での医薬品副作用被害救済制度について説明する事が出来る。 |
| 13回目 | 前期のまとめ |
| 14回目 | 前期期末試験 |
| 15回目 | 前期期末試験の解説 |
| 準備学習　時間外学習 | 授業毎に復習を行いましょう。一般用医薬品の成分表示や添付文書を熟読し、わからない用語は調べるようにしましょう。 |
| 評価方法 | ・定期テスト(80%)<br>・小テスト(20%)<br>※授業の前に毎回の授業の内容の小テストを行います。<br>※出席率や授業態度を考慮し成績評価を行います。 |
| 受講生へのメッセージ | 登録販売者試験での薬事関係法規の分野は年々難化しており、長文での出題や数字のみを変えた問題などの出題傾向にあります。　知識や技術も大事ですが、文章の読解力をつけることも大事で、試験でも問題を早く読み解くことに繋がり、医薬品を購入しに来たお客さんへの商品の説明にも生かすことが出来ます、難しい分野ではありますが、社会での登録販売者の在り方をこの講義を通して理解してほしいと思います。 |

【使用教科書・教材・参考書】

登録販売者試験 受験対策共通テキスト 上下巻(日本薬業研修センター)

# 2025年度　授業概要

学　科　：　薬業科

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | 臨床医学 | 必修選択 | 必修 | 年次 | 2 | 担当教員 | 江上　充穂子 |
| | | | | | | 実務経験 | ○ |
| (英) | Anatomy and Physiology | 授業形態 | 講義 | 総時間 | 30 | 開講区分 | 前期 |
| コース | 共通 | | | (単位) | 2 | 曜日・時限 | 水曜日、1限目 |

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

基礎知識の更なる定着を目指し、登録販売者試験の演習問題の解答解説をする事で登録販売者に必要な人体の働きと医薬品の働く仕組みを合わせて学習する。それにより、人体の働きや医薬品の働く仕組みが説明できる。特に近年の登録販売者には「主な医薬品とその作用」との関連問題が出題される傾向があるように思われる。

※実務経験
2017年3月に登録販売者を取得。
株式会社ハーバルアイ(2017年3月～2022年3月)

【到達目標】

登録販売者試験(人体の働きと医薬品)の問題が合格水準に到達する。基本的な人体の働きについて理解できるようになる。

| 授業計画・内容 | |
|---|---|
| 1回目 | 登録販売者の問題演習。人体の区分や部位が説明できる。各々の細胞・組織・器官の働きが説明できる。 |
| 2回目 | 登録販売者の問題演習。人体の系統(器官)に関する用語が説明できる。 |
| 3回目 | 登録販売者の問題演習。人体を構成する骨(特に上肢や下肢)の名称が説明できる。 |
| 4回目 | 登録販売者の問題演習。人体を構成する関節名称と仕組みが説明できる。 |
| 5回目 | 登録販売者の問題演習。体性感覚(上行性伝導路)について説明できる。 |
| 6回目 | 登録販売者の問題演習。特殊感覚(視覚)と眼球の構造と働きについて説明できる。 |
| 7回目 | 登録販売者の問題演習。特殊感覚(聴覚)と外耳・中耳・内耳(主に蝸牛)について説明できる。 |
| 8回目 | 登録販売者の問題演習。特殊感覚(平衡感覚)特に半規管等について説明できる。 |
| 9回目 | 登録販売者の問題演習。特殊感覚(味覚)特に舌乳頭と味蕾について説明できる。 |
| 10回目 | 登録販売者の問題演習。特殊感覚(嗅覚)特に嗅球と嗅神経について説明できる。 |
| 11回目 | 登録販売者の問題演習。人体を構成する筋の存在部位と名称が一致する。 |
| 12回目 | 登録販売者の問題演習。神経系の働きを系統別(体性感覚と自律神経)に説明できる。 |
| 13回目 | 登録販売者の問題演習。中枢神経系(脳と脊髄)について説明できる。 |
| 14回目 | 登録販売者の問題演習。末梢神経(脳神経と脊髄神経)について説明できる。 |
| 15回目 | 登録販売者の問題演習。体性神経(運動神経と感覚神経)について説明できる。 |
| 準備学習　時間外学習 | 目標)①1年次の後期で学習した人体の働きと医薬品について復習が必要です。<br>目標)②この授業では登録販売者試験の過去問を使用するため、過去問を用いた予習が必要です。<br>目標)③この授業では正解できなかった問題、正解理由がわからない問題については必ず、質問か参考書を用いて理解するようにして下さい。 |
| 評価方法 | 定期テスト(100%)で評価する。 |
| 受講生へのメッセージ | 登録販売者試験の資格取得は、都道府県レベルで行われる試験であり、厚生労働省がその基準を設けている。<br>この試験に合格することは、資格者としての信用は勿論の事、身につけた知識がお客様(患者様)とのコミュニケーションをとる上で必要不可欠となる。 |

【使用教科書・教材・参考書】

教科書:登録販売者　受験対策　共通テキスト　上巻(日本薬業開発センター)
参考書:ぜんぶわかる人体解剖図

# 2025年度　授業概要

学　科　：　薬業科

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | 卒業研究Ⅰ | 必修選択 | 選択必修 | 年次 | 2 | 担当教員 | 倉本　寿子/姪原　裕子 |
| | | | | | | 実務経験 | ○ |
| (英) | Graduation Study Ⅰ | 授業形態 | 演習 | 総時間 | 30 | 開講区分 | 前期 |
| コース | 共通 | | | (単位) | 2 | 曜日・時限 | 水曜日　2時限目 |

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

登録販売者が現代社会の公衆衛生に貢献するために、ドラッグストア・薬局を利用する消費者への指導のあり方、勤務する登録販売者に必要なこと、また、現代のドラッグストア業界の現代社会への社会貢献のあり方や消費者の一般用医薬品利用に関する知識など、様々な視点の卒業研究を通じ、就職時に必要なプレゼンテーション能力、主体性、計画性、課題発見力を身につける。グループや個人で課題に取り組み目標達成することで、実務における仕事のマネジメントについて理解を深める。

※実務経験―2017年 4月 に、はり師・きゅう師を取得。2018年 11月 に登録販売者を取得し、スギ薬局で1年 、ドラッグイレブンで4年の業務を行う。2022年 8月 に鍼灸院を開設し現在まで実務を行っている。

【到達目標】

【目標①】自分自身で課題をみつけ掘り下げて物事を考える事ができるようになる。
【目標②】伝わるプレゼンテーション力として、人前に立つ事、PPTの活用ができるようになる。
【目標③】抄録集の制作を通じて自分自身で論文を作成できるようになる。

| | 授業計画・内容 |
|---|---|
| 1回目 | 【目標①】オリエンテーション。卒業研究の主旨を説明できる。 |
| 2回目 | 【目標①】【目標②】過去の文献・論文を読み、選択した文献・論文の説明を行うことができる。 |
| 3回目 | 【目標①】【目標②】過去の文献・論文を読み、選択した文献・論文の説明を行うことができる。 |
| 4回目 | 【目標①】【目標②】過去の文献・論文を読み、選択した文献・論文の説明を行うことができる。 |
| 5回目 | 【目標①】文献・調査研究を行い、研究のテーマを設定することができる。 |
| 6回目 | 【目標①】文献・調査研究を行い、研究のテーマを設定することができる。 |
| 7回目 | 【目標②】各グループで問題提示をし、その解決方法を考えることができる。 |
| 8回目 | 【目標②】各グループで問題提示をし、その解決方法を考えることができる。 |
| 9回目 | 【目標②】【目標③】前期発表に向けて、テーマに沿ったパワーポイントを作成することができる。 |
| 10回目 | 【目標②】【目標③】前期発表に向けて、テーマに沿ったパワーポイントを作成することができる。 |
| 11回目 | 【目標②】【目標③】前期発表に向けて、テーマに沿ったパワーポイントを作成することができる。 |
| 12回目 | 【目標②】【目標③】前期発表に向けて、テーマに沿ったパワーポイントを作成することができる。 |
| 13回目 | 【目標②】【目標③】前期発表に向けて、テーマに沿ったパワーポイントを作成することができる。 |
| 14回目 | 【目標②】【目標③】前期発表に向けて、テーマに沿ったパワーポイントを作成することができる。 |
| 15回目 | 前期発表を通して出てきた課題を各グループで挙げ、後期の授業に向けて再構築する。 |
| 準備学習　時間外学習 | レポート・資料制作にはパソコンを使用するため、Word、Excel、PowerPointの使い方も覚えておくと効率よく作業を進めることができる。 |
| 評価方法 | 研究課題のレポート、前期発表（80%）、出席（20%） |
| 受講生へのメッセージ | 前期・後期を通して、卒業研究は進めていきます。医療業界をはじめ、社会情勢も知っていくことで研究に幅広く対応できます。授業・実習・様々な情報を活かしながら卒業研究に取り組んでいきましょう。 |

【使用教科書・教材・参考書】

# 2025年度　授業概要

学　科　：薬業科

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 科目名（英） | 一般用医薬品論Ⅶ<br>Over the Counter Drugs TheoryⅦ | 必修選択 | 必修 | 年次 | 2 | 担当教員 | 三浦公義 |
| | | | | | | 実務経験 | ○ |
| | | 授業形態 | 講義 | 総時間（単位） | 30<br>2 | 開講区分 | 前期 |
| コース | 共通 | | | | | 曜日・時限 | 火曜日、2時限目 |

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

患者に対して登録販売者が、個々の患者の状態に合わせ、より適切な一般用医薬品を選択できるようアドバイスが出来るためには、各々の一般用医薬品について理解していることはもとろん、患者の不具合の原因または要因を推測するための、人の身体に対する知識や各病気に対する知識。そして、その対処法に対する知識を持つことが必要です。そして、それが出来たうえで更に、それら個々の知識を総合的に判断して患者の不具合に対する適切な対応策（一般用医薬品の使用や生活習慣の改善等）を考えることが出来るようになるスキルが必要です。本講座終了時には、そのスキルを身につけるために、領域別に基本的な薬剤の知識を得、併せて代表的な病態生理を理解することで、基本的な病態に関して適切な薬品の選択が出来るようになる。

※実務経験…1999年に調剤薬局を開業。（現在に至る）また、2004年3月にはり師・きゅう師を取得し、2004年4月に鍼灸院を開業。（現在に至る）

【到達目標】

各領域における代表的な疾患とそれに対する一般用医薬品の知識と選択方法を習得する。

（具体的な目標）

目標①　各領域における代表的一般用医薬品の成分の薬効・薬理を説明できる。

目標②　各領域における代表的疾患の病態・生理を説明できる。

| | 授業計画・内容 |
|---|---|
| 1回目 | 風邪の病態について説明が出来る。① |
| 2回目 | 風邪の病態について説明が出来る。② |
| 3回目 | かぜ薬について説明が出来る。① |
| 4回目 | かぜ薬について説明が出来る。② |
| 5回目 | 発熱の仕組み・炎症の病態について説明が出来る。① |
| 6回目 | 発熱の仕組み・炎症の病態について説明が出来る。② |
| 7回目 | 解熱鎮痛薬について説明が出来る。① |
| 8回目 | 睡眠の仕組みについて説明が出来る。 |
| 9回目 | 眠気を促す薬について説明が出来る。 |
| 10回目 | 眠気を防ぐ薬について説明が出来る。 |
| 11回目 | 鎮暈薬（乗物酔い防止薬）について説明が出来る。 |
| 12回目 | 小児鎮静薬について説明が出来る。 |
| 13回目 | 咳と痰の発生について説明が出来る。① |
| 14回目 | 試験 |
| 15回目 | 試験の解答及び解説 |
| 準備学習時間外学習 | この授業の理解をより効率的に行うには、人体の解剖・生理の知識が必要です。そのために、授業範囲の必要と思われるそれら範囲の予習が必要です。また、複数の領域で用いられる成分については、最初に出できた時に詳しい説明がされるので、後に出てきた時に、成分名のみ紹介されたり、簡単な追加説明しかされなかった場合には、各自でそれらの成分についての個々の理解度に合わせた復習が必要です。 |
| 評価方法 | 定期テストにて成績評価を行う。（100%） |
| 受講生へのメッセージ | 魅力：本講座は登録販売者としての業務をするうえで、最低限必要な知識です。この知識を得て、更にコミニュケーション等の他のスキルを得て、そしてそれらを総合的に活用してはじめて患者の苦しみ取り除く手助けができるようになります。この患者の苦しみを軽減するという直接的な成果を獲得することが、個人の仕事に対する「やりがい」に直結することはもちろんですが、一般用医薬品の普及は地域医療、そして日本全体として見た時にも医療に対する貢献ができている事を意味します。<br>授業計画：本講座で身につける知識は、量・質ともにとても重要で難解です。授業に真摯に取り組むことで、少しでも容易に知識を得ることが出来ます。そのためにも、体調管理に気をつけて欠席や居眠りをしないようにして、学びの機会を無駄にしないようにしてください。 |

【使用教科書・教材・参考書】

登録販売者試験　受験対策　共通テキスト　下巻

# 2025年度　授業概要

学　科　：薬業科

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 科目名（英） | 一般用医薬品論Ⅶ<br>Over the Counter Drugs TheoryⅦ | 必修選択 | 必修 | 年次 | 2 | 担当教員 | 三浦公義 |
| | | | | | | 実務経験 | ○ |
| | | 授業形態 | 講義 | 総時間（単位） | 30 | 開講区分 | 前期 |
| コース | 共通 | | | | 2 | 曜日・時限 | 火曜日、3時限目 |

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

患者に対して登録販売者が、個々の患者の状態に合わせて、より適切な一般用医薬品を選択できるようアドバイスが出来るためには、各々の一般用医薬品について理解していることはもとろん、患者の不具合の原因または要因を推測するための、人の身体に対する知識や各病気に対する知識、そして、その対処法に対する知識を持つことが必要です。そして、それが出来たうえで更に、それら個々の知識を総合的に判断して患者の不具合に対する適切な対応策（一般用医薬品の使用や生活習慣の改善等）を考えることが出来るようになるスキルが必要です。本講座終了時には、そのスキルを身につけるために、領域別に基本的な薬剤の知識を得、併せて代表的な病態生理を理解することで、基本的な病態に関して適切な薬品の選択が出来るようになる。

※実務経験…1999年に調剤薬局を開業。（現在に至る）また、2004年3月にはり師・きゅう師を取得し、2004年4月に鍼灸院を開業。（現在に至る）

【到達目標】

各領域における代表的な疾患とそれに対する一般用医薬品の知識と選択方法を習得する。

（具体的な目標）

目標①　各領域における代表的一般用医薬品の成分の薬効・薬理を説明できる。

目標②　各領域における代表的疾患の病態・生理を説明できる。

| | 授業計画・内容 |
|---|---|
| 1回目 | 咳と痰の発生について説明が出来る。② |
| 2回目 | 鎮咳去痰薬について説明が出来る。 |
| 3回目 | 口腔咽喉薬・うがい薬について説明が出来る。 |
| 4回目 | 胃の働きについて説明が出来る。① |
| 5回目 | 胃の薬（制酸薬・健胃薬・消化薬）について説明が出来る。① |
| 6回目 | 胃の薬（制酸薬・健胃薬・消化薬）について説明が出来る。② |
| 7回目 | 腸の働きについて説明が出来る。① |
| 8回目 | 腸の薬（整腸薬・止瀉薬・瀉下薬）について説明が出来る。① |
| 9回目 | 胃腸鎮痛鎮痙薬について説明が出来る。 |
| 10回目 | 浣腸薬について説明が出来る。 |
| 11回目 | 駆虫薬について説明が出来る。 |
| 12回目 | 排泄の仕組みについて説明が出来る。① |
| 13回目 | 痔の薬・その他泌尿器用薬について説明が出来る。 |
| 14回目 | 試験 |
| 15回目 | 試験の解答及び解説 |
| 準備学習時間外学習 | この授業の理解をより効率的に行うには、人体の解剖・生理の知識が必要です。そのために、授業範囲の必要と思われるそれら範囲の予習が必要です。また、複数の領域で用いられる成分については、最初に出てきた時に詳しい説明がされるので、後に出てきた時に、成分名のみ紹介されたり、簡単な追加説明しかされなかった場合には、各自でそれらの成分についての個々の理解度に合わせた復習が必要です。 |
| 評価方法 | 定期テストにて成績評価を行う。（100%） |
| 受講生へのメッセージ | 魅力：本講座は登録販売者としての業務をするうえで、最低限必要な知識です。この知識を得て、更にコミニュケーション等の他のスキルを得て、そしてそれらを総合的に活用してはじめて患者の苦しみ取り除く手助けができるようになります。この患者の苦しみを軽減するという直接的な成果を獲得することが、個人の仕事に対する「やりがい」に直結することはもちろんですが、一般用医薬品の普及は地域医療、そして日本全体として見た時にも医療に対する貢献ができている事を意味します。<br>授業計画：本講座で身につける知識は、量・質ともにとても重要で難解です。授業に真剣に取り組むことで、少しでも容易に知識を得ることが出来ます。そのためにも、体調管理に気をつけて欠席や居眠りをしないようにして、学びの機会を無駄にしないようにしてください。 |

【使用教科書・教材・参考書】

登録販売者試験　受験対策　共通テキスト　下巻

# 2025年度　授業概要

学　科　：薬業科

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 科目名（英） | 一般用医薬品IX<br>Over the Counter Drugs TheoryIX | 必修選択 | 必修 | 年次 | 2 | 担当教員 | 三浦公義 |
| | | | | | | 実務経験 | ○ |
| | | 授業形態 | 講義 | 総時間（単位） | 30 | 開講区分 | 前期 |
| コース | 共通 | | | | 2 | 曜日・時限 | 木曜日、2時限目 |

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

患者に対して登録販売者が、個々の患者の状態に合わせ、より適切な一般用医薬品を選択できるようアドバイスが出来るためには、各々の一般用医薬品について理解していることはもとろん、患者の不具合の原因または要因を推測するための、人の身体に対する知識や各病気に対する知識、そして、その対処法に対する知識を持つことが必要です。そして、それが出来たうえで更に、それら個々の知識を総合的に判断して患者の不具合に対する適切な対応策（一般用医薬品の使用や生活習慣の改善等）を考えることが出来るようになるスキルが必要です。本講座終了時には、そのスキルを身につけるために、領域別に基本的な薬剤の知識を得、併せて代表的な病態生理を理解することで、基本的な病態に関して適切な薬品の選択が出来るようになる。

※実務経験…1999年に調剤薬局を開業。（現在に至る）また、2004年3月にはり師・きゅう師を取得し、2004年4月に鍼灸院を開業。（現在に至る）

【到達目標】

各領域における代表的な疾患とそれに対する一般用医薬品の知識と選択方法を習得する。

（具体的な目標）

目標①　各領域における代表的一般用医薬品の成分の薬効・薬理を説明できる。

目標②　各領域における代表的疾患の病態・生理を説明できる。

| | 授業計画・内容 |
|---|---|
| 1回目 | 循環器の仕組みについて説明が出来る。① |
| 2回目 | 循環器の仕組みについて説明が出来る。② |
| 3回目 | 強心薬について説明が出来る。 |
| 4回目 | 栄養素の利用について説明が出来る。① |
| 5回目 | 高コレステロール改善薬について説明が出来る。 |
| 6回目 | 血液の役割について説明が出来る。① |
| 7回目 | 血液の役割について説明が出来る。② |
| 8回目 | 貧血用薬について説明が出来る。 |
| 9回目 | 女性のホルモンバランスについて説明が出来る。① |
| 10回目 | 婦人薬について説明が出来る。 |
| 11回目 | 免疫・アレルギーの概略が説明できる。① |
| 12回目 | 免疫・アレルギーの概略が説明できる。② |
| 13回目 | アレルギー用薬について説明が出来る。 |
| 14回目 | 試験 |
| 15回目 | 試験の解答及び解説 |
| 準備学習時間外学習 | この授業の理解をより効率的に行うには、人体の解剖・生理の知識が必要です。そのために、授業範囲の必要と思われるそれら範囲の予習が必要です。また、複数の領域で用いられる成分については、最初に出てきた時に詳しい説明がされるので、後に出てきた時に、成分名のみ紹介されたり、簡単な追加説明しかされなかった場合には、各自でそれらの成分についての個々の理解度に合わせた復習が必要です。 |
| 評価方法 | 定期テストにて成績評価を行う。（100%） |
| 受講生へのメッセージ | 魅力：本講座は登録販売者としての業務をするうえで、最低限必要な知識です。この知識を得て、更にコミニュケーション等の他のスキルを得て、そしてそれらを総合的に活用してはじめて患者の苦しみ取り除く手助けができるようになります。この患者の苦しみを軽減するという直接的な成果を獲得することが、個人の仕事に対する「やりがい」に直結することはもちろんですが、一般用医薬品の普及は地域医療、そして日本全体として見た時にも医療に対する貢献ができている事を意味します。<br>授業計画：本講座で身につける知識は、量・質ともにとても重要で難解です。授業に真摯に取り組むことで、少しでも容易に知識を得ることが出来ます。そのためにも、体調管理に気をつけて欠席や居眠りをしないようにして、学びの機会を無駄にしないようにしてください。 |

【使用教科書・教材・参考書】

登録販売者試験　受験対策　共通テキスト　下巻

# 2025年度　授業概要

学　科　：薬業科

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 科目名（英） | 一般用医薬品論X<br>Over the Counter Drugs TheoryX | 必修選択 | 必修 | 年次 | 2 | 担当教員 | 三浦公嘉 |
| | | | | | | 実務経験 | ○ |
| | | 授業形態 | 講義 | 総時間（単位） | 30<br>2 | 開講区分 | 前期 |
| コース | 共通 | | | | | 曜日・時限 | 木曜日、3時限目 |

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

患者に対して登録販売者が、個々の患者の状態に合わせ、より適切な一般用医薬品を選択できるようアドバイスが出来るためには、各々の一般用医薬品について理解していることはもとろん、患者の不具合の原因または要因を推測するための、人の身体に対する知識や各病気に対する知識、そして、その対処法に対する知識を持つことが必要です。そして、それが出来たうえで更に、それら個々の知識を総合的に判断して患者の不具合に対する適切な対応策（一般用医薬品の使用や生活習慣の改善等）を考えることが出来るようになるスキルが必要です。本講座終了時には、そのスキルを身につけるために、領域別に基本的な薬剤の知識を得、併せて代表的な病態生理を理解することで、基本的な病態に関して適切な薬品の選択が出来るようになる。

※実務経験…1999年に調剤薬局を開業。（現在に至る）また、2004年3月にはり師・きゅう師を取得し、2004年4月に鍼灸院を開業。（現在に至る）

【到達目標】

各領域における代表的な疾患とそれに対する一般用医薬品の知識と選択方法を習得する。

（具体的な目標）

目標①　各領域における代表的一般用医薬品の成分の薬効・薬理を説明できる。

目標②　各領域における代表的疾患の病態・生理を説明できる。

| 授業計画・内容 | |
|---|---|
| 1回目 | 鼻に用いる薬について説明が出来る。 |
| 2回目 | 眼の解剖生理が説明できる。① |
| 3回目 | 眼科用薬について説明が出来る。 |
| 4回目 | 皮膚の解剖生理が説明できる。① |
| 5回目 | 皮膚に用いる薬について説明が出来る。① |
| 6回目 | 歯や口中に用いる薬について説明が出来る。 |
| 7回目 | ニコチン中毒について説明できる。 |
| 8回目 | 禁煙補助薬について説明が出来る。 |
| 9回目 | 滋養強壮保健薬について説明が出来る。 |
| 10回目 | 漢方処方製剤・生薬製剤について説明が出来る。① |
| 11回目 | 漢方処方製剤・生薬製剤について説明が出来る。② |
| 12回目 | 公衆衛生用薬について説明が出来る。 |
| 13回目 | 一般用検査薬について説明が出来る。 |
| 14回目 | 試験 |
| 15回目 | 試験の解答及び解説 |
| 準備学習時間外学習 | この授業の理解をより効率的に行うには、人体の解剖・生理の知識が必要です。そのために、授業範囲の必要と思われるそれら範囲の予習が必要です。また、複数の領域で用いられる成分については、最初に出てきた時に詳しい説明がされるので、後に出てきた時に、成分名のみ紹介されたり、簡単な追加説明しかされなかった場合には、各自でそれらの成分についての個々の理解度に合わせた復習が必要です。 |
| 評価方法 | 定期テストにて成績評価を行う。（100%） |
| 受講生へのメッセージ | 魅力：本講座は登録販売者としての業務をするうえで、最低限必要な知識です。この知識を得て、更にコミニュケーション等の他のスキルを得て、そしてそれらを総合的に活用してはじめて患者の苦しみ取り除く手助けができるようになります。この患者の苦しみを軽減するという直接的な成果を獲得することが、個人の仕事に対する「やりがい」に直結することはもちろんですが、一般用医薬品の普及は地域医療、そして日本全体として見た時にも医療に対する貢献ができている事を意味します。<br>授業計画：本講座で身につける知識は、量・質ともにとても重要で難解です。授業に真摯に取り組むことで、少しでも容易に知識を得ることが出来ます。そのためにも、体調管理に気をつけて欠席や居眠りをしないようにして、学びの機会を無駄にしないようにしてください。 |

【使用教科書・教材・参考書】

登録販売者試験　受験対策　共通テキスト　下巻

# 2025年度　授業概要

学　科　：　薬業科

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 科目名（英） | 漢方学<br>Traditional chinese medicine | 必修選択 | 選択 | 年次 | 2 | 担当教員 | 鎧原裕子 |
| | | | | | | 実務経験 | ○ |
| | | 授業形態 | 講義 | 総時間（単位） | 30<br>2 | 開講区分 | 前期 |
| コース | くすり・登録販売者コース | | | | | 曜日・時限 | 金曜日　2時限目 |

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

ドラッグストアや薬局、処方箋医薬品、様々なところで漢方薬と接するようになりました。特にドラッグストアでは気軽に購入できる医薬品になり、自然由来であることと、自分なりの解釈と経験から勘違いして購入する消費者が多いです。例えば"風邪＝葛根湯"という考えが浸透していますが、葛根湯や麻黄湯に含まれる成分には血圧を上げる成分が含まれており、高血圧、心臓病や腎臓病は不向きとなっております。ならばこの場合、どのような漢方薬を勧めるのが正解か、どのように説明するか考えられるようになってほしいです。様々な漢方薬がありますが、諸々の生薬や漢方薬を理解し、どのようにして体に作用するのか東洋医学と西洋医学の観点から考えて、またそれをわかりやすい説明で消費者に出来るように行えるようになりましょう。

※実務経験…2017年 4月 に、はり師・きゅう師を取得。2018年 11月 に登録販売者を取得し、スギ薬局で1年 、ドラッグイレブンで4年の業務を行う。2022年 8月 に鍼灸院を開設し現在まで実務を行っている。

【到達目標】

自然由来で体に優しい漢方薬ですが、成分やその他の医薬品との併用で副作用として体に害を及ぼすことがあります。効果効能を東洋医学と西洋医学と比較し一般の消費者の方に漢方薬の正しい使い方を説明できるようになりましょう。

【目標①】東洋医学の知識と漢方薬の知識を活かし、医薬品販売時に最適な漢方薬を選択説明する事が出来る。

【目標②】漢方薬の使用上の注意や一般用医薬品との併用時の注意などの説明が出来るようになる。

| 授業計画・内容 | |
|---|---|
| 1回目 | 【目標①②】肩こり・首の痛み、月経不順・月経困難に対する漢方薬の選択・説明が出来る。 |
| 2回目 | 【目標①②】下痢・四肢の痛みに対する漢方薬の選択・説明が出来る。 |
| 3回目 | 【目標①②】食欲不振・性欲減退に対する漢方薬の選択・説明が出来る。 |
| 4回目 | 【目標①②】易疲労・頭痛・片頭痛に対する漢方薬の選択・説明が出来る。 |
| 5回目 | 【目標①②】盗汗（寝汗）・多汗に対する漢方薬の選択・説明が出来る。 |
| 6回目 | 【目標①②】のどの異物感、冷え性に対する漢方薬の選択・説明が出来る。 |
| 7回目 | 【目標①②】腹痛、不眠に対する漢方薬の選択・説明が出来る。 |
| 8回目 | 【目標①②】便秘、乾燥感・立ちくらみ・に対する漢方薬の選択・説明が出来る。 |
| 9回目 | 【目標①②】腰痛、かぜ症候群、インフルエンザに対する漢方薬の選択・説明が出来る。 |
| 10回目 | 【目標①②】気管支炎、気管支喘息に対する漢方薬の選択・説明が出来る。 |
| 11回目 | 【目標①②】急性胃炎・慢性胃炎、胃・十二指腸潰瘍に対する漢方薬の選択・説明が出来る。 |
| 12回目 | 【目標①②】急性肝炎・慢性肝炎に対する漢方薬の選択・説明が出来る。 |
| 13回目 | 【目標①②】胆嚢炎・胆石症・過敏性腸症候群に対する漢方薬の選択・説明が出来る。 |
| 14回目 | 後期試験 |
| 15回目 | 後期試験解説 |
| 準備学習　時間外学習 | 実習先のドラッグストアや薬局で漢方薬を扱っていれば、東洋医学の知識以外の使用上の注意やそれぞれの漢方薬効果効能など確認し、本授業での予習や復習に役立ててください。一般用医薬品での漢方薬では裏面に様々な情報が記載されているので、アルバイト中に目を通してみるといいでしょう。 |
| 評価方法 | 後期試験：100%<br>この割合で後期の成績を算出します。 |
| 受講生へのメッセージ | 漢方薬で、ピンとくるのは葛根湯あたりだと思います。しかし、漢方薬は何故効果があるのでしょうか？市販薬のCMに効果があると記載はあるもののエビデンスはまだまだ少ないです。漢方薬を本格的に学習したのは私が大阪府で教員養成学科に通っていたころです。ここでは『傷寒論』という昔の文献からひとつひとつの文章を解説し学習していました。その頃の私も漢方薬に関してあまりピンとは来てませんでしたが、様々な病気を経験し、それらひとつひとつの処方薬には必ずと言っていいほど漢方薬が処方されていました。そこから漢方薬への興味が出てきたのを覚えています。今は様々な事柄に訳が分からないでしょうが、それぞれの事柄には必ずきっかけがあります。漢方についての興味の発端がこの授業から始まれば幸いです。 |

【使用教科書・教材・参考書】

教科書
著作者　JJPブックス徒手療法概論　医学書院

参考

# 2025年度　授業概要

学　科　：　薬業科

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | ドラッグストア総論Ⅰ | 必修選択 | 選択 | 年次 | 2 | 担当教員 | 綾原　裕子 |
| | | | | | | 実務経験 | ○ |
| (英) | Drug store general discussin Ⅰ | 授業形態 | 講義 | 総時間 | 30 | 開講区分 | 前期 |
| コース | くすり登録販売者コース | | | (単位) | 2 | 曜日・時限 | 金曜日　3時限目 |

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

ドラッグストアでは一般用医薬品に対する相談やアドバイスの他に、一般のお客様への接客応対やクレームの対応など、一般用医薬品の知識以外のことが多く求められる。また、お客様によってはより詳しいアドバイスを求める方もいる。実際にあったケースをあげつつ、グループでどのような対応が適切かを考える。7回目以降は、罹患率の高い疾患についてグループワークを行う。

※実務経験…2017年 4月 に、はり師・きゅう師を取得、2018年 11月 に登録販売者を取得し、スギ薬局で1年 、ドラッグイレブンで4年の業務を行う。2022年 8月 に鍼灸院を開設し現在まで実務を行っている。

【到達目標】

授業を通して、ドラッグストアにおいて臨機応変な接客や対応を行うようにできる。

| 授業計画・内容 | |
|---|---|
| 1回目 | オリエンテーション |
| 2回目 | ドラッグストアでの接客の在り方を考え、説明することができる。 |
| 3回目 | ドラッグストアでの接客の在り方、クレームの対応について考え、自分の考えを述べることができる。 |
| 4回目 | ドラッグストアでの電話応対や、実際にあったお客様の会話を例に挙げ、自らの考えを述べることができる。 |
| 5回目 | ドラッグストアで実際にあったお客様とのトラブルを例に挙げ、自らの考えを述べることができる。 |
| 6回目 | ドラッグストアで実際にあった従業員同士のトラブルを例に挙げ、自らの考えを述べることができる。 |
| 7回目 | 我が国の罹患率の高い疾患を調べ、疾患の特徴や生活のアドバイスを説明することができる。 |
| 8回目 | 我が国の罹患率の高い疾患を調べ、疾患の特徴や生活のアドバイスを説明することができる。 |
| 9回目 | 我が国の罹患率の高い疾患を調べ、疾患の特徴や生活のアドバイスを説明することができる。 |
| 10回目 | 我が国の罹患率の高い疾患を調べ、疾患の特徴や生活のアドバイスを説明することができる。 |
| 11回目 | 我が国の罹患率の高い疾患を調べ、疾患の特徴や生活のアドバイスを説明することができる。 |
| 12回目 | 我が国の罹患率の高い疾患を調べ、疾患の特徴や生活のアドバイスを説明することができる。 |
| 13回目 | 我が国の罹患率の高い疾患を調べ、疾患の特徴や生活のアドバイスを説明することができる。 |
| 14回目 | 前期期末試験 |
| 15回目 | 前期期末試験の解説 |
| 準備学習　時間外学習 | 授業の内容によっては、一般用医薬品の成分やサプリメントの効能効果を述べなければいけません、忘れている用語があったら復習するようにして下さい。 |
| 評価方法 | 期末試験100% |
| 受講生へのメッセージ | 実際に業務に向けて、今のうちからわからない用語の復習や、欠席しないように体調管理を心がけてください。 |

【使用教科書・教材・参考書】

# 2025年度　授業概要

学　科：　業業科

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 科目名（英） | メイクアップテクニックⅢ（Make Up Technique Ⅲ） | 必修選択 | 必修 | 年次 | 2 | 担当教員 | 山崎　裕美 |
| | | | | | | 実務経験 | ○ |
| | | 授業形態 | 演習 | 総時間（単位） | 30 | 開講区分 | 前期 |
| コース | トータルビューティーコース | | | | 2 | 曜日・時限 | 月曜：1限目 |

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

メイクアップにおいては、お客様のあらゆる要望に応えられる知識と技術が必要とされるため、様々なメイクアップテクニックや最新のトレンドをチェックし、お客様が要望するイメージをくみ取り、それを具現化・再現する技術を身に付ける。本授業終了時にはヘア＆メイクフォトコンテストにエントリーする作品が作れるようになり入賞を目指す。

※実務者経験：美容クリエーター・ヘアメイクアップアーティストとして25年以上のキャリアを積み、ブライダル、ビューティーショー、撮影、講師業の他に、内面・外面・精神面を整える三面美容を主としたサロンを運営するなど幅広く活動している。またメイクアップ技術検定協会の認定講師やメイクアドバイザー、コスメコンシェルジュインストラクター、美容整体、リンパケア、アロマセラピー、鍼セラピー、メンタル美容セラピー、美容師免許などの資格も有する。

【到達目標】

1年次の基礎をベースに技術のレベルアップに加え、応用技術として様々なメイクアップの種類やテクニックを身に付け習得する。
自由な発想でヘアメイクに挑戦することができる。
メイクアップのパターンやイメージ、応用技術を習得し、それを活かし作品づくりのアイデア、イメージを膨らませ、クオリティーの高い作品を制作することができる。

| 授業計画・内容 | |
|---|---|
| 1回目 | 応用技術を習得する（ベースメイク…ハーフマット肌・マット肌） |
| 2回目 | 応用技術を習得する（ベースメイク…ツヤ肌・パール肌） |
| 3回目 | 応用技術を習得する（アイメイク…スモーキーアイズ） |
| 4回目 | 応用技術を習得する（アイメイク…ダブルライン） |
| 5回目 | 応用技術を習得する（アイメイク…多色使いのカラフルメイク） |
| 6回目 | イメージ別メイクの特徴を説明できる（キュート・フレッシュ） |
| 7回目 | イメージ別メイクの特徴を説明できる（エレガント・クール） |
| 8回目 | デザイン画の描き方を習得する（コレクションやステージメイクを参考に4パターン） |
| 9回目 | デザイン画を基に再現する（実践） |
| 10回目 | デザイン画を基に再現する（実践） |
| 11回目 | ヘア＆メイクフォトコンテストのエントリー作品を決定し実習を行う |
| 12回目 | 作品のレベルアップを図る① |
| 13回目 | 作品のレベルアップ図る② |
| 14回目 | 定期試験（メイク・ヘア・衣装のトータルで仕上げる） |
| 15回目 | 作品制作（メイク・ヘア・衣装のトータルで仕上げ撮影をする） |
| 準備学習時間外学習 | 最新のトレンドを意識して、雑誌やショーなどのヘアメイクを分析、研究しておくこと。<br>また、技術の復習や苦手部分の練習をし、確実に身に付けることが望ましい。 |
| 評価方法 | 定期試験にてメイクアップの知識・技術の理解・定着度（実技試験）、職業人としてのマナーや所作を確認、評価を行う。<br>定期試験（100%）<br>この割合で成績評価を行う。 |
| 受講生へのメッセージ | 配布したプリント類はファイリングしておいて下さい。<br>講義やデモンストレーション、指示した内容については必ずノートやメモを取るり。いつでも見直せる様にしておいて下さい。<br>実習がメインとなる授業ため忘れ物、遅刻欠席は出来るだけせず、苦手部分などの練習や復習をして授業に臨んでほしい。 |

【使用教科書・教材・参考書】

参考書　配布プリント
教材：メイク道具一式・ヘア道具一式・ウィッグ・クランプ

# 2025年度　授業概要

学 科 ：　　薬業科

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 科目名（英） | メイクアップテクニックⅣ<br>Make Up Technique Ⅳ | 必修選択 | 必修 | 年次 | 2 | 担当教員 | 山崎 裕美 |
| | | | | | | 実務経験 | ○ |
| | | 授業形態 | 演習 | 総時間（単位） | 30<br>2 | 開講区分 | 前期 |
| コース | トータルビューティーコース | | | | | 曜日・時限 | 月曜：2限目 |

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

メイクアップにおいては、お客様のあらゆる要望に応えられる知識と技術が必要とされるため、様々なメイクアップテクニックや最新のトレンドをチェックし、お客様が要望するイメージをくみ取り、それを具現化・再現する技術を身に付ける。 本授業終了時にはヘア＆メイクフォトコンテストにエントリーする作品が作れるようになり入賞を目指す。

※実務者経験：美容クリエーター・ヘアメイクアップアーティストとして25年以上のキャリアを積み、ブライダル、ビューティーショー、撮影、講師業の他に、内面・外面・精神面を整える三面美容を主としたサロンを運営するなど幅広く活動している。 またメイクアップ技術検定協会の認定講師やメイクアドバイザー、コスメコンシェルジュインストラクター、美容整体、リンパケア、アロマセラピー、温セラピー、メンタル美容セラピー、美容師免許などの資格も有する。

【到達目標】

1年次の基礎をベースに技術のレベルアップに加え、応用技術として様々なメイクアップの種類やテクニックを身に付け習得する。
自由な発想でヘアメイクに挑戦することができる。
メイクアップのパターンやイメージ、応用技術を習得し、それを活かし作品づくりのアイデア、イメージを膨らませ、クオリティーの高い作品を制作することができる。

| | 授業計画・内容 |
|---|---|
| 1回目 | 応用技術を習得する（ベースメイク…ハーフマット肌・マット肌） |
| 2回目 | 応用技術を習得する（ベースメイク…ツヤ肌・パール肌） |
| 3回目 | 応用技術を習得する（アイメイク…スモーキーアイズ） |
| 4回目 | 応用技術を習得する（アイメイク…ダブルライン） |
| 5回目 | 応用技術を習得する（アイメイク…多色使いのカラフルメイク） |
| 6回目 | イメージ別メイクの特徴を説明できる（キュート・フレッシュ） |
| 7回目 | イメージ別メイクの特徴を説明できる（エレガント・クール） |
| 8回目 | デザイン画の描き方を習得する（コレクションやステージメイクを参考に4パターン） |
| 9回目 | デザイン画を基に再現する（実践）① |
| 10回目 | デザイン画を基に再現する（実践）② |
| 11回目 | ヘア＆メイクフォトコンテストのエントリー作品を決定し実習を行う |
| 12回目 | 作品のレベルアップを図る① |
| 13回目 | 作品のレベルアップを図る② |
| 14回目 | 定期試験（メイク・ヘア・衣装のトータルで仕上げる） |
| 15回目 | 作品制作（メイク・ヘア・衣装のトータルで仕上げ撮影をする） |
| 準備学習<br>時間外学習 | 最新のトレンドを意識して、雑誌やショーなどのヘアメイクを分析、研究しておくこと。<br>また、技術の復習や苦手部分の練習をし、確実に身に付けることが望ましい。 |
| 評価方法 | 定期試験にてメイクアップの知識・技術の理解・定着度（実技試験）、職業人としてのマナーや所作を確認、評価を行う。<br>定期試験（100%）<br>この割合で成績評価を行う。 |
| 受講生への<br>メッセージ | 配布したプリント類はファイリングしておいて下さい。<br>講義やデモンストレーション、指示した内容については必ずノートやメモを取るり。いつでも見直せる様にしておいて下さい。<br>実習がメインとなる授業ため忘れ物、遅刻欠席は出来るだけせず、苦手部分などの練習や復習をして授業に臨んでほしい。 |

【使用教科書・教材・参考書】

参考書：配布プリント
教材：メイク道具一式・ヘア道具一式・ウィッグ・クランプ

# 2025年度 授業概要

学 科 ： 薬業科

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 科目名（英） | トータルビューティー Ⅰ<br>Total Beauty Ⅰ | 必修選択 | 必修 | 年次 | 2 | 担当教員 | 山崎 裕美 |
| | | | | | | 実務経験 | ○ |
| | | 授業形態 | 演習 | 総時間（単位） | 30 | 開講区分 | 前期 |
| コース | トータルビューティーコース | | | | 2 | 曜日・時限 | 月曜：3限目 |

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

メイクアップにおいては、お客様のあらゆる要望に応えられる知識と技術が必要とされるため、様々なメイクアップテクニックや最新のトレンドをチェックし、お客様が要望するイメージをくみ取り、それを具現化・再現する技術を身に付ける。また、ヘア・メイク・ネイル・ファッションの知識・技術のほか、トータルバランス力とコーディネート力を習得する授業を行う。

※実務者経験： 美容クリエーター・ヘアメイクアップアーティストとして25年以上のキャリアを積み、ブライダル、ビューティーショー、撮影、講師業の他に、内面・外面・精神面を整える三面美容を主としたサロンを運営するなど幅広く活動している。 またメイクアップ技術検定協会の認定講師やメイクアドバイザー、コスメコンシェルジュインストラクター、美容整体、リンパケア、アロマセラピー、鍼セラピー、メンタル美容セラピー、美容師免許などの資格も有する。

【到達目標】

ヘアアレンジの基本テクニック(ブロッキング、ピニング、コテ巻き、編み込みなど)を習得する。
参考資料(配布プリント)、雑誌やコレクションなどを参考に、それを再現する為の技術、やり方を習得する。
ヘア、メイク、ネイル、ファッションに一貫性をもたせる事ができる。
トータルバランスを考えトレンドやイメージなどコンテストを意識したヘアメイクの作品を制作することができる。

| 授業計画・内容 | |
|---|---|
| 1回目 | 科目の目的、授業の流れのを理解する ・ 道具の種類、使い方、頭の形、各部分の名称を理解する ・ ブロッキングの仕方を習得する |
| 2回目 | ピニング、ゴムの結び方、逆毛の立て方を習得する |
| 3回目 | アイロンの巻き方を習得する （フォアード、リバース、ミックス、波ウェーブ） |
| 4回目 | 編み込みの仕方を習得する （表、裏、片編み）、ツイスト、フィッシュボーン |
| 5回目 | 面の作り方を習得する （夜会巻） |
| 6回目 | アップスタイルの作り方を習得する （カールアップ） |
| 7回目 | ルーズなスタイルの作り方を習得する （カールアップ） |
| 8回目 | イメージに合わせたトータルコーディネート（ヘア・メイク・ネイル・ファッション）を理解する ＜キュート、ナチュラル＞ ① |
| 9回目 | イメージに合わせたトータルコーディネート（ヘア・メイク・ネイル・ファッション）を理解する ＜エレガント、クール＞ ② |
| 10回目 | ヘア＆メイクフォトコンテストのエントリー作品を考えデザイン画を作成する |
| 11回目 | ヘア＆メイクフォトコンテストのエントリー作品を決定し実習を行う |
| 12回目 | 作品のレベルアップを図る① |
| 13回目 | 作品のレベルアップを図る② |
| 14回目 | 定期試験 （メイク・ヘア・衣装のトータルで仕上げる） |
| 15回目 | 作品制作 （メイク・ヘア・衣装のトータルで仕上げ撮影をする） |
| 準備学習<br>時間外学習 | 最新のトレンドを意識して、雑誌やショーなどのヘアメイク.ネイル、ファッションを分析、研究しておくこと。<br>また、技術の復習や苦手部分の練習をし、確実に身に付けることが望ましい。 |
| 評価方法 | 定期試験にてヘア・メイク・ネイル・ファッションの知識・技術、トータルバランス力とコーディネート力の理解・定着度（実技試験）の評価を行う。<br>定期試験（100%）<br>この割合で成績評価を行う。 |
| 受講生への<br>メッセージ | 配布したプリント類はファイリングしておいて下さい。<br>講義やデモンストレーション、指示した内容については必ずノートやメモを取るり。いつでも見直せる様にしておいて下さい。<br>実習がメインとなる授業ため忘れ物、遅刻欠席は出来るだけせず、苦手部分などの練習や復習をして授業に臨んでほしい。 |

【使用教科書・教材・参考書】

参考書：配布プリント
教材：ヘア道具一式（ピン類、コーム、ブラシ、スプレー、ワックス、アイロン各種、ゴム、ウィッグ、クランプ） ・メイク道具一式

# 2025年度　授業概要

学　科：　薬業科

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 科目名（英） | トータルビューティーⅡ<br>Total Beauty Ⅱ | 必修選択 | 必修 | 年次 | 2 | 担当教員 | 山崎 裕美 |
| | | | | | | 実務経験 | ○ |
| | | 授業形態 | 演習 | 総時間（単位） | 30 | 開講区分 | 前期 |
| コース | トータルビューティーコース | | | | 2 | 曜日・時限 | 金曜:2限目 |

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

美容とは、内面と外見の両方からのアプローチが重要となります。マッサージにより血流やリンパ液の流れを促す事で、引き締めや肌のトーンアップをはかる。
また、自分の悩みや顔を分析し、理想やイメージに合わせたメイクアップを施すことができる技術を習得する授業を行う。

※実務者経験：　美容クリエーター・ヘアメイクアップアーティストとして25年以上のキャリアを積み、ブライダル、ビューティーショー、撮影、講師業の他に、内面・外面・精神面を整える三面美容を主としたサロンを運営するなど幅広く活動している。　またメイクアップ技術検定協会の認定講師やメイクアドバイザー、コスメコンシェルジュインストラクター、美容整体、リンパケア、アロマセラピー、温セラピー、メンタル美容セラピー、美容師免許などの資格も有する。

【到達目標】

美容において必要な基礎知識を習得する。（セルフフェイシャルケア技術を習得し内面からの美を目指す）
悩み別メイクアップ技術、イメージに合わせたメイクアップ技術を習得しメイクアップによるセルフプロデュースができるようになる。

| 授業計画・内容 | |
|---|---|
| 1回目 | 科目の目的、授業の流れのを理解する・顔の筋肉、リンパの流れを理解する |
| 2回目 | セルフフェイシャルケアの知識と技術を理解する①（フェイシャルリンパケア） |
| 3回目 | セルフフェイシャルケアの知識と技術を理解する②（ブラシによるフェイシャルリンパケア） |
| 4回目 | セルフプロデュースのイメージや理想を明確にする |
| 5回目 | セルフメイク①　ベースメイク（顔型の補正、肌トラブルのカバーの仕方を習得する）looop使用 |
| 6回目 | セルフメイク②　アイブロウ（眉のイメージ、自分に合った眉の描き方と左右対称、ムラなく自然に仕上げる修正技術習得する）looop使用 |
| 7回目 | セルフメイク③　アイメイク（目幅(縦、横)、目と目の間隔のバランス、つり目・たれ目の補正、イメージ別アイメイク技術を習得する）looop使用 |
| 8回目 | セルフメイク④　チーク・リップ（バリエーションを理解しテクニックを習得する・形と色とイメージの違いについて説明ができる）looop使用 |
| 9回目 | 各悩み別、理想やイメージ別メイクを習得する①　looop使用 |
| 10回目 | 各悩み別、理想やイメージ別メイクを習得する②　looop使用 |
| 11回目 | 各悩み別、理想やイメージ別メイクを習得する③　セルフメイク実技 |
| 12回目 | 各悩み別、理想やイメージ別メイクを習得する④　セルフメイク実技 |
| 13回目 | 今まで習得した知識、技術を活用し、理想やイメージに合わせたセルフメイクアップを施すことができる |
| 14回目 | 定期試験（今まで習得した知識、技術を活用し、理想やイメージに合わせたセルフメイクアップを施すことができる） |
| 15回目 | 試験のフィードバック　・　苦手部分を克服し習得する |
| 準備学習時間外学習 | 毎回授業の復習を行って下さい。 自分の毎日のケアに取り入れるようにしてみて下さい。<br>自分の顔分析をし、長所・短所を客観的に捉えられることが必要です。<br>理想の顔やなりたいイメージを明確に持つように心がけて下さい。 |
| 評価方法 | 定期試験にてメイクアップの知識・技術の理解・定着度（実技試験）、職業人としてのマナーや所作を確認、評価を行う。<br>定期試験（100%）<br>この割合で成績評価を行う。 |
| 受講生へのメッセージ | 配布したプリント類はファイリングしておいて下さい。<br>講義やデモンストレーション、指示した内容については必ずノートやメモを取るり。いつでも見直せる様にしておいて下さい。<br>実習がメインとなる授業ため忘れ物、遅刻欠席は出来るだけせず、苦手部分などの練習や復習をして授業に臨んでほしい。 |

【使用教科書・教材・参考書】

参考書：配布プリント
教材：手持ちのメイク道具一式、鏡、メイク落とし、綿棒、ダッカール

# 2025年度　授業概要

学　科：　薬業科

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 科目名（英） | 調剤報酬特別講座<br>Dispensing Fee Billing Special Course | 必修選択 | 必修 | 年次 | 2 | 担当教員 | 岡田　一哉 |
| | | | | | | 実務経験 | ○ |
| | | 授業形態 | 講義 | 総時間（単位） | 30 | 開講区分 | 前期 |
| コース | 調剤薬局コース | | | | 2 | 曜日・時限 | 月曜　4時限目 |

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

国の政策でもある医業分業に伴い、保険調剤薬局での調剤報酬について学習します。調剤報酬の正確な算定やレセプト作成には、カルテを正確に読む力が求められるため、用語、薬局での業務内容、薬および療法の種類や効果、処方箋を取り扱ううえでのルールや、報酬を算定するうえでのルール、調剤報酬を構成する管理料や加算などについて勉強し、実技としてレセプトの作成に取り組み、総合的な技術のレベルアップを図ります。

実務経験：東京都及び福岡県内の医療機関にて、スタッフ及び事務長として勤務してきており、その知識と経験を通じて教育を行う。

【到達目標】

①保険調剤薬局の仕事、窓口業務に必須となる保険制度のしくみが理解できる。
②算定におけるルールや関連基礎知識が習得できる。
③レセプト（診療報酬明細書）作成技術が習得できる。
④「現場が求める人材」としての資質や接遇、守秘義務などについて理解できる。
⑤小テストや課題提出により、算定知識やレセプト作成技術を向上させながら、「検定試験2級（7月実施予定）」取得を目指す。

| 授業計画・内容 | |
|---|---|
| 1回目 | （目標①～③）調剤報酬のしくみ、薬剤関連法規、保険薬局・薬剤師、調剤録などについて、説明とレセプト作成を通して理解ができる。 |
| 2回目 | （目標②③⑤）処方箋を取り扱う上での注意事項、後発医薬品、薬の作用などについて、説明とレセプト作成を通して理解ができる。 |
| 3回目 | （目標②③⑤）薬剤料、調剤技術基本料、介護保険（居宅療養管理指導）について、説明とレセプト作成を通して理解ができる。 |
| 4回目 | （目標②③⑤）薬学管理料、特定保険医療材料料、その他加算、レセプト記載上の注意事項について、説明とレセプト作成を通して理解ができる。 |
| 5回目 | （目標②③⑤）レセプト作成を通して、麻薬等の取扱について理解ができる。 |
| 6回目 | （目標②③⑤）レセプト作成を通して、計量混合加算について理解ができる。 |
| 7回目 | （目標②③⑤）レセプト作成を通して、自家製剤加算、嚥下困難者加算について理解ができる。 |
| 8回目 | （目標②③⑤）レセプト作成を通して、レセプト・処方箋が複数枚にわたる問題について理解ができる。 |
| 9回目 | （目標②③⑤）レセプト作成を通して、時間外・休日・深夜加算、夜間・早朝等加算について理解ができる。 |
| 10回目 | （目標②③⑤）レセプト作成を通して、一包化についての加算の取扱について理解ができる。 |
| 11回目 | （目標①～⑤）検定試験2級対策に取り組む。 |
| 12回目 | （目標①～⑤）検定試験2級対策に取り組む。 |
| 13回目 | （目標①～⑤）検定試験2級対策に取り組む。 |
| 14回目 | （目標①～⑤）検定試験2級対策に取り組む。 |
| 15回目 | （目標①～⑤）検定試験2級対策に取り組む。 |
| 準備学習時間外学習 | ●宿題を適宜指示します。<br>●配布した資料、解いた問題などは、各自で工夫をして整理の事。整理状況やまとめ方を、随時確認、評価の対象とします。クリアーファイルに挟んだだけの物は、整理したとは見なさないので、注意のこと。 |
| 評価方法 | ●理解度の確認のための小テストを随時実施する。（50%）<br>●出席と授業態度（50%）<br>総合で成績評価を行う。 |
| 受講生へのメッセージ | 努力は報われるものであることを肝に銘じて、自分で問題を解き、整理をし、わからない事は放置せずに質問などではっきりカタを付ける事を習慣づけてください。 |

【使用教科書・教材・参考書】

調剤報酬請求事務専門士公式テキスト
検定試験対策としての過去の問題や類似問題

# 2025年度　授業概要

学　科　：薬業科

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 科目名（英） | 臨床医学Ⅱ<br>Clinical Medicine Ⅱ | 必修選択 | 必修 | 年次 | 2 | 担当教員 | 吉川　美代 |
| | | | | | | 実務経験 | ○ |
| | | 授業形態 | 講義 | 総時間（単位） | 30<br>2 | 開講区分 | 前期 |
| コース | 調剤薬局コース | | | | | 曜日・時限 | 金曜日・2限目 |

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

医療関連法規・医療保険制度・基礎医学を学び理解し、診療報酬請求事務の仕事に活かす。、また、受付・会計・カルテ管理・オペレータ業務・医療費の請求など多岐にわたる実務に対応できる能力とスキルを習得し、即戦力として活躍できる実力を身につけ実践する。

※実務経験:2011年10月～2018年9月まで、整形外科クリニックを始め4つの医療機関に勤務し窓口業務・総括指導・レセプト作成・レセプト点検・受付指導等に携わる。

【到達目標】

・医療機関のスタッフとして活躍の場を拡げ、基礎医学の知識を学び資格取得する

＜具体的目標＞
・診療録の記載内容がわかる
・医学用語などの専門知識がわかる
・状況を把握して的確な対応を取るスキルを体得する
・医療秘書技能検定3級資格を取得する

| 授業計画・内容 | |
|---|---|
| 1回目 | 人体の解剖・生理の基礎が説明できる |
| 2回目 | 人体の名称・位置関係・機能が説明できる |
| 3回目 | 臓器の名称・位置関係・機能が説明できる |
| 4回目 | 医療用語の漢字・英単語を理解し正しく書くことができる |
| 5回目 | 一般的な疾病の原因・症状・診療について説明できる |
| 6回目 | 検査項目と傷病を関連付けて説明できる |
| 7回目 | 画像診断と臓器を関連付けて説明できる |
| 8回目 | 検査と診断の流れが説明できる |
| 9回目 | 医学略語を正しく理解し説明できる |
| 10回目 | 診療録の記載内容を理解し説明できる |
| 11回目 | 検定対策（毎回学習した内容を練習問題で理解し把握する） |
| 12回目 | 検定対策（毎回学習した内容を練習問題で理解し把握する） |
| 13回目 | 検定対策（毎回学習した内容を練習問題で理解し把握する） |
| 14回目 | 定期試験試験 |
| 15回目 | 定期試験のフィードバック、苦手問題を理解し把握する |
| 準備学習時間外学習 | 毎回講義の復習、課題（宿題）が必要です。 |
| 評価方法 | 定期試験100%で成績評価します。 |
| 受講生へのメッセージ | 魅力:医療知識が身につきます。日本全国勤務地が選べます。そして、勤務経験あれば再就職しやすいです。<br><br>授業計画:この授業で身につける能力を毎回講義します。体調管理に十分配慮してください。 |

【使用教科書・教材・参考書】

# 2025年度　授業概要

学　科　：薬業科2年生

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 科目名（英） | 医療秘書技能検定（演習）<br>Medical Secretary Skills | 必修選択 | 必選 | 年次 | 2 | 担当教員 | 吉川　美代 |
| | | | | | | 実務経験 | ○ |
| | | 授業形態 | 演習 | 総時間（単位） | 30<br>2 | 開講区分 | 前期 |
| コース | 調剤薬局コース | | | | | 曜日・時限 | 金曜日 3・4限目 |

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

医療関連法規・医療保険制度を学び理解し、診療報酬請求事務の仕事に活かし、また、受付・会計・カルテ管理・オペレータ業務・医療費の請求など多岐にわたる実務に対応できる能力とスキルを習得し、即戦力として活躍できる実力を身につけ実践する。

※実務経験：2011年10月～2016年9月まで、整形外科クリニックを始め4つの医療機関に勤務し窓口業務・総括指導・レセプト作成・レセプト点検・受付指導等に携わる。

【到達目標】

＜具体的目標＞
・法規特有の用語法を理解できる
・法規、制度を理解する
・目条文を正しく理解する
・医療秘書技能検定3級資格を取得する

| 授業計画・内容 | |
|---|---|
| 1回目 | 法を学ぶための基礎知識を理解できる |
| 2回目 | 医療関連法規に関する基本用語を理解できる |
| 3回目 | 社会保障の枠組みを理解できる |
| 4回目 | 医療法について理解できる |
| 5回目 | 健康保険法について理解できる |
| 6回目 | 国民健康保険法について理解できる |
| 7回目 | 後期高齢者医療制度について理解できる |
| 8回目 | 公費負担医療制度について理解できる |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| 準備学習<br>時間外学習 | 毎回講義の復習、課題（宿題）が必要です。 |
| 評価方法 | 定期試験100%で成績評価します。 |
| 受講生へのメッセージ | 魅力：医療知識が身につきます。日本全国勤務地が選べます。そして、勤務経験あれば再就職しやすいです。<br>授業計画：この授業で身につける能力を毎回講義します。体調管理に十分配慮してください。 |

【使用教科書・教材・参考書】

教科書：診療点数早見表　医学通信社

# 2025年度 授業概要

学 科 ： 薬業科

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 科目名（英） | 診療報酬請求事務Ⅲ<br>Medical Processor BasicⅢ | 必修選択 | 必修 | 年次 | 2 | 担当教員 | 岡田 一哉 |
| | | | | | | 実務経験 | ○ |
| | | 授業形態 | 講義 | 総時間（単位） | 30 | 開講区分 | 前期 |
| コース | 調剤薬局コース | | | | 2 | 曜日・時限 | 月曜 2時限目 |

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

医療費の正確な算定やレセプト作成には、カルテを正確に読む力が求められるため、医学用語、医学、検査、薬理学等々、関連科目における知識の習得が必須です。これらのすべての科目が、「医療事務」に通じていることを認識して、総合的な技術のレベルアップを図ります。

実務経験：東京都及び福岡県内の医療機関にて、スタッフ及び事務長として勤務してきており、その知識と経験を通じて教育を行う。

【到達目標】

①医療機関の組織や医事課の仕事、窓口業務に必須となる医療保険制度のしくみが理解できる。
②外来および入院医療費算定における診療報酬点数表の見方や関連基礎知識が習得できる。
③外来および入院医療費算定ルール並びにレセプト（診療報酬明細書）作成技術が習得できる。
④「医療現場が求める人材」としての資質や守秘義務などについて理解できる。
⑤小テストや課題提出により、算定知識やレセプト作成技術を向上させながら、「医療秘書技能検定3級（11月実施）」取得を目指す。

| 授業計画・内容 | |
|---|---|
| 1回目 | （目標②③⑤）検定試験の概要についての説明より、努力目標を定める。手術（麻酔）について、説明とレセプト作成を通して理解ができる。 |
| 2回目 | （目標②③⑤）検査について、説明とレセプト作成を通して理解ができる。 |
| 3回目 | （目標②③⑤）検査について、説明とレセプト作成を通して理解ができる。 |
| 4回目 | （目標②③⑤）検査について、説明とレセプト作成を通して理解ができる。 |
| 5回目 | （目標②③⑤）画像診断について、説明とレセプト作成を通して理解ができる。 |
| 6回目 | （目標②③⑤）画像診断について、説明とレセプト作成を通して理解ができる。 |
| 7回目 | （目標②③⑤）画像診断について、説明とレセプト作成を通して理解ができる。 |
| 8回目 | （目標①～⑤）医療秘書技能検定3級検定（医療事務）対策に取り組む。 |
| 9回目 | （目標②③⑤）入院について、説明とレセプト作成を通して理解ができる。 |
| 10回目 | （目標②③⑤）入院について、説明とレセプト作成を通して理解ができる。 |
| 11回目 | （目標②③⑤）入院について、説明とレセプト作成を通して理解ができる。 |
| 12回目 | （目標②③⑤）自賠責、労災について、説明と簡単なレセプト作成を通して理解ができる。 |
| 13回目 | （目標①～⑤）まとめの練習問題を通して、総合的な理解ができる。 |
| 14回目 | （目標①～⑤）前期定期試験 |
| 15回目 | （目標①～⑤）定期試験の解説、まとめ |
| 準備学習時間外学習 | ●宿題を適宜指示します。<br>●配布した資料、解いた問題などは、各自で工夫をして整理の事。整理状況やまとめ方を、随時確認、評価の対象とします。クリアーファイルに挟んだだけの物は、整理したとは見なさないので、注意のこと。 |
| 評価方法 | ●理解度の確認のための小テストを随時実施する。（10%）<br>●定期試験（学科及び実技）（80%）<br>●出席と授業態度（10%）<br>総合で成績評価を行う。 |
| 受講生へのメッセージ | 努力は報われるものであることを肝に銘じて、自分で問題を解き、整理をし、わからない事は放置せずに質問などではっきりカタを付ける事を習慣づけてください。 |

【使用教科書・教材・参考書】

診療点数早見表、レセプト作成テキストブック
保険診療基本法令テキストブック
医療秘書技能検定実問題集

# 2025年度　授業概要

学　科：　薬業科

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 科目名（英） | 診療報酬請求事務Ⅳ<br>Medical Processor BasicⅣ | 必修選択 | 必修 | 年次 | 2 | 担当教員 | 岡田　一哉 |
| | | | | | | 実務経験 | ○ |
| | | 授業形態 | 講義 | 総時間（単位） | 30<br>2 | 開講区分 | 前期 |
| コース | 調剤薬局コース | | | | | 曜日・時限 | 月曜　3時限目 |

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

医療費の正確な算定やレセプト作成には、カルテを正確に読む力が求められるため、医学用語、医学、検査、薬理学等々、関連科目における知識の習得が必須です。これらのすべての科目が、「医療事務」に通じていることを認識して、総合的な技術のレベルアップを図ります。

実務経験：東京都及び福岡県内の医療機関にて、スタッフ及び事務長として勤務してきており、その知識と経験を通じて教育を行う。

【到達目標】

①医療機関の組織や医事課の仕事、窓口業務に必須となる医療保険制度のしくみが理解できる。
②外来および入院医療費算定における診療報酬点数表の見方や関連基礎知識が習得できる。
③外来および入院医療費算定ルール並びにレセプト（診療報酬明細書）作成技術が習得できる。
④「医療現場が求める人材」としての資質や守秘義務などについて理解できる。
⑤小テストや課題提出により、算定知識やレセプト作成技術を向上させながら、「医療秘書技能検定3級（11月実施）」取得を目指す。

| 授業計画・内容 | |
|---|---|
| 1回目 | （目標②③⑤）手術（麻酔・輸血を含む）について、説明とレセプト作成を通して理解ができる。 |
| 2回目 | （目標②③⑤）検査について、説明とレセプト作成を通して理解ができる。 |
| 3回目 | （目標②③⑤）検査について、説明とレセプト作成を通して理解ができる。 |
| 4回目 | （目標②③⑤）画像診断について、説明とレセプト作成を通して理解ができる。 |
| 5回目 | （目標②③⑤）画像診断について、説明とレセプト作成を通して理解ができる。 |
| 6回目 | （目標②③⑤）画像診断について、説明とレセプト作成を通して理解ができる。 |
| 7回目 | （目標②③⑤）リハビリテーション・精神科専門療法・放射線治療について、説明とレセプト作成を通して理解ができる。 |
| 8回目 | （目標②③⑤）リハビリテーション・精神科専門療法・放射線治療について、説明とレセプト作成を通して理解ができる。 |
| 9回目 | （目標②③⑤）在宅医療について、説明とレセプト作成を通して理解ができる。 |
| 10回目 | （目標①～⑤）医療秘書技能検定3級検定（医療事務）対策に取り組む。 |
| 11回目 | （目標①～⑤）医療秘書技能検定3級検定（医療事務）対策に取り組む。 |
| 12回目 | （目標①～⑤）医療秘書技能検定3級検定（医療事務）対策に取り組む。 |
| 13回目 | （目標①～⑤）医療秘書技能検定3級検定（医療事務）対策に取り組む。 |
| 14回目 | （目標①～⑤）前期定期試験 |
| 15回目 | （目標①～⑤）定期試験の解説、まとめ |
| 準備学習時間外学習 | ●宿題を適宜指示します。<br>●配布した資料、解いた問題などは、各自で工夫をして整理の事。整理状況やまとめ方を、随時確認、評価の対象とします。クリアーファイルに挟んだだけの物は、整理したとは見なさないので、注意のこと。 |
| 評価方法 | ●理解度の確認のための小テストを随時実施する。（10%）<br>●定期試験（学科及び実技）（80%）<br>●出席と授業態度（10%）<br>総合で成績評価を行う。 |
| 受講生へのメッセージ | 努力は報われるものであることを肝に銘じて、自分で問題を解き、整理をし、わからない事は放置せずに質問などではっきりカタを付ける事を習慣づけてください。 |

【使用教科書・教材・参考書】

診療点数早見表、レセプト作成テキストブック
保険診療基本法令テキストブック
医療秘書技能検定質問問題集

# 2025年度 授業概要

学 科 ： 薬業科

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 科目名（英） | 実習指導Ⅰ<br>Clinical Guidance Ⅰ | 必修選択 | 必修 | 年次 | 1 | 担当教員 | 有村 貴利 |
| | | | | | | 実務経験 | |
| | | 授業形態 | 講義 | 総時間（単位） | 30<br>2 | 開講区分 | 前期 |
| コース | 共通 | | | | | 曜日・時限 | 水曜・4限 |

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）
ドラッグストアの実務実習を成功させるために、面接指導をはじめ、実習中の心構えと身だしなみを身に付け、実習を成功させることが出来る。

【到達目標】
実習面接を成功させ、ドラッグストアでの留意点や技術向上のための知識・技術を修得する。

| 授業計画・内容 | |
|---|---|
| 1回目 | オリエンテーション。ドラッグストアの実習について説明ができる。 |
| 2回目 | ドラッグストア業界について、現場の働き方・役割を説明することができる。 |
| 3回目 | 実習面接のための履歴書作成することができる① |
| 4回目 | 実習面接のための履歴書作成することができる② |
| 5回目 | 実習面接のための履歴書作成することができる③ |
| 6回目 | 面接対策を行い、面接（実技）練習に臨むことができる。① |
| 7回目 | 面接対策を行い、面接（実技）練習に臨むことができる。② |
| 8回目 | 面接対策を行い、面接（実技）練習に臨むことができる。③ |
| 9回目 | ドラッグストア実習の目標設定を立てることができる。 |
| 10回目 | ドラッグストアの企業研究① ～登録販売者の役割を説明できる～ |
| 11回目 | ドラッグストアの企業研究② ～各企業の特徴を説明できる～ |
| 12回目 | グループワーク ～実習先の情報共有をすることができる～① |
| 13回目 | グループワーク ～実習先の情報共有をすることができる～② |
| 14回目 | レポート制作① |
| 15回目 | レポート制作② |
| 準備学習時間外学習 | 実際にドラッグストアへ足を運び、お店の雰囲気や商品・スタッフの働き方をお客様目線またはスタッフ目線で考える。<br>各企業のドラッグストアに行き、店舗比較をする。 |
| 評価方法 | レポート（100%） |
| 受講生へのメッセージ | この授業では、ドラッグストア実習について必要な課題に取り組みます。現場でスムーズに実習を始められるように実習生としての心構えなどの姿勢を学び、卒業後は即戦力として活躍するために授業を進行していきます。日頃から各企業のドラッグストアへ足を運び、将来の姿をイメージしていきましょう。 |

【使用教科書・教材・参考書】

配布資料を使用

# 2025年度　授業概要

学　科　：　薬業科

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 科目名（英） | SPI<br>Synthetic Personality Inventory | 必修選択 | 必修 | 年次 | 1 | 担当教員 | 森田　道稔 |
| | | | | | | 実務経験 | |
| | | 授業形態 | 講義 | 総時間（単位） | 30 | 開講区分 | 後期 |
| コース | 共通 | | | | 2 | 曜日・時限 | |

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

就職試験を成功させるために対策学習を学び、就職活動に対応できる能力を身につけることができるようになる。
授業ではまずSPIの非言語問題、言語問題の解法説明を行います。
解法説明後、実際に非言語問題、言語問題を解いていきます。
本授業終了後には、SPIの非言語問題、言語問題を早く正確に解けるようになる。

【到達目標】

一般的な就職試験で出題される筆記試験（SPI、適正検査等）の問題を早く正確に解くことができる。

| 授業計画・内容 | |
|---|---|
| 1回目 | 適性検査問題 |
| 2回目 | SPI3能力適性検査【非言語能力（計算①）】【言語能力（二語の関係・語句の意味①）】 |
| 3回目 | SPI3能力適性検査【非言語能力（計算②）】【言語能力（二語の関係・語句の意味②）】 |
| 4回目 | SPI3能力適性検査【非言語能力（計算③）】【言語能力（二語の関係・語句の意味③）】 |
| 5回目 | SPI3能力適性検査【非言語能力（計算④）】【言語能力（二語の関係・語句の意味④）】 |
| 6回目 | SPI3能力適性検査【非言語能力（計算⑤）】【言語能力（二語の関係・語句の意味⑤）】 |
| 7回目 | SPI3能力適性検査【非言語能力（資料の読み取り①）】【言語能力（文章の並べ替え・長文読解①）】 |
| 8回目 | SPI3能力適性検査【非言語能力（資料の読み取り②）】【言語能力（文章の並べ替え・長文読解②）】 |
| 9回目 | SPI3能力適性検査【非言語能力（資料の読み取り③）】【言語能力（文章の並べ替え・長文読解③）】 |
| 10回目 | SPI3能力適性検査【非言語能力（集合・順列・組合せ・確率①）】【言語能力（まとめ問題①）】 |
| 11回目 | SPI3能力適性検査【非言語能力（集合・順列・組合せ・確率②）】【言語能力（まとめ問題②）】 |
| 12回目 | SPI3能力適性検査【非言語能力（集合・順列・組合せ・確率③）】【言語能力（まとめ問題③）】 |
| 13回目 | 模擬問題【非言語能力問題】【言語能力問題】 |
| 14回目 | 前期試験 |
| 15回目 | 総評 |
| 準備学習時間外学習 | 授業で解いた非言語・言語問題の解き直しを行って下さい。 |
| 評価方法 | 定期テスト（100%） |
| 受講生へのメッセージ | 就職試験では必ずと言っていいほどSPI等の適正試験があります。それもほとんど1次試験で実施されます。皆さんが2次試験、3次試験に進むためには、まずは1次試験を突破しないといけません。ぜひ、2次試験以降に進めるようにSPI等の適性試験問題を素早く、正確に解けるように何度も問題を解いて下さい。 |

【使用教科書・教材・参考書】

SPI3演習プリント

# 2025年度　授業概要

学　科　：　薬業科

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 科目名（英） | 情報処理Ⅰ<br>Data Processing Ⅰ | 必修選択 | 必修 | 年次 | 1 | 担当教員 | 森田　道稔 |
| | | | | | | 実務経験 | |
| | | 授業形態 | 演習 | 総時間（単位） | 30<br>2 | 開講区分 | 後期 |
| コース | 共通 | | | | | 曜日・時限 | |

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

Windowsの基本操作の習得とWordアプリケーションソフトでのビジネス文書・地図などを作成する機能を習得する。
PowerPointアプリケーションソフト基本操作を習得する。
本授業終了後には各機能を操作出来るようになる。
毎回文書の入力練習を行う。（10分計測）

【到達目標】

Wordテキスト各章の内容を十分に理解し、Wordアプリケーションソフト操作が出来るようになる。
PowerPointアプリケーションソフト基本操作が出来るようになる。
各章の復習問題が作成出来るようになる。

| | 授業計画・内容 |
|---|---|
| 1回目 | Windowsの基礎知識　入力練習（10分計測） |
| 2回目 | ITリテラシー　入力練習（10分計測） |
| 3回目 | Word（Wordの基本操作、文章の編集）　入力練習（10分計測） |
| 4回目 | Word（文章の編集、表現力のある文書作成）　入力練習（10分計測） |
| 5回目 | Word（表現力のある文書作成、復習問題作成①）　入力練習（10分計測） |
| 6回目 | Word（図形の応用）　入力練習（10分計測） |
| 7回目 | Word（復習問題②）　入力練習（10分計測） |
| 8回目 | Word（表の作成、復習問題③）　入力練習（10分計測） |
| 9回目 | Word（Wordの便利な機能、復習問題④）　入力練習（10分計測） |
| 10回目 | Word（文書をサポートする機能、復習問題⑤）　入力練習（10分計測） |
| 11回目 | PowerPoint　基本操作① |
| 12回目 | PowerPoint　基本操作② |
| 13回目 | PowerPoint　基本操作③ |
| 14回目 | 後期試験 |
| 15回目 | 総評 |
| 準備学習<br>時間外学習 | マイクロソフトオフィスのWord、PowerPointのアプリケーションソフトを使用するので、まずはアプリケーションソフトに慣れる必要があります。<br>パソコンを使用できる時間はWord、PowerPointのアプリケーションソフトを使って操作練習を行って下さい。 |
| 評価方法 | 定期テスト（100%） |
| 受講生へのメッセージ | 講義はPC教室でWord、PowerPointアプリケーションソフトを使用する実習となります。<br>Word、PowerPointアプリケーションソフトを使いこなせるようになりましょう。 |

【使用教科書・教材・参考書】

Word COMPUTER BASIC for windows、PowerPoint COMPUTER BASIC for windows

# 2025年度　授業概要

学　科　：　薬業科

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 科目名（英） | 実習指導Ⅲ<br>Clinical GuidanceⅢ | 必修選択 | 必修 | 年次 | 1 | 担当教員 | 有村　貴利 |
| | | | | | | 実務経験 | |
| | | 授業形態 | 講義 | 総時間（単位） | 30<br>2 | 開講区分 | 後期 |
| コース | 共通 | | | | | 曜日・時限 | |

【授業の学習内容】
ドラッグストアの実務実習を成功させるために、実習の心構え、マナー、身だしなみを身に付け、実習を成功させることができる。

【到達目標】
ドラッグストアでの留意点や技術向上のための知識・技術を修得する。

| 授業計画・内容 | |
|---|---|
| 1回目 | オリエンテーション。ドラッグストアの実習について説明ができる。 |
| 2回目 | ドラッグストア業界について、現場の働き方・役割を説明することができる。① |
| 3回目 | ドラッグストア業界について、現場の働き方・役割を説明することができる。② |
| 4回目 | ドラッグストア実習の目的を改めて見直し、目標設定を行うことができる。 |
| 5回目 | グループワーク　～実習先の情報共有をすることができる～① |
| 6回目 | グループワーク　～実習先の情報共有をすることができる～② |
| 7回目 | グループワーク　～実習先での自身の課題に気付くことができる～① |
| 8回目 | グループワーク　～実習先での自身の課題に気付くことができる～② |
| 9回目 | ドラッグストアの企業研究① |
| 10回目 | ドラッグストアの企業研究② |
| 11回目 | ドラッグストアの企業研究③ |
| 12回目 | ドラッグストアの企業研究④ |
| 13回目 | ドラッグストア実習の目標設定を改めて見直し、目標の再設定をすることができる。 |
| 14回目 | レポート制作① |
| 15回目 | レポート制作② |
| 準備学習<br>時間外学習 | 実習先以外のドラッグストアへ足を運び、お店の雰囲気や商品・スタッフの働き方をお客様目線またはスタッフ目線で考える。また、店舗比較をする。 |
| 評価方法 | レポート（100%） |
| 受講生への<br>メッセージ | この授業では、ドラッグストア実習について必要な課題に取り組みます。現場でスムーズに実習を始められるように実習生としての心構えなどの姿勢を学び、卒業後は即戦力として活躍するために授業を進行していきます。日頃から各企業のドラッグストアへ足を運び、将来の姿をイメージしていきましょう。 |

【使用教科書・教材・参考書】

配布資料を使用

# 2025年度　授業概要

学　科　：　薬業科

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 科目名（英） | 簿記・販売<br>Bookkeeping/Seies | 必修選択 | 必修 | 年次 | 1 | 担当教員 | 森田　道稔 |
| | | | | | | 実務経験 | |
| | | 授業形態 | 講義 | 総時間（単位） | 30<br>2 | 開講区分 | 後期 |
| コース | 医薬品登録販売者コース | | | | | 曜日・時限 | |

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

企業における経理事務に必要な会計知識の習得と経営分析ができるようになる。
マーケティングの基本的な考え方などの知識や技術を身に付け、販売担当者として接客や売り場づくりができるようになる。
ドラッグストア等で必要な知識を習得し、店舗運営や販売の仕事に役立てることができるようになる。（ストアオペレーション、マーケティング、販売・経営管理）

【到達目標】

マーケティングの基本的な考え方などの知識や技術を学習し、ドラッグストア等の店舗運営に役立てる。
ドラッグストア等での販売担当者として必要な知識を習得する。

| | 授業計画・内容 |
|---|---|
| 1回目 | ストアオペレーション（基礎編）① ストアオペレーションの基本 |
| 2回目 | ストアオペレーション（基礎編）② 包装技術の基本 |
| 3回目 | ストアオペレーション（基礎編）③ ディスプレイの基本 |
| 4回目 | マーケティング（基礎編）① 小売業のマーケティングの基本、顧客満足経営の基本 |
| 5回目 | マーケティング（基礎編）② 顧客満足経営の基本、商圏の設定と出店の基本 |
| 6回目 | マーケティング（基礎編）③ 商圏の設定と出店の基本、リージョナルプロモーション（売場拠点の狭域型販売促進）の基本 |
| 7回目 | マーケティング（基礎編）④ リージョナルプロモーション（売場拠点の狭域型販売促進）の基本、顧客志向型売場づくりの基本 |
| 8回目 | 販売・経営管理（基礎編）① 販売員の役割の基本、販売員の法令知識 |
| 9回目 | 販売・経営管理（基礎編）② 販売員の法令知識、小売業の計数管理 |
| 10回目 | 販売・経営管理（基礎編）③ 小売業の計数管理、店舗管理の基本 |
| 11回目 | ストアオペレーション（基礎編）、マーケティング（基礎編）、販売・経営管理（基礎編） 総まとめ |
| 12回目 | ストアオペレーション（応用編）① 店舗運営サイクルの実践と管理 |
| 13回目 | ストアオペレーション（応用編）② 戦略的ディスプレイの実施方法 |
| 14回目 | 前期試験 |
| 15回目 | 総評 |
| 準備学習時間外学習 | 授業の中で演習問題を解いていきます。一度解いた演習問題を何度も解き直して下さい。 |
| 評価方法 | 定期テスト（100%） |
| 受講生へのメッセージ | 授業ではハンドブックの内容の講義を行い、随時、演習問題を解いていきます。<br>の復習と演習問題の解き直しを行って下さい。　ハンドブック |

【使用教科書・教材・参考書】

販売士ハンドブック＜基礎編＞　下巻・販売士ハンドブック＜応用編＞　下巻（日本商工会議所・全国商工会連合会）

# 2025年度　授業概要

学　科　：　薬業科

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 科目名（英） | 流通・小売業 | 必修選択 | 必修 | 年次 | 1 | 担当教員 | 森田　道稔 |
| | Retail Business | | | | | 実務経験 | |
| | | 授業形態 | 講義 | 総時間（単位） | 30 | 開講区分 | 後期 |
| コース | 医薬品登録販売者コース | | | | 2 | 曜日・時限 | |

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

生産者や卸売業者仕入れた商品を、消費者に販売するための仕組みや流通について説明できるようになる。
マーケティングの基本的な考え方などの知識や技術を身に付け、販売担当者として顧客や売り場づくりができるようになる。
ドラッグストア等で必要な知識を習得し、店舗運営や販売の仕事に役立てることができるようになる。（小売業の類型、マーチャンダイジング）

【到達目標】

マーケティングの基本的な考え方などの知識や技術を学習し、ドラッグストア等の店舗運営に役立てる。
ドラッグストア等での販売担当者として必要な知識を習得する。

| 授業計画・内容 | |
|---|---|
| 1回目 | 小売業の類型（基礎編）① 流通における小売業の基本、組織形態別小売業の基本 |
| 2回目 | 小売業の類型（基礎編）② 組織形態別小売業の基本、店舗形態別小売業の基本的役割 |
| 3回目 | 小売業の類型（基礎編）③ 店舗形態別小売業の基本的役割、商業集積の基本 |
| 4回目 | 小売業の類型（基礎編）④ 小売業の類型まとめ |
| 5回目 | マーチャンダイジング（基礎編）① 商品の基本、マーチャンダイジングの基本 |
| 6回目 | マーチャンダイジング（基礎編）② マーチャンダイジングの基本、商品計画の基本 |
| 7回目 | マーチャンダイジング（基礎編）③ 販売計画および仕入計画の基本、価格設定の基本 |
| 8回目 | マーチャンダイジング（基礎編）④ 価格設定の基本、在庫管理の基本 |
| 9回目 | マーチャンダイジング（基礎編）⑤ 在庫管理の基本、販売管理の基本 |
| 10回目 | マーチャンダイジング（基礎編）⑥ マーチャンダイジングまとめ |
| 11回目 | 小売業の類型（基礎編）、マーチャンダイジング（基礎編）総まとめ |
| 12回目 | 小売業の類型（応用編）① 流通と小売業の役割 |
| 13回目 | 小売業の類型（応用編）② 組織形態別小売業の運営特性 |
| 14回目 | 期期試験 |
| 15回目 | 総評 |
| 準備学習時間外学習 | 授業の中で演習問題を解いていきます。一度解いた演習問題を何度も解き直して下さい。 |
| 評価方法 | 定期テスト（100%） |
| 受講生へのメッセージ | 授業ではハンドブックの内容の講義を行い、随時、演習問題を解いていきます。ハンドブックの復習と演習問題の解き直しを行って下さい。 |

【使用教科書・教材・参考書】

販売士ハンドブック〈基礎編〉 上巻・販売士ハンドブック〈応用編〉 上巻（日本商工会議所・全国商工会連合会）

# 2025年度 授業概要

学 科 ： 薬業科

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 科目名（英） | 卒業研究Ⅱ<br>Graduation Study Ⅱ | 必修選択 | 必修 | 年次 | 2 | 担当教員 | 倉本 寿子/姪原 裕子 |
| | | | | | | 実務経験 | |
| | | 授業形態 | 演習 | 総時間（単位） | 30 | 開講区分 | 後期 |
| コース | 共通 | | | | 2 | 曜日・時限 | |

【授業の学習内容】

産学連携を行い、企業の課題に対してチームで研究に取り組む。グループワークを積極的に行い、レポート制作、発表資料の制作など課題に合わせて柔軟な対応力を養い、チームで研究を行うことでチームワーク力と主体性、またプレゼンテーション力を身に付けることができる。

【到達目標】

チームワーク力と主体性、またプレゼンテーション力を身に付けることができる。
また学習したことや体得したことを個人またはグループでテーマを設定し発表をし、プレゼンテーション力を身に付けることができる。

| 授業計画・内容 | |
|---|---|
| 1回目 | オリエンテーション。研究の進捗状況を確認し、それを説明できる。 |
| 2回目 | 企業研究を行う(グループワーク)、情報共有をすることができる。① |
| 3回目 | 企業研究を行う(グループワーク)、情報共有をすることができる。② |
| 4回目 | 企業課題の取り組み① |
| 5回目 | 企業課題の取り組み② |
| 6回目 | 企業課題の取り組み③ |
| 7回目 | 企業研究を行う(グループワーク)、情報共有をすることができる。① |
| 8回目 | グループワーク① |
| 9回目 | 企業研究を行う(グループワーク)、情報共有をすることができる。② |
| 10回目 | グループワーク② |
| 11回目 | 各グループで問題提示をする。その解決方法を考えることができる。① |
| 12回目 | 企業課題の取り組み① |
| 13回目 | 企業課題の取り組み② |
| 14回目 | 企業課題の取り組み③ |
| 15回目 | 企業課題の取り組み④ |
| 準備学習時間外学習 | レポート・資料制作にはパソコンを使用するため、word、excel、powerpointの使い方も覚えておくと効率よく作業を進めることができる。 |
| 評価方法 | 研究課題のレポートと資料各種(100%) |
| 受講生へのメッセージ | 前期・後期を通して、卒業研究は進めていきます。医療業界をはじめ、社会情勢も知っていくことで研究に幅広く対応できます。授業・実習・様々な情報を活かしながら卒業研究に取り組んでいきましょう。 |

【使用教科書・教材・参考書】

随時、資料を配布。

# 2025年度 授業概要

学 科 ： 薬業科

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 科目名（英） | 卒業研究Ⅲ<br>Graduation StudyⅢ | 必修選択 | 必修 | 年次 | 2 | 担当教員 | 倉本 寿子/姪原 裕子 |
| | | | | | | 実務経験 | |
| | | 授業形態 | 演習 | 総時間（単位） | 30 | 開講区分 | 後期 |
| コース | 共通 | | | | 2 | 曜日・時限 | |

【授業の学習内容】

産学連携を行い、企業の課題に対してチームで研究に取り組む。グループワークを積極的に行い、レポート制作、発表資料の制作など課題に合わせて柔軟な対応力を養い、チームで研究を行うことでチームワーク力と主体性、またプレゼンテーション力を身に付けることができる。

【到達目標】

チームワーク力と主体性、またプレゼンテーション力を身に付けることができる。
また学習したことや体得したことを個人またはグループでテーマを設定し発表をし、プレゼンテーション力を身に付けることができる。

| 授業計画・内容 | |
|---|---|
| 1回目 | オリエンテーション。研究の進捗状況を確認し、それを説明できる。 |
| 2回目 | 企業研究を行う(グループワーク)、情報共有をすることができる。① |
| 3回目 | 企業研究を行う(グループワーク)、情報共有をすることができる。② |
| 4回目 | 企業課題の取り組み① |
| 5回目 | 企業課題の取り組み② |
| 6回目 | 企業課題の取り組み③ |
| 7回目 | 企業研究を行う(グループワーク)、情報共有をすることができる。① |
| 8回目 | グループワーク① |
| 9回目 | 企業研究を行う(グループワーク)、情報共有をすることができる。② |
| 10回目 | グループワーク② |
| 11回目 | 各グル ープで問題提示をする。その解決方法を考えることができる。① |
| 12回目 | 企業課題の取り組み① |
| 13回目 | 企業課題の取り組み② |
| 14回目 | 企業課題の取り組み③ |
| 15回目 | 企業課題の取り組み④ |
| 準備学習<br>時間外学習 | レポート・資料制作にはパソコンを使用するため、word、excel、powerpointの使い方も覚えておくと効率よく作業を進めることができる。 |
| 評価方法 | 研究課題のレポートと資料各種(100%) |
| 受講生へのメッセージ | 前期・後期を通して、卒業研究は進めていきます。医療業界をはじめ、社会情勢も知っていくことで研究に幅広く対応できます。授業・実習・様々な情報を活かしながら卒業研究に取り組んでいきましょう。 |

【使用教科書・教材・参考書】

随時、資料を配布。

# 2025年度　授業概要

学　科　：　薬業科

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 科目名（英） | 情報処理Ⅱ<br>Date Processing Ⅱ | 必修選択 | 必修 | 年次 | 2 | 担当教員 | 森田　道稔 |
| | | | | | | 実務経験 | |
| | | 授業形態 | 講習 | 総時間（単位） | 30 | 開講区分 | 後期 |
| コース | 共通 | | | | 2 | 曜日・時限 | |

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

Windowsの基本操作の習得とExcelアプリケーションソフトでの表の編集、グラフ作成、ワークシート作成、関数などの操作習得。
本授業終了後には各操作が出来るようになる。

【到達目標】

Excelテキストの各章の内容を十分に理解し、Excelアプリケーションソフトでの操作が出来るようになる。
各章の復習問題が出来るようになる。

| 授業計画・内容 | |
|---|---|
| 1回目 | Windowsの基本操作　Excel（Excelの基本操作） |
| 2回目 | Excel（数式の作成①） |
| 3回目 | Excel（数式の作成②　数式の作成復習問題　表の編集①　） |
| 4回目 | Excel（表の編集②） |
| 5回目 | Excel（表の編集③　表の編集復習問題　グラフ作成①） |
| 6回目 | Excel（グラフ作成②） |
| 7回目 | Excel（グラフ作成③　グラフ作成復習問題　印刷） |
| 8回目 | Excel（ワークシートの操作①） |
| 9回目 | Excel（ワークシートの操作②　ワークシート復習問題） |
| 10回目 | Excel（いろいろな関数①、②） |
| 11回目 | Excel（いろいろな関数③　いろいろな関数復習問題） |
| 12回目 | Excel（データベース機能①） |
| 13回目 | Excel（データベース機能②　データベース機能復習問題） |
| 14回目 | 後期試験 |
| 15回目 | 総評 |
| 準備学習<br>時間外学習 | マイクロソフトオフィスのExcelアプリケーションソフトを使用するのでまずは慣れる必要があります。<br>パソコンを使用できる時間はExcelアプリケーションソフトを使って操作練習を行って下さい。 |
| 評価方法 | 定期テスト（100%） |
| 受講生へのメッセージ | 講義はPC教室でExcelアプリケーションソフトを使用する実習となります。<br>Excelアプリケーションソフトを使いこなせるようになりましょう。 |

【使用教科書・教材・参考書】

Excel COMPUTER BASIC for windows

# 2025年度 授業概要

学 科 ： 薬業科

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 科目名（英） | 就職指導<br>Career Guidance | 必修選択 | 選択 | 年次 | 2 | 担当教員 | 有村 貴利 |
| | | | | | | 実務経験 | |
| | | 授業形態 | 講義 | 総時間（単位） | 30<br>2 | 開講区分 | 前期 |
| コース | 共通 | | | | | 曜日・時限 | 火曜 4時限 |

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

就職活動を成功させるために。企業研究・比較を実施し、面接・履歴書作成の指導を行う。また、選考を進むにあたってグループワークを取り組みながら。主体性・チームワーク力を養う。各選考の指導を行い、就職内定を獲得することができる。

【到達目標】

主体性・チームワーク力を養い、希望する企業より就職内定を獲得することができる。

| 授業計画・内容 | |
|---|---|
| 1回目 | オリエンテーション。就職活動を説明することができる。 |
| 2回目 | 就職活動の流れ・スケジュールについて理解をし、自身の活動計画を説明することができる。 |
| 3回目 | 企業研究 ～各企業の特徴を説明することが出来る～ |
| 4回目 | 自身の活動計画を説明することができる。また証明写真などの準備物を揃える。 |
| 5回目 | 履歴書の作成① |
| 6回目 | 履歴書の作成② |
| 7回目 | 履歴書の作成③ |
| 8回目 | 面接について、身だしなみを修得できる。 |
| 9回目 | 面接練習① |
| 10回目 | 面接練習② |
| 11回目 | 面接練習③ |
| 12回目 | 面接について、ビジネスマナーを修得できる。 |
| 13回目 | グループワーク①（自身の経験を周囲と共有をし、改善点に気づくことができる） |
| 14回目 | グループワーク②（自身の経験を周囲と共有をし、改善点に気づくことができる） |
| 15回目 | 振り返りと反省、レポートを作成する。 |
| 準備学習<br>時間外学習 | 実際にドラッグストアなどの店舗へ足を運び、お店の雰囲気や商品・スタッフの働き方をお客様目線またはスタッフ目線で考える。<br>各企業のドラッグストアに行き、店舗比較をする。 |
| 評価方法 | レポート（100%） |
| 受講生へのメッセージ | この授業では、就職活動を成功させるために必要な課題に取り組みます。就職活動では各種選考が行われるため、自己アピールや志望動機などまとめていかなければなりません。そのために授業内でそれを考える授業を展開していきます。より成功させるためには、日頃からの積極的な行動が今後の強みになりますので、様々な経験を積んでいきましょう。 |

【使用教科書・教材・参考書】

配布資料を使用

# 2025年度　授業概要

学　科　：　薬業科

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | 販売士Ⅰ | 必修<br>選択 | 選択<br>必修 | 年次 | 2 | 担当教員 | 森田 道也 |
| | | | | | | 実務経験 | |
| (英) | Serviceperson Certification Ⅰ | 授業<br>形態 | 講義 | 総時間<br>(単位) | 30<br>2 | 開講区分 | 前期 |
| コース | 医薬品登録販売者コース | | | | | 曜日・時限 | 月曜日・2時限 |

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

マーケティングの基本的な考え方などの知識や技術を身に付け、販売担当者として接客や売り場づくりができるようになる。
ドラッグストア等で必要な知識を習得し、店保運営や販売の仕事に役立てることができるようになる。（小売業の類型、マーチャンダイジング）

【到達目標】

マーケティングの基本的な考え方などの知識や技術を学習し、ドラッグストア等の店舗運営に役立てる。
ドラッグストア等での販売担当者として必要な知識を習得する。

| 授業計画・内容 | |
|---|---|
| 1回目 | 小売業の類型① 流通と小売業の役割 |
| 2回目 | 小売業の類型② 組織形態別小売業の運営特性 |
| 3回目 | 小売業の類型③ 店舗形態別小売業の運営特性① |
| 4回目 | 小売業の類型④ 店舗形態別小売業の運営特性② |
| 5回目 | 小売業の類型⑤ 小売業の類型まとめ |
| 6回目 | マーチャンダイジング① マーチャンダイジングの戦略的展開 |
| 7回目 | マーチャンダイジング② 商品計画の戦略的立案 |
| 8回目 | マーチャンダイジング③ 販売計画の戦略的立案 |
| 9回目 | マーチャンダイジング④ 仕入計画の策定と仕入活動の戦略的展開 |
| 10回目 | マーチャンダイジング⑤ 販売政策の戦略的展開 |
| 11回目 | マーチャンダイジング⑥ 商品管理政策の戦略的展開 |
| 12回目 | マーチャンダイジング⑦ 物流政策の戦略的展開 |
| 13回目 | マーチャンダイジング⑧ マーチャンダイジングのまとめ |
| 14回目 | 前期試験 |
| 15回目 | 総評 |
| 準備学習　時間外学習 | テキストに目を通しておいて下さい。<br>の中では問題も解いていきます。一度解いた問題を何度も解き直して下さい。 講義 |
| 評価方法 | 定期試験(100%) |
| 受講生へのメッセージ | 講義ではテキストを中心に行っていき、随時、問題も解いていきます。<br>しっかりと問題を解き、間違った問題は、テキストを確認して再度解きましょう。 |

【使用教科書・教材・参考書】

販売士ハンドブック基礎編(3級)(応用編2級)　上巻

# 2025年度　授業概要

学　科　：　薬業科

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | 販売士Ⅱ | 必修<br>選択 | 選択<br>必修 | 年次 | 2 | 担当教員 | 森田 道稔 |
| | | | | | | 実務経験 | |
| (英) | Serviceperson Certification Ⅱ | 授業<br>形態 | 講義 | 総時間 | 30 | 開講区分 | 前期 |
| コース | 医薬品登録販売者コース | | | (単位) | 2 | 曜日・時限 | 月曜日・3時限 |

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

マーケティングの基本的な考え方などの知識や技術を身に付け、販売担当者として接客や売り場づくりができるようになる。
ドラッグストア等で必要な知識を習得し、店舗運営や販売の仕事に役立てることができるようになる。（ストアオペレーション、マーケティング、販売・経営管理）

【到達目標】

マーケティングの基本的な考え方などの知識や技術を学習し、ドラッグストア等の店舗運営に役立てる。
ドラッグストア等での販売担当者として必要な知識を習得する。

| | 授業計画・内容 |
|---|---|
| 1回目 | ストアオペレーション① 店舗運営サイクルの実践と管理 |
| 2回目 | ストアオペレーション② 戦略的ディスプレイの実施方法 |
| 3回目 | ストアオペレーション③ 作業割当の基本、レイバースケジューリングプログラム（LSP）の役割と仕組み① |
| 4回目 | ストアオペレーション④ レイバースケジューリングプログラム（LSP）の役割と仕組み②、人的販売の実践と管理 |
| 5回目 | マーケティング① 小売業のマーケティング戦略の考え方 |
| 6回目 | マーケティング② リテールマーケティングの展開に必要な商圏分析と出店戦略の実践 |
| 7回目 | マーケティング③ マーケットリサーチ（市場調査）の方法と進め方 |
| 8回目 | マーケティング④ リテールマーケティングの展開に必要なリージョナルプロモーションの実践 |
| 9回目 | マーケティング⑤ 顧客戦略の展開方法 |
| 10回目 | 販売・経営管理① 販売管理者の法令知識① |
| 11回目 | 販売・経営管理② 販売管理者の法令知識②、小売店経営における計数管理と計数実務① |
| 12回目 | 販売・経営管理③ 小売店経営における計数管理と計数実務②、販売活動に求められる決算データと経営分析 |
| 13回目 | 販売・経営管理④ 小売業における組織の基本原則と従業員管理、店舗施設などの維持管理 |
| 14回目 | 前期試験 |
| 15回目 | 総評 |
| 準備学習　時間外学習 | テキストに目を通しておいて下さい。<br>の中では問題も解いていきます。一度解いた問題を何度も解き直して下さい。 講義 |
| 評価方法 | 定期試験（100%） |
| 受講生へのメッセージ | 講義ではテキストを中心に行っていき、随時、問題も解いていきます。<br>しっかりと問題を解き、間違った問題は、テキストを確認して再度解きましょう。 |

【使用教科書・教材・参考書】

販売士ハンドブック（基礎編3級）（応用編2級）　下巻

# 2025年度　授業概要

学　科　：　薬業科

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | コンピュータ関連知識 | 必修選択 | 必修 | 年次 | 2 | 担当教員 | 森田 道穂 |
| | | | | | | 実務経験 | |
| (英) | Basic Medical Informatics | 授業形態 | 講義 | 総時間 | 30 | 開講区分 | 前期 |
| コース | 調剤薬局事務コース | | | (単位) | 2 | 曜日・時限 | 月曜日・1時限 |

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）
医療情報システムの理解と基礎技術を資格取得レベルで習得できるようになる。

【到達目標】
医事コンピュータ技術検定試験第Ⅱ領域「コンピュータ関連知識」分野の3級レベルの合格点を取れるようになり、その知識の説明が出来る。

| | 授業計画・内容 |
|---|---|
| 1回目 | コンピュータの基礎知識①(コンピュータの情報表現①) |
| 2回目 | コンピュータの基礎知識②(コンピュータの情報表現②) |
| 3回目 | コンピュータの基礎知識③(コンピュータの仕組みと動作①) |
| 4回目 | コンピュータの基礎知識④(コンピュータの仕組みと動作②) |
| 5回目 | コンピュータの基礎知識⑤(コンピュータの仕組みと動作③) |
| 6回目 | コンピュータの基礎知識⑥(ソフトウェア①) |
| 7回目 | コンピュータの基礎知識⑦(ソフトウェア②) |
| 8回目 | コンピュータの基礎知識⑧(ソフトウェア③) |
| 9回目 | コンピュータの基礎知識⑨(全体のまとめ①) |
| 10回目 | コンピュータの基礎知識⑩(全体のまとめ②) |
| 11回目 | 医事コンピュータ技術検定試験第Ⅱ領域「コンピュータ関連知識」分野　過去問題解答・解説① |
| 12回目 | 医事コンピュータ技術検定試験第Ⅱ領域「コンピュータ関連知識」分野　過去問題解答・解説② |
| 13回目 | 医事コンピュータ技術検定試験第Ⅱ領域「コンピュータ関連知識」分野　過去問題解答・解説③ |
| 14回目 | 前期試験 |
| 15回目 | 総評 |
| 準備学習　時間外学習 | テキストを読んでおきましょう。<br>授業の中で問題(過去問題)を解いていきます。一度解いた問題(過去問題)は何度も解き直しをして下さい。 |
| 評価方法 | 定期試験(100%) |
| 受講生へのメッセージ | 講義(テキスト)と問題(過去問題)を中心に行っていきます。<br>検定試験に合格出来るように問題(過去問題)の解き直しを行って下さい。 |

【使用教科書・教材・参考書】

医事コンピュータ技能検定テキスト
三訂　医事コンピュータ関連知識